EPSON

PA-W11G

IEEE802.11g対応無線プリントアダプタ

取扱説明書

本製品に接続したデバイスをネットワークデバイスとして使用する上で必要となる情報を詳しく説明しています。また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD0799-01

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービス及び技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
② 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④ 運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤ 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、IEEE802.11g 対応無線プリントアダプタ PA-W11G をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、IEEE802.11b/g 準拠のアクセスポイントまたは無線ネットワークインターフェースを使用したコンピュータとの WEP 128（104）/64（40）bit および WPA-Personal（TKIP）による暗号化通信に対応し、Windows や Mac OS などの各種オペレーティングシステムで使用できる無線プリントアダプタです。

本製品を安全にお使いいただくために

本製品を安全かつ有効にお使いいただくために、製品をご使用の際は、本書ならびに本製品と接続するデバイスの取扱説明書を必ずお読みください。

取扱説明書の種類と使い方

本製品には、次の取扱説明書が付属しています。

はじめにお読みください

同梱物のご案内や使用上の注意など、製品をお使いいただく前にお読みいただきたい内容について説明しています。

ワンタッチ自動設定 (AOSS ™) での設定方法について

本製品は株式会社バッファロー製の無線アクセスポイントの機能「AOSS ™」を使って、複雑な各種設定をボタン 1 つで簡単に行うことができます。本製品を接続したい無線アクセスポイントが株式会社バッファロー製品のときにお読みください。

簡単セットアップガイド for Windows

Windows 98SE/Me/2000/XP/Server 2003 を搭載したコンピュータから、本製品の無線設定と、本製品に接続したデバイスで印刷や画像取り込みを使用するためのセットアップ手順を説明しています。

簡単セットアップガイド for Macintosh

Mac OS X10.2 以降および Mac OS 9.1 以降を搭載した Macintosh から、本製品の無線設定と、本製品に接続したデバイスで印刷や画像取り込みを使用するためのセットアップ手順を説明しています。

取扱説明書（PDF マニュアル）< 本マニュアル >

本製品に対応しているすべての OS 環境下で、本製品に接続したデバイスを使用するためのセットアップ手順を説明しています。
簡単セットアップガイドでの説明がご利用の環境に適合しない場合は、ご利用の環境に応じて取扱説明書中の該当する章をお読みください。

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

注 意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、デバイス本体、デバイスドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容を記載しています。また、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。

参 考　補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

☞　関連する内容の参照ページを示しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 98 Second Edition（SE）Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Server 2003 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 と表記しています。また、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 を総称する場合は、「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98SE/Me」のように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS/Macintosh の表記について

Apple® Mac OS® バージョン 9.1 以降
Apple® Mac OS® X バージョン 10.2 およびそのアップデート版
Apple® Mac OS® X バージョン 10.3 およびそのアップデート版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Mac OS 9、Mac OS X と表記しています。また、システム条件を表すためにMac OS 9.1 以降、Mac OS X 10.2 以降のように省略したバージョンを表記することがあります。なお、これらの OS を総称する場合やMacintosh のハードウェア自体を表す場合は、「Macintosh」と表記します。

掲載画面について

- 本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限りMac OS X 10.3 の画面を使用しています。

もくじ

付録 188

1．ご使用の前に

最初にお読みください。本製品の機能と動作環境を説明します。

1-1. 本製品の特長

- 本製品は、プリンタや複合機などのデバイスを無線ネットワークデバイスとして使うための無線プリントアダプタです。デバイスと USB ケーブルで接続して使います。本書に記載の各種設定を行うことで、ネットワーク上のコンピュータから無線接続したデバイスを使用することができます。
- IEEE802.11b および IEEE802.11g に準拠しています。通信速度はネットワークへの接続状況により自動選択されます。
- 無線傍受防止機能 WEP128（104）/64（40）bit および WPA-Personal（TKIP）に対応しています。
- 盗難防止用ロックを装備しています。
  ☞ 261 ページ「用語集・盗難防止用ロック」
- 各種ネットワーク OS・プロトコルに対応しています。インターネット経由の印刷プロトコル IPP（Internet Printing Protocol）にも対応しています。
- プリンタ MIB に対応したプリンタを接続することで、SNMP およびプリンタ MIB を使用しての管理ができます。
- Windows Me 以降で提供されているユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP または Universal Plug and Play）機能に対応しています。UPnP 機能が有効になっていると、UPnP 対応デバイスをネットワークに接続するだけで、デバイスが自動認識されます。Windows Me/2000/XP/Server 2003 の各 OS で利用できます。詳しくは以下のページをご覧ください。
  ☞ 239 ページ「付録・ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」
- Mac OS X10.2.4以降で提供されるRendezvous機能に対応しています。DHCPまたは APIPA 機能などで IP アドレスを自動取得している環境において有効な機能です。Rendezvous 機能については、以下のページをご覧ください。
  ☞ 41 ページ「Rendezvous 機能について」

1-2. 動作環境と対応デバイス

本製品の動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

OS	バージョン	印刷方法
Windows 98SE	--	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP（EpsonNet Internet Print 使用） ・MS Network
Windows Me	--	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Windows 2000/XP/Server 2003	--	・TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP Port または EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Macintosh	・Mac OS 9.1 以降	・AppleTalk
	・Mac OS X 10.2 以降	・EPSON AppleTalk ・EPSON TCP/IP ・Rendezvous（Mac OS X10.2.4 以降）
NetWare	・3.xJ	・バインダリモード
	・4.1xJ/4.2J ・IntranetWare-J	・NDS モード ・バインダリエミュレーションモード
	・5J/5.1J ・6.xJ	・NDS モード ・NDPS

参考

- Windows XP/Server 2003 は NetBEUI プロトコルに正式に対応していませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。
  28 ページ「3．コンピュータの ネットワーク設定」
- Mac OS 9.x のマルチユーザー環境には対応していません。

注意

ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、本製品には、必ずそのセグメントの設定に合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

本製品の対応デバイス（2004 年 9 月現在）

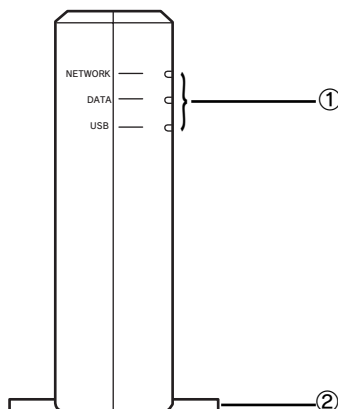
次の表は同梱 CD-ROM に含まれるプリンタ / 複合機の一覧になります。表に記載されていない機種の ソフトウェアについては、プリンタ / 複合機に同梱の「ソフトウェア CD-ROM」をお使いください。最新の対象機種やソフトウェアについては、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）をご覧ください。

デバイスタイプ	機種名
インクジェットプリンタ※	PM-3700C/PM-4000PX PM-D750/PM-D1000 PM-G700/PM-G800 PX-G900/PX-V500/PX-V600
複合機※	PM-A850
モノクロレーザープリンタ	LP-2500/LP-7900/LP-9000B/LP-9100/LP-9400
カラーレーザープリンタ	LP-7000C/LP-9000C/LP-9500C/LP-9800C

※インクジェットプリンタ / 複合機は、Windows 2000 Server / Windows Server 2003 /NetWare には対応していません。

1-3. 各部の名称と働き

本製品の各部の名称と働きを説明します。

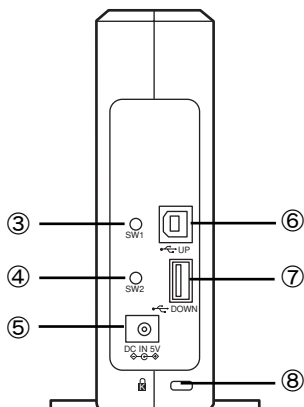
前面

①ステータスランプ

NETWORK ランプは本製品とデバイスが USB ケーブルで接続され、デバイスに電源が入っていないと動作しません。

本製品の状態	NETWORK ランプ	DATA ランプ	USB ランプ
電源 OFF	消灯	消灯	消灯
初期動作中	消灯	―	緑点滅
無線 /IP 未設定	赤点滅 (USB ランプと同期)	―	緑点滅 (NETWORK ランプと同期)
無線通信不能時	赤点灯	消灯	緑点滅
無線高速リンク確立	オレンジ点灯	緑点灯 (受信時に点滅)	緑点滅
無線低速リンク確立	緑点灯	緑点灯 (受信時に点滅)	緑点滅
デバイス通信不能時	消灯	―	赤点灯
デバイス通信中	―	―	緑点滅
AOSS 設定動作中	オレンジ点滅	―	オレンジ点滅
AOSS 設定失敗	赤点滅	―	赤点滅

②回転式スタンド

本製品を安定して設置することができます。ネジ止めすることで、壁などへの設置も可能です。

背面

③スイッチ 1（SW1：赤）

ネットワークステータスシートを印刷するときや、本製品を工場出荷時に戻すときに押します。

④スイッチ2（SW2：黒）

株式会社バッファローの無線LANワンタッチ自動設定（AOSS：AirStation One-Touch Secure System）を使って無線設定するときに押します。

☞ 255 ページ「用語集・AOSS」

⑤外部電源コネクタ（DC IN 5V）

付属の AC アダプタを接続します。

⑥ホスト用 USB コネクタ（UP）

コンピュータとUSBケーブルで接続するアップストリームUSBコネクタです。USB 1.1に準拠しています。

注 意	USB コネクタ（UP）は設定用です。この UP コネクタに接続したコンピュータから、⑦ DOWN コネクタに接続したデバイスを使用することはできません。

⑦デバイス用 USB コネクタ（DOWN）

対応デバイスとUSBケーブルで接続するダウンストリームUSBコネクタです。USB 1.1に準拠しています。

⑧盗難防止用ロック

盗難防止用用具を取り付けることができます。

☞ 261 ページ「用語集・盗難防止用ロック」

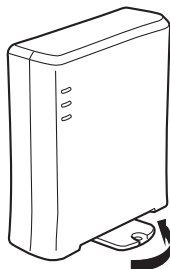
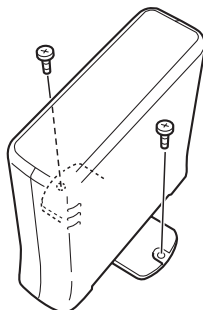
1-4. 設置方法と設置場所について

本製品を使うことで、有線接続に比べてEthernet ケーブルの取り回しに左右されることなく、設置場所が手軽に変更できるようになります。その反面無線通信であるため、データの伝送距離に制約があります。また、伝送可能な距離範囲でも周囲の環境条件によっては伝送できないことがあります。本製品を設置する際には、次のことに注意してください。

伝送可能距離

伝送速度	伝送可能距離（見通し）	
	屋内	屋外
54Mbps モード	20m	50m
11Mbps モード	60m	180m

設置の仕方

回転式スタンドを回して、倒れないように設置してください。また、設置するときにはなるべく周囲に障害となるものがないように設置することをお勧めします。

回転式スタンドのネジ穴を利用することで、壁などの高い位置に固定することができます。高い位置に設置することで、周囲の障害を受けにくくなります。

1-5. EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で使用できる各種ネットワーク関連のソフトウェアを紹介します。本製品に付属していないソフトウェアは、エプソンのホームページからダウンロードできます。EpsonNet ソフトウェアのインストールやダウンロードの方法については、以下のページをご覧ください。

☞ 20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

印刷ツール

EpsonNet Print（本製品付属）

Windows から、ネットワークプリンタにダイレクト印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。

☞ 79 ページ「5．印刷ツールと プリンタドライバの インストール」

EpsonNet Internet Print

Windows 98SE から、ネットワークプリンタにインターネット印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。
インターネット印刷は、セグメントを越えて印刷する時に有効です。
入手方法については、以下のページをご覧ください。

☞ 20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

参考 Windows Me/2000/XP/Server 2003 については、OS 標準の IPP ポートモニタをご使用ください。

設定ツール

EpsonNet Config（Windows）（本製品付属）

Windows から、無線やネットワーク接続に関する設定を行うためのツールです。

☞ 51 ページ「Windows から設定する場合」

EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）（本製品付属）

Macintosh から、無線やネットワーク接続に関する設定を行うためのツールです。

☞ 51 ページ「Macintosh から設定する場合」

EpsonNet Config（Web）（本製品付属）

本製品に内蔵しているツールです。ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。EpsonNet Config（Windows）／（Mac OS 9 および Mac OS X）と同様の設定を行えます。
EpsonNet Config（Web）は、本製品およびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定する時は EpsonNet Config（Windows）／（Mac OS 9 および Mac OS X）をお使いください。

☞ 159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

管理ソフトウェア

参考

カラリオプリンタは未対応です。

EpsonNet WebManager

ネットワークプリンタの状態把握やネットワークインターフェイスの各種設定のほか、印刷ジョブ情報の確認や消耗品の管理、プリンタドライバの自動配信などの機能を持つ、管理者用のソフトウェアです。ダウンロードしてお使いください。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet LogBrowser V2

ネットワークプリンタの印刷ログの自動収集や、印刷枚数の制限をするソフトウェアです。用紙使用量やプリンタの利用状況の把握と管理が簡単に行えます。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

EpsonNet InstallManager

ネットワークプリンタのドライバインストールから印刷ポートの設定までを自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。
管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、クライアント側のコンピュータでこのインストールパッケージを実行するだけで印刷環境が作成されるため、管理者のプリンタドライバ配布・インストール作業を大幅に軽減します。また、プリンタドライバだけでなく、「EPSON プリンタウィンドウ !3」も同時にパッケージ化できます。
入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

ツール / ソフトウェアの入手方法

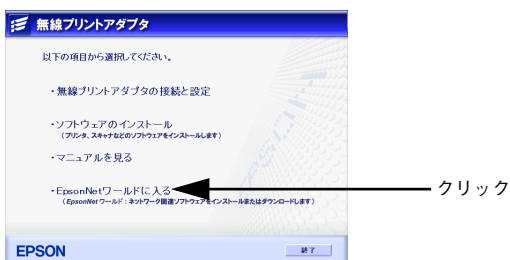
本製品に添付していないツール / ソフトウェアは以下の手順で入手してください。

1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

   セットする CD-ROM はインクジェット版／レーザー版のどちらでも構いません。

2. **［無線プリントアダプタセットアップへようこそ］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。**

3. **使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。**

4. **［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。**

5. **画面の指示に従って、必要なツール / ソフトウェアをダウンロードしてください。**

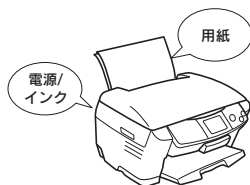
   ツール / ソフトウェアはエプソンのホームページからダウンロードされます。

2．設定の前に

本製品の設定、ネットワークデバイスの設定に不慣れな方は、この章をお読みください。導入作業の概要や、印刷方法などを紹介しています。

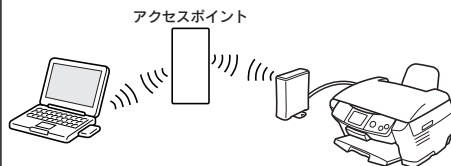
2-1．本製品導入作業の流れ

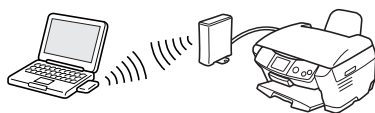
本製品をお使いいただくための、作業の流れを目次の番号に合わせ説明します。

2-2．接続デバイスのセットアップ

本製品に接続するデバイスに必要な用紙やインクまたはトナーなどをセットし、使用可能な状態にします。

☞ デバイスに付属の取扱説明書をご覧ください。

2-3．無線ネットワーク環境の確認

・インフラストラクチャモード

・アドホックモード

ご使用のアクセスポイントに接続する場合（インフラストラクチャ）と、本製品とコンピュータを直接無線接続して使用する場合（アドホック）とで、本製品のセットアップ方法が異なります。セットアップを始める前に、無線接続の方法を決定します。

☞ 26 ページ「2-3．無線ネットワーク環境の確認」

次のページへ進む

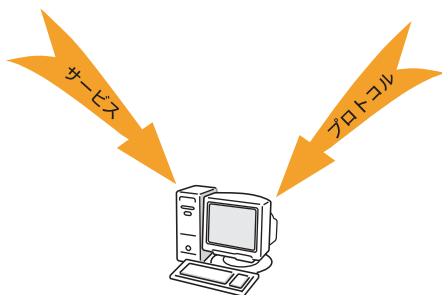
2-4. 本製品への無線設定方法の決定

・USB で設定

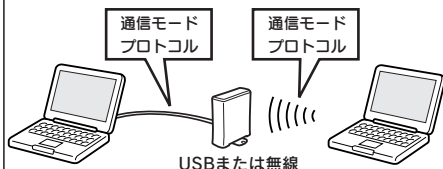
・無線で設定

コンピュータと USB ケーブルを接続して設定するか、コンピュータの設定を本製品の工場出荷時に合わせて無線で設定するかを選択します。

☞ 27 ページ「2-4. 本製品への無線設定方法の決定」

3. コンピュータのネットワーク設定

デバイスを使用するコンピュータのネットワーク設定を確認し、必要に応じてネットワークプロトコルなどを追加します。コンピュータ側の無線設定は、コンピュータまたは無線 LAN カードに付属の取扱説明書を確認して設定しておきます。

☞ 28 ページ「3. コンピュータの ネットワーク設定」

4. 本製品の設定

本製品に付属の設定ユーティリティを使用して、通信モードやプロトコルなどを設定します。

☞ 44 ページ「4. 本製品の設定」

次のページへ進む

5. 印刷ツールとプリンタドライバのインストール

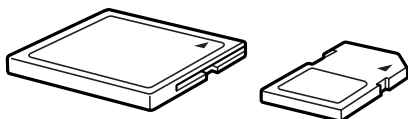
印刷するコンピュータにプリンタドライバをインストールします。NetWare サーバを経由して印刷する場合は、あらかじめサーバ側のプリンタ環境を設定しておきます。

79 ページ「5．印刷ツールと プリンタドライバの インストール」

デバイスの印刷機能のみを使用する場合は、以上で設定終了です。
デバイス（複合機など）のスキャナ機能や、メモリカードドライブを使用する場合は、引き続き、「6．EPSON Scan の インストールと設定」、「7．ネットワークストレージの設定」を行います。

6. EPSON Scan のインストールと設定

本製品に付属のユーティリティ（EPSON Scan）をインストールし、ネットワークスキャナとして利用できるように設定します。

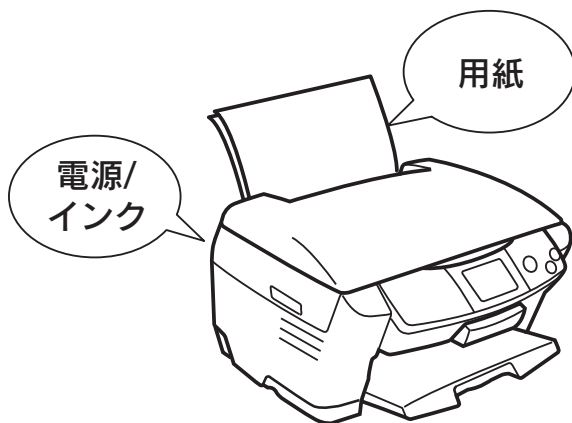
110 ページ「6．EPSON Scan の インストールと設定」

7. ネットワークストレージの設定

本製品に接続したデバイス（複合機など）にコンパクトフラッシュなどのメモリカードドライブがあるときに、ネットワークストレージデバイスとして利用できるように設定します。

120 ページ「7. ネットワークストレージの設定」

25 ページ「2-2．接続デバイスのセットアップ」へ進む

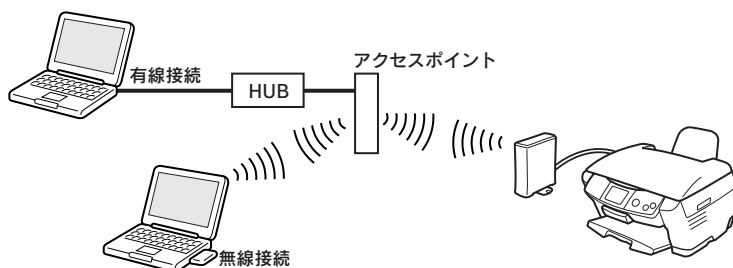
2-2. 接続デバイスのセットアップ

本製品に接続するデバイスに必要な用紙やインクまたはトナーなどをセットして、いつでも使用できる状態にしてください。
接続するデバイスの詳しいセットアップ方法は、デバイスに付属の取扱説明書をご覧ください。

26 ページ「2-3. 無線ネットワーク環境の確認」へ進む

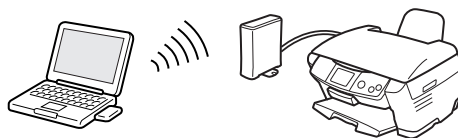
2-3. 無線ネットワーク環境の確認

本製品を設定する際、ご使用のネットワーク環境によって設定内容が異なります。セットアップを始める前にご使用のネットワーク環境を確認し、コンピュータへ無線 LAN カードなどの取り付け / 無線設定を済ませてください。
ルータ、アクセスポイントによっては IP プロトコル以外のプロトコルをサポート（ルーティング）していない製品があります。ＩＰ プロトコル以外で使用する場合はルータ、アクセスポイントの仕様を十分に確認の上で使用してください。

アクセスポイントがある環境で、本製品を使用する

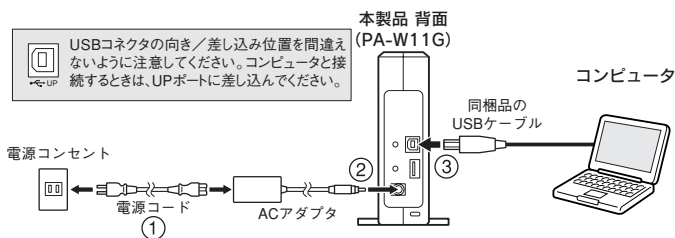
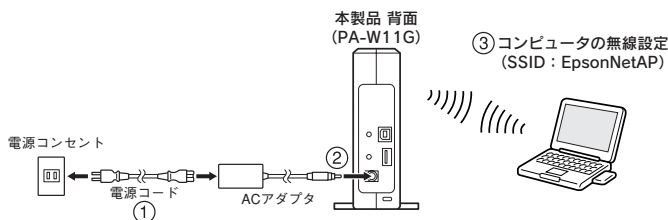
コンピュータは、アクセスポイントを経由してデバイスを使用します。また、アクセスポイントが有線ネットワークに接続されているときは、有線接続しているコンピュータからも、アクセスポイントを通じて本製品に接続しているデバイスを使用することができます。この環境で使用するにはアクセスポイントの設定が済んでいる必要があります。アクセスポイントの設定については、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。
（通信モード：インフラストラクチャ）

アクセスポイントがない環境で、本製品を使用する

コンピュータと本製品とを無線接続して、デバイスを使用します。
（通信モード：アドホック）

27 ページ「2-4. 本製品への無線設定方法の決定」へ進む

2-4. 本製品への無線設定方法の決定

本製品を設定するには、USB ケーブルで接続して設定する方法と、無線接続して設定する方法があります。どちらかの接続で本製品を設定してください。

コンピュータと USB 接続して設定する

本製品への設定を、USB ケーブルを通じて行います。

コンピュータの無線設定を本製品に合わせて設定する

本製品の工場出荷時設定では、簡易アクセスポイント（SSID：EpsonNetAP）として動作します。現在お使いの無線接続が可能なコンピュータに SSID（EpsonNetAP）を設定して、接続します。

28 ページ「3．コンピュータの ネットワーク設定」へ進む

3．コンピュータの ネットワーク設定

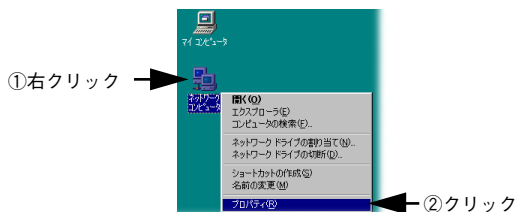
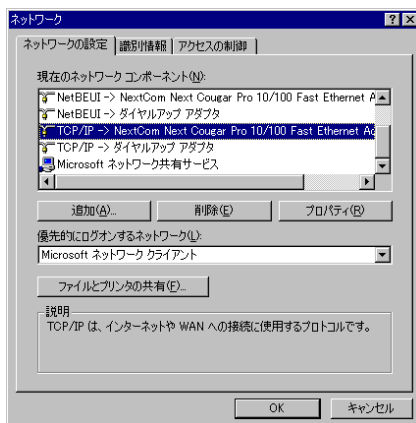
コンピュータから本製品へのネットワーク設定や印刷を行うには、あらかじめコンピュータでネットワークに関する各種設定を行う必要があります。ここでは、その手順をご利用の OS 別に説明します。なお、コンピュータの無線設定については、コンピュータまたは無線LAN カードに付属の取扱説明書をご覧ください。

3-1. Windows 98SE/Me の場合

Windows 98SE の画面を例に説明します。

参 考	設定時、Windows 98SE/Me の CD-ROM が必要な場合があります。

1 **［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

Windows Me の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **次ページの表を参照し、［ネットワークの設定］画面に必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。**

本製品に付属のユーティリティを使用して、本製品を設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	TCP/IP
MS Network	NetBEUI
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

参考

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。

- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
EpsonNet Print（LPR または IPP 印刷）	• TCP/IP
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUI • Microsoft ネットワーククライアント
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 • IPX/SPX 互換プロトコル • NetWare ネットワーククライアントまたはクライアント（NetWare ネットワーク用）

必要なコンポーネントが組み込まれていた場合は、以下のページへ進んでください。

☞ 33 ページ「アドレスの設定」

コンポーネントの追加

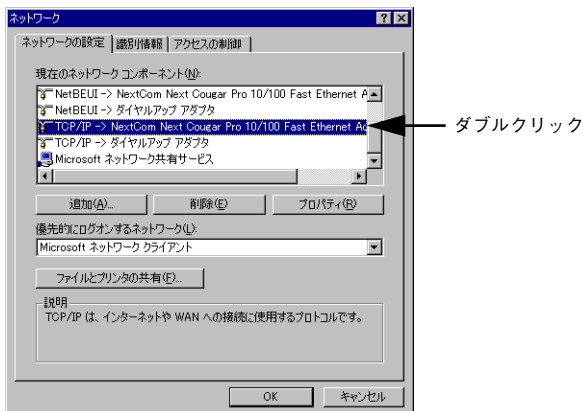
3 必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、[追加] ボタンをクリックします。

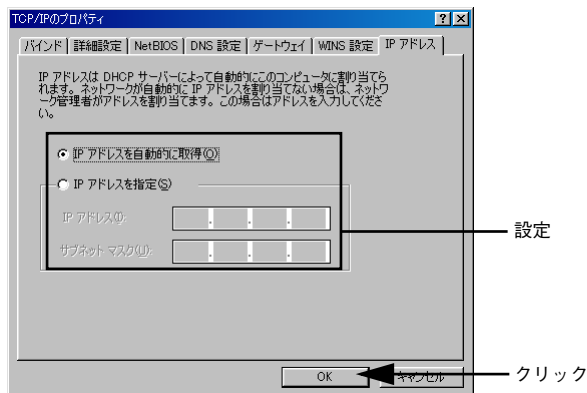
4 下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP ：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ② 製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③ 手順 5 に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ② 製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **IPX/SPX 互換プロトコル：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ② 製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［IPX/SPX 互換プロトコル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
EpsonNet Print（LPRまたは IPP印刷）	①［プロトコル］を選択し、［追加］ボ タンをクリックします。 ② 製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③ 手順 5 に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ② 製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **Microsoft ネットワーククライアント：** ③［クライアント］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ④ 製造元で［Microsoft］、ネットワーククライアントで［Microsoft ネットワーククライアント］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 ⑤ この後は、手順 7 に進みます。
NetWare サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **IPX/SPX 互換プロトコル：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ② 製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［IPX/SPX 互換プロトコル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **NetWare ネットワーククライアントまたはクライアント（NetWare ネットワーク用）：** ③［クライアント］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ④ 製造元で［Microsoft］、ネットワーククライアントで［NetWare ネットワーククライアント］または［クライアント（NetWare ネットワーク用）］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 ⑤ この後は、手順 7 に進みます。

アドレスの設定

5 各種アドレスを設定します。追加した［TCP/IP］をダブルクリックします。

6 各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

☞ 172 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ 251 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

7 コンピュータを再起動してください。

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次に本製品のネットワーク設定をしてください。

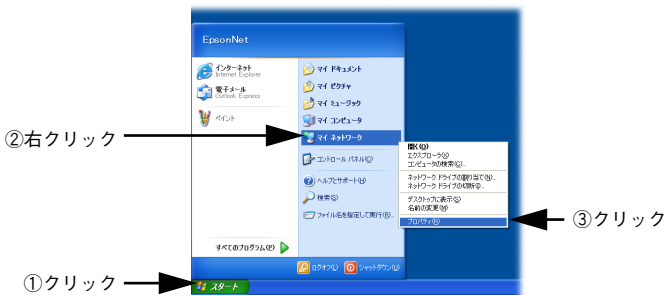
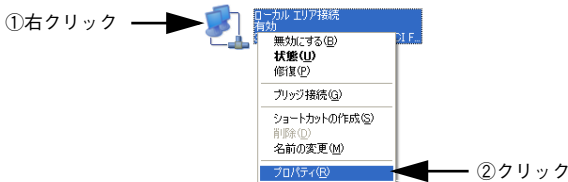
☞ 44 ページ「4．本製品の設定」

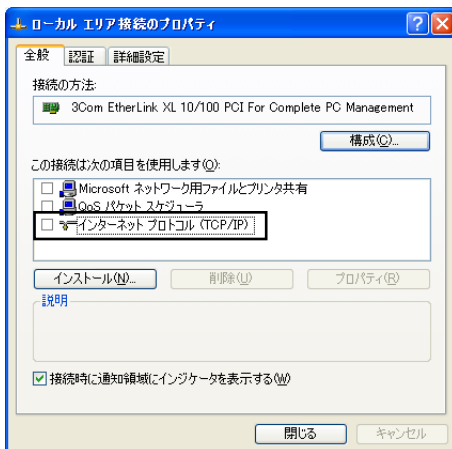
3-2. Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

参 考

- 設定時、Windows 2000/XP/Server 2003のCD-ROMが必要な場合があります。
- Windows XP/Server 2003 では NetBEUI プロトコルを使用しての印刷はサポートされていませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。この場合、TCP/IP を組み込み IP アドレスを設定しておく必要があります。

1 **[スタート] ボタンをクリックして、[マイネットワーク] を右クリックし [プロパティ] をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、[スタート] ボタン - [コントロールパネル] - [ネットワーク接続] の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、[マイネットワーク] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

2 **[ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。**

3 下表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

参考

- Windows XP/Server 2003 でインターネットプロトコル（TCP/IP）が必要な場合は、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］にチェックを付けて、手順 6 に進みます。
- コンポーネントのチェックが外れている場合は、必要なコンポーネントにチェックを付けてください。

本製品に付属のユーティリティを使用して本製品のネットワーク設定をする場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	インターネットプロトコル（TCP/IP）
MS Network	NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 はNetBEUI に対応していません。TCP/IP が必要です。）
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

参考

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。

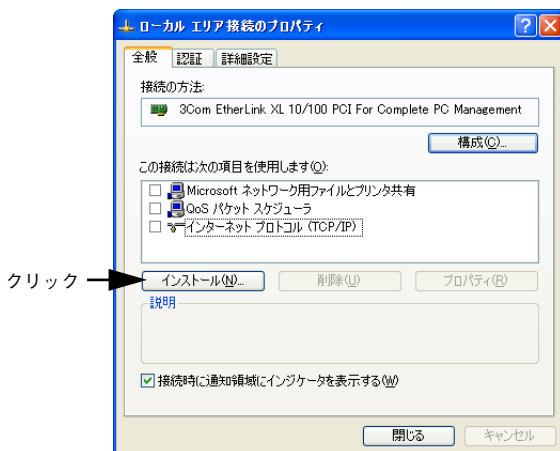
- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJNDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
EpsonNet Print（LPR または IPP 印刷）	インターネットプロトコル（TCP/IP）
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUIプロトコル（Windows XP/Server 2003はNetBEUIに対応していません。TCP/IP が必要です。） • Microsoft ネットワーク用クライアント
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 • NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル • NetWare 用クライアントサービス

必要なコンポーネントが組み込まれていた場合は、以下のページへ進んでください。
☞ 38 ページ「アドレスの設定」

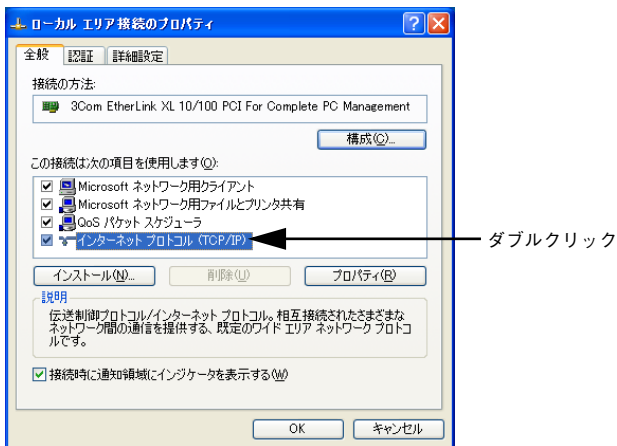
コンポーネントの追加

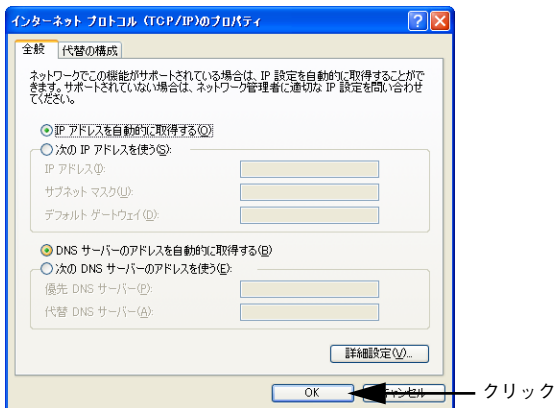
4 ［インストール］ボタンをクリックします。

5 次ページの表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	**インターネットプロトコル（TCP/IP）（Windows 2000 の場合）：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 を除く）：** ［プロトコル］をダブルクリックし、［NetBEUI プロトコル］をダブルクリックします。 **NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル：** ［プロトコル］をダブルクリックし、［NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル］をダブルクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
EpsonNet Print（LPR または IPP 印刷：Windows 2000 の場合）	①［プロトコル］をダブルクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル（Windows 2000 のみ）：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［NetBEUI プロトコル］をダブルクリックします。 **Microsoft ネットワーク用クライアント：** ②［クライアント］をダブルクリックし、［Microsoft ネットワーク用クライアント］をダブルクリックします。 ③インストールしたら、［OK］ボタンをクリックし、手順 8 に進みます。
Netware サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル：** ①［プロトコル］をダブルクリックし、［NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル］をダブルクリックします。 **NetWare 用クライアントサービス：** ②［クライアント］をダブルクリックし、［NetWare 用クライアントサービス］をダブルクリックします。 ③この後は、手順 8 に進みます。

アドレスの設定

6 **各種アドレスを設定します。追加した［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。**

7 **各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

☞ 172 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ 251 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

8 **コンピュータを再起動してください。**

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次に本製品のネットワーク設定をしてください。

☞ 44 ページ「４．本製品の設定」

3-3. Macintosh の場合

Macinsoth の場合、Mac OS のバージョンによって利用できるプロトコル、および設定方法が異なりますので、ご利用の Mac OS のバージョンをご確認の上、設定してください。

注 意 Mac OS 9 での印刷は、[AppleTalk] 印刷のみとなります。ただし、複合機でスキャナ機能（EPSON Scan）を使用するときは、Macintoshに IP アドレスなどの設定が必要です。

Mac OS 9 の場合

AppleTalk の設定

1. **[コントロールパネル] - [AppleTalk] を選択します。**

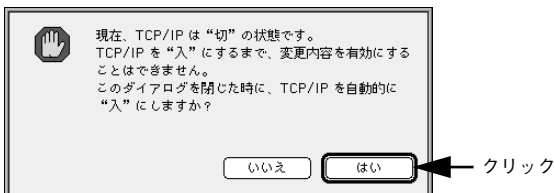
2. **[経由先：] ドロップダウンリストから [Ethernet] を選択します。**
[AppleTalk] 印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS 9）で本製品のネットワーク設定をするには、上記の設定だけでご利用いただけます。次に本製品のネットワーク設定をしてください。
☞ 44 ページ「4．本製品の設定」

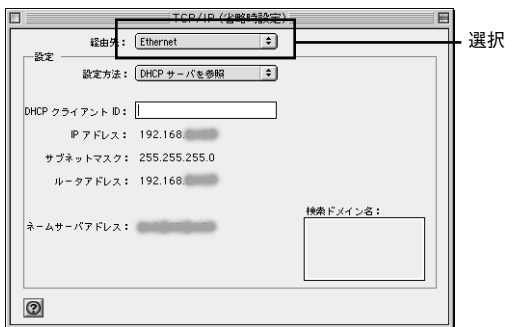
参 考

- [アップル] メニュー - [セレクタ] の [AppleTalk] が [切] になっていると、[入] にするようメッセージが表示されます。このときは [はい] をクリックして、AppleTalk を [入] にしてください。
- EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager および複合機でスキャナ機能（EPSON Scan）を使用したい場合は、Macintoshに IP アドレスなどを設定してください。
☞ 40 ページ「Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順」
- EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）、EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager については、以下のページをご覧ください。
☞ 51 ページ「Macintosh から設定する場合」
☞ 159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」
☞ 184 ページ「11-3．ネットワーク管理ツールのご案内」

Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順

注 意	複合機でスキャナ機能（EPSON Scan）を使用するときは、IP アドレスなどの設定が必要です。

1. ［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。このとき、次の画面が表示されたら［はい］ボタンをクリックしてください。

2. ［経由先：］ドロップダウンリストから［Ethernet］を選択します。［設定方法：］や、設定値についてはネットワーク管理者に確認してください

☞ 172 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ 251 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

設定が終了したら、本製品のネットワーク設定をしてください。

☞ 44 ページ「4．本製品の設定」

Mac OS X の場合

Mac OS X では、以下のプロトコルを使用した印刷が可能です。
本製品を Mac OS X で使用するときは、Rendezvous での印刷を推奨しています。

- Rendezvous：Mac OS X 10.2.4 以降で使用できます。
  ☞ 41 ページ「Rendezvous 機能について」
- EPSON TCP/IP：Mac OS X 10.2.x 以降で使用できます。
  ☞ 42 ページ「TCP/IP の設定」
- EPSON AppleTalk：Mac OS X 10.2.x 以降で使用できます。
  ☞ 43 ページ「AppleTalk の設定」

参考

- プロトコルの設定を行うには管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager および複合機でスキャナ機能（EPSON Scan）を使うには、Macintosh に、IP アドレスなどの設定が必要です。
  ☞ 42 ページ「TCP/IP の設定」

Rendezvous 機能について

Rendezvous を使用して印刷する場合、Macintosh は DHCP または APIPA などで IP アドレスを取得する必要があります（次ページの「TCP/IP の設定」を参照）。

TCP/IP の設定

EPSON TCP/IP で印刷するときや EPSON Scan を使用するときには、この設定を行ってください。

注 意 EPSON TCP/IP で印刷するときは、本製品に設定する IP アドレスを手動（固定）で設定する必要があります。

1 ［システム環境設定］の［ネットワーク］をクリックします。

参 考 ［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。

2 ［TCP/IP］タブで必要事項を設定します。設定終了後、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

参 考 ［設定：］または［IPv4 を設定：］と、各設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。

☞ 172 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ 251 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

次に本製品のネットワーク設定をしてください。

☞ 44 ページ「４．本製品の設定」

AppleTalk の設定

EPSON AppleTalk で印刷するときには、この設定を行ってください。

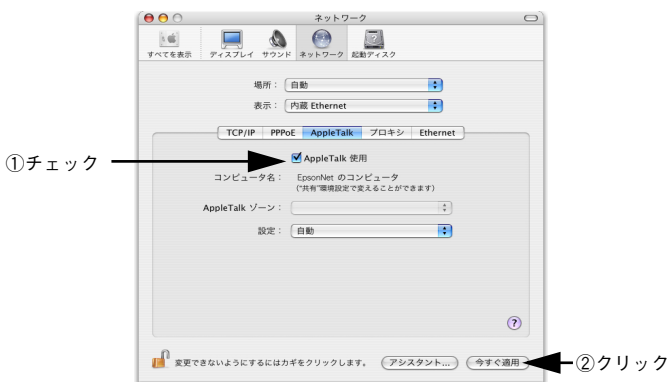
注 意	複合機でスキャナ機能（EPSON Scan）を使用する場合は、Macintosh に IP アドレスを設定する必要があります。

1 ［システム環境設定］の［ネットワーク］-［AppleTalk］タブをクリックします。

参 考	［AppleTalk］タブが見当たらない場合は、［場所：］が［自動］になっていることを確認し、［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。

2 ［AppleTalk］タブで［AppleTalk 使用］にチェックを付け、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

［AppleTalk］印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS X）で本製品のネットワーク設定をするには、上記の設定だけでご利用いただけます。続いて本製品のネットワーク設定をしてください。

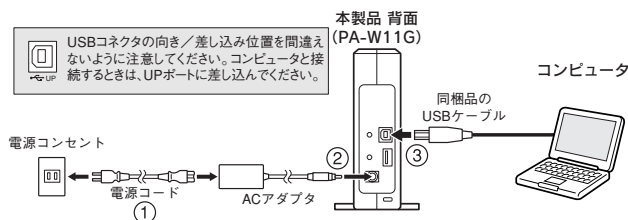
☞ 44 ページ「4．本製品の設定」

４．本製品の設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、本製品のネットワーク設定をします。
ここではユーティリティを使っての設定方法を説明します。

4-1. 設定方法の概要

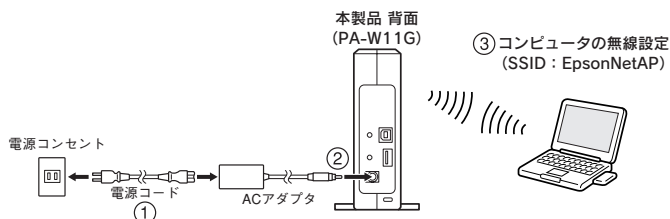
「2-4. 本製品への無線設定方法の決定」で決定した方法に従って、コンピュータと本製品の接続またはコンピュータの設定を行います。
その後、本製品に付属のユーティリティを使用して本製品のネットワークに関する各種設定を行い、本製品に接続したデバイスをネットワークで利用可能な状態にセットアップします。

コンピュータと USB 接続して設定する

参 考　Windows 環境で設定を行う場合には、あらかじめコンピュータ側に USB ドライバをインストールしておく必要があります。簡単セットアップガイド for Windows（紙マニュアル）の「ステップ 1 の作業（操作）」を行い、USB ドライバをインストールしてください。

USB 接続が済んだら、本製品に付属のユーティリティを使用して各種設定を行ってください。

☞ 51 ページ「4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について」

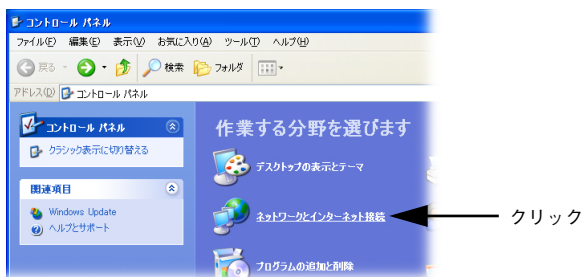
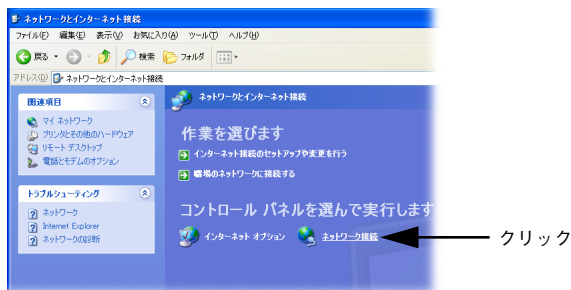
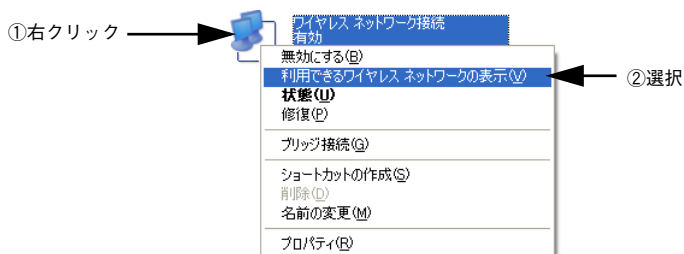
コンピュータの無線設定を本製品に合わせて設定する

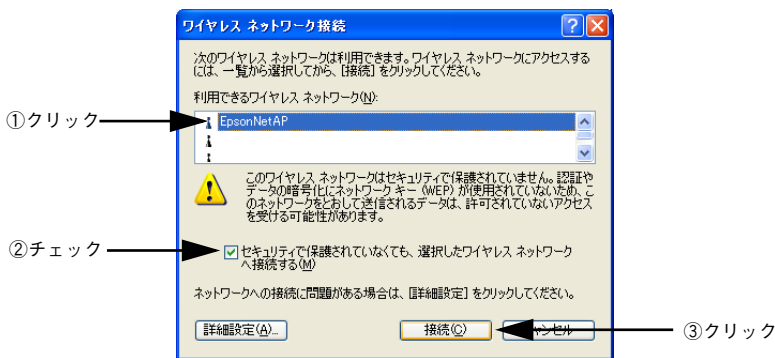
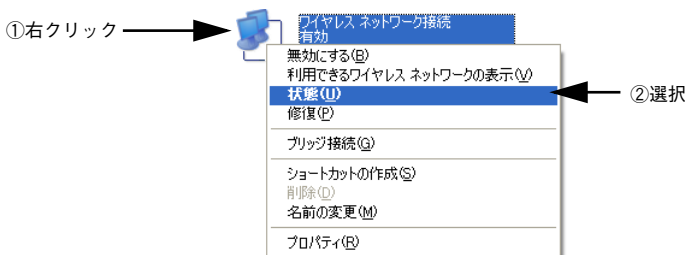
参 考　本製品の工場出荷時設定では、簡易アクセスポイント（SSID：EpsonNetAP）として動作します。現在お使いの無線接続が可能なコンピュータに SSID（EpsonNetAP）を設定して、接続します。

次ページからは WindowsXP での設定方法と AirMac での設定方法を例に説明します。その他のOSなどは、無線LAN カードに付属の取扱説明書を確認し、設定してください。

コンピュータの無線設定（Windows XP の場合）

参 考	コンピュータによっては、以下の設定以外にも設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータまたは無線LAN カードに付属の取扱説明書をご覧ください。

1. ［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックします。

2. ［ネットワークとインターネット接続］アイコンをクリックします。

3. ［ネットワーク接続］アイコンをクリックします。

4. ［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを右クリックして、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］を選択します。

参 考	［ワイヤレスネットワーク接続］アイコン名は、ご使用のコンピュータによって異なる場合があります。

5 ［ワイヤレス ネットワーク接続］画面の［利用できるワイヤレス ネットワーク］リストより、［EpsonNet AP］をクリックして［セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレス ネットワークへ接続する］をチェックし、［接続］ボタンをクリックします。

6 ［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを右クリックして、［状態］を選択します。

7 ［接続］の［シグナルの強さ］で電波状況を確認し、無線通信が確立していることを確認します。

以上でコンピュータの無線設定を本製品に合わせる設定は終了です。次に「4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について」に進みます。

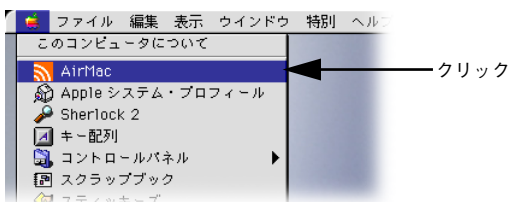
☞ 51 ページ「4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について」

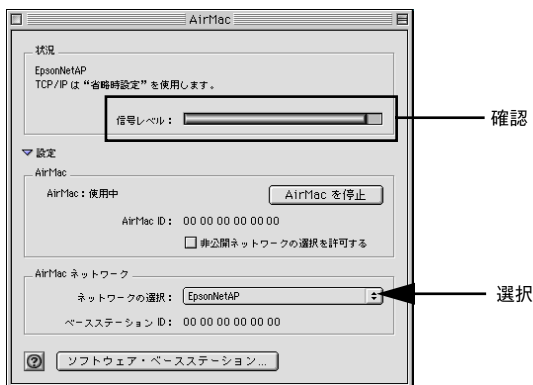
Macintosh の AirMac 設定

Mac OS 9 の場合

1. Macintosh を起動します。

2. ［アップル］メニュー -［AirMac］をクリックします。

［AirMac］画面が表示されます。

3. ［AirMac ネットワーク］の［ネットワークの選択］リストより、［EpsonNet AP］を選択します。

［状況］の［信号レベル］で通信状況が表示されていることを確認してください。

以上で Macintosh の無線設定を本製品に合わせる設定は終了です。次に「4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について」に進みます。

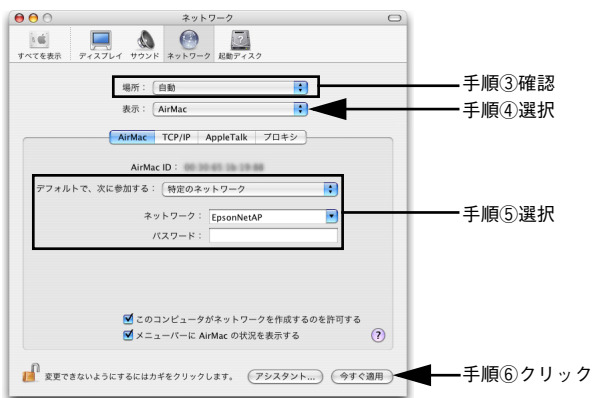
☞ 51 ページ「4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について」

Mac OS Xの場合

1 Macintoshを起動します。

参考	管理者の権限を持つユーザでログインしてください。

2 ［アップル］メニュー - ［システム環境設定］をクリックします。

3 ［ネットワーク］アイコンをクリックして、［場所］リストで［自動］が選択されていることを確認します。

4 ［表示］リストより、［AirMac］を選択します。

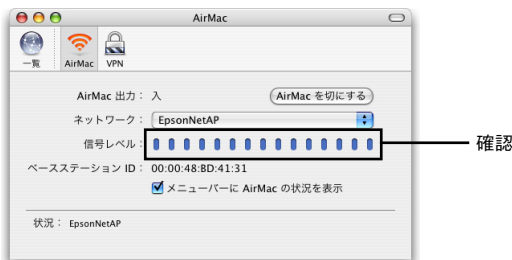
5 ［デフォルトで、次に参加する］リストより［特定のネットワーク］を選択して、［ネットワーク］リストより［EpsonNetAP］を選択します。

6 ［今すぐ適用］ボタンをクリックします。

7 ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。

参考 [MacintoshHD] アイコンの名前を変更しているときは、Mac OS を起動しているドライブアイコンをダブルクリックしてください。

8 ［アプリケーション］-［インターネット接続］の順にアイコンをダブルクリックします。

［一覧］画面の［AirMac］アイコンをクリックして、信号レベルが表示されていることを確認してください。

以上で Macintosh の無線設定を本製品に合わせる設定は終了です。次に「4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について」に進みます。

☞ 51 ページ「4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について」

4-2. 付属ユーティリティでの設定方法について

Windows から設定する場合

本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Config（Windows）」をお使いください。
☞ 53 ページ「EpsonNet Config（Windows）」
付属ユーティリティの動作環境については、以下のページをご覧ください。
☞ 52 ページ「4-3. 動作環境」
EpsonNet Config（Windows）では、無線に関する設定および TCP/IP・NetWare・MS Network・AppleTalk・SNMP などの設定ができます。

Macintosh から設定する場合

本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）」をお使いください。
☞ 56 ページ「EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）」
付属ユーティリティの動作環境については、以下のページをご覧ください。
☞ 52 ページ「4-3. 動作環境」
EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）では、無線に関する設定および AppleTalk・TCP/IP の設定ができます。

4-3. 動作環境

EpsonNet Config（Windows）/（MacOS 9 および Mac OS X）は、次の環境で動作します。

システム条件

次の条件をすべて満たす必要があります。

- 下記の OS が動作する環境
- IBM PC/AT 互換機、PC9801 シリーズまたは Apple 社 Macintosh シリーズ
- ハードディスクの空き容量：15MB 以上

対象 OS

- Windows 98SE/Me
- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Server 2003
- Mac OS 9.1 以降
- Mac OS X 10.2.x 以降

本製品の無線およびネットワーク設定をするには、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）Version 1.1 以上をお使いください。

4-4. EpsonNet Config のインストールと起動

EpsonNet Config（Windows）

EpsonNet Config（Windows）のインストールと起動方法を説明します。

参考	Windows 2000/XP/Server 2003 に EpsonNet Config（Windows）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。

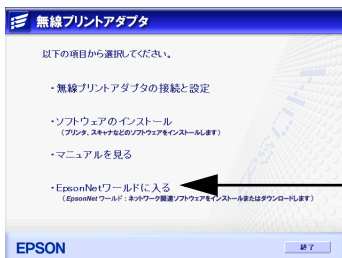
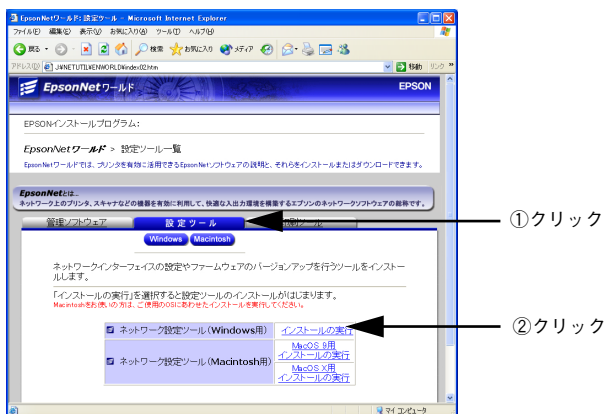
インストール

1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

   セットする CD-ROM はインクジェット版／レーザー版のどちらでも構いません。

2. ［無線プリントアダプタセットアップへようこそ］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。

3. 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

4. ［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。

5 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Windows 用）］の［インストールの実行］をクリックします。

参考	お使いのコンピュータによっては［ファイルのダウンロード－ セキュリティの警告］ダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示されたときは以下の手順に従ってください。 ①［実行］ボタンをクリックします。 ②表示された画面で［実行する］ボタンをクリックします。

6 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

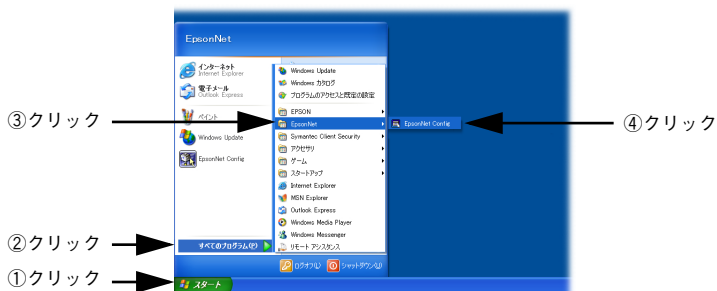
7 設定に必要なプロトコルが、お使いのコンピュータに組み込まれているか確認してください。

☞ 28 ページ「3．コンピュータの ネットワーク設定」

起動

8 本製品の電源が入っていることを確認してください。また「2-4. 本製品への無線設定方法の決定」で「コンピュータとUSB 接続して設定する」を選択した場合は、本製品とコンピュータが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

9 ［スタート］ボタン -［すべてのプログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。

Windows 98SE/Me の場合は、［スタート］ボタン -［プログラム］-［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順にクリックします。

お使いの Windows によっては［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されます。［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

［ブロックする］ボタンをクリックしたときは、EpsonNet Config （Windows）を「Windows ファイアウォール」に登録してください。

243 ページ「付録・Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法」

以下のページに進んで、本製品の無線・ネットワーク設定をしてください。

59 ページ「4-5. 無線・ネットワークの設定」

EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）

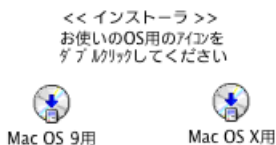
EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）のインストールと起動方法を Mac OS X の画面を例に説明します。

参 考

- Mac OS 9 と Mac OS X では、それぞれインストールする EpsonNet Config が異なります。各 Mac OS 用の EpsonNet Config をインストールしてください。
- Mac OS X に EpsonNet Config（MacOS X）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。

インストール

1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**
   セットする CD-ROM はインクジェット版／レーザー版のどちらでも構いません。また、Mac OS 9 の場合は、Macintosh に CD-ROM をセットして次へ進みます。

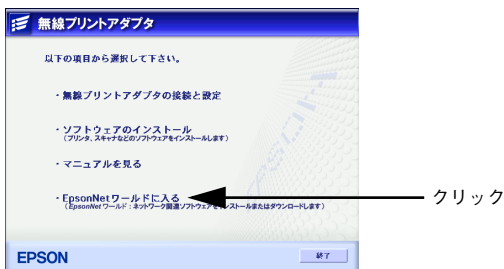
2. **［Mac OS X 用］アイコンをダブルクリックします。**
   Mac OS 9 の場合は、［Mac OS 9 用］アイコンをダブルクリックします。

<< インストーラ >>
お使いのOS用のアイコンを
ダブルクリックしてください

Mac OS 9用

Mac OS X用

3. **［無線プリントアダプタセットアップへようこそ］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。**

4. **使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。**

5. **［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。**

6 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh用）］の［Mac OS X用インストールの実行］リンクをクリックします。

Mac OS 9 の場合は、［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh 用）］の［Mac OS 9 用インストールの実行］をクリックします。

7 この後は、記載内容に従ってインストールしてください。

インストール後、［再起動］ボタンをクリックしてください。

起動

8. 本製品の電源が入っていることを確認してください。また「2-4. 本製品への無線設定方法の決定」で「コンピュータとUSB 接続して設定する」を選択した場合は、本製品とコンピュータが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

9. ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダをダブルクリックします。

   Mac OS 9 の場合は、［Applications（Mac OS 9）］フォルダをダブルクリックします。

参考	［Macintosh HD］の名前を変更している場合は、Mac OS を起動しているハードディスクをダブルクリックしてください。

10. ［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。

11. ［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。

12. ［EpsonNet Config］アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。

以下のページに進んで、本製品の無線・ネットワークの設定をしてください。

☞ 59 ページ「4-5. 無線・ネットワークの設定」

4-5. 無線・ネットワークの設定

EpsonNet Config（Windows）/（MacOS 9 および Mac OS X）を使って、本製品を設定します。EpsonNet Config（Windows）の画面を例に説明します。EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）の場合も手順は同様です。

参考

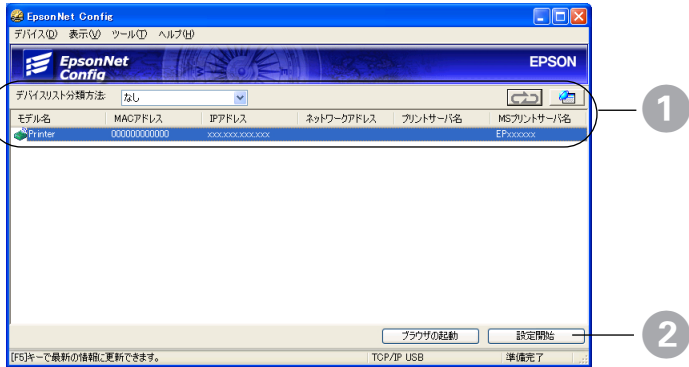
- ダイヤルアップ環境で、本製品を NetWare で使用しない場合は、NetWare 設定画面にある［NetWare を使用する］項目のチェックを外してください。NetWare を使用しない場合にチェックが付いていると、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料がかかるおそれがあります。
- NetWare の設定を行う場合は、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしておいてください。
- NetWare 5.xJ/6.xJ の環境で NetWare を設定する場合、NetWare サーバには IPX 接続でログインしてください。IP 接続でログインすると、NetWare および SNMP の IPX トラップの設定ができません。

無線に関する設定

参考

「2-4. 本製品への無線設定方法の決定」で「コンピュータの無線設定を本製品に合わせて設定する」を選択した場合は、本製品とコンピュータとの無線接続が確立している必要があります。工場出荷時の本製品は簡易 AP モードとして動作します。無線接続したいコンピュータの SSID を「EpsonNetAP」に設定して接続してください。
☞46 ページ「コンピュータの無線設定（Windows XP の場合）」
☞48 ページ「Macintosh の AirMac 設定」

注意

- ［通信モード］で［アドホック］を選択したときは、［セキュリティ］で［WPA-Personal（TKIP)］を選択しないでください。この組み合わせで設定すると、通信できなくなります。
  万が一設定してしまったときは、本製品を工場出荷状態にしてください。
  ☞224 ページ「付録・本製品の工場出荷時への戻し方」
- 本製品は簡易 AP モードのままでは、デバイスを使用することはできません。デバイスを使用するには、本製品をアクセスポイントに接続するか、アドホックモードで接続する必要があります。

1 ［デバイスリスト］で、設定するデバイスをクリックして選択します。

> **参 考**
> - 本製品は［モデル名］に［Printer］と表示されます。本製品にデバイスが接続されている場合は、デバイスの製品名が表示されます。
> - 本製品を USB 接続した状態でステータスバーに［USB］が表示されていないときは、EpsonNetConfig（Windows）を一旦終了してください。その後、初期起動状態（NETWORK ランプと DATA ランプが消灯し、USB ランプが緑点滅）以外になったら、EpsonNetConfig（Windows）を再起動してください。

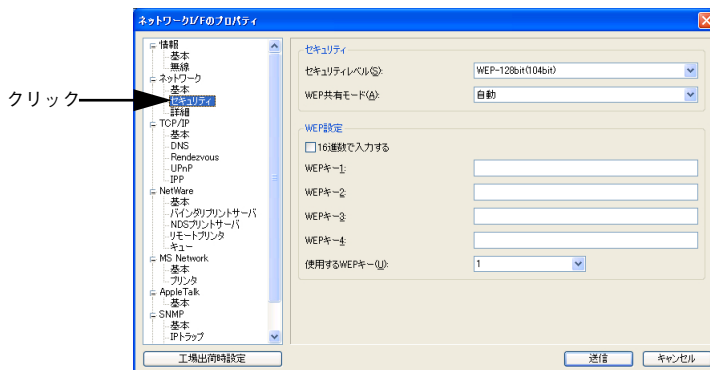
2 ［設定開始］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワーク］-［基本］をクリックします。

4 ［基本設定］の各項目を設定します。

設定項目	選択項目	設定内容
通信モード	インフラストラクチャ	「2-3. 無線ネットワーク環境の確認」で「アクセスポイントのある環境で本製品を使用する」を選択した場合にチェックします。
	アドホック	「2-3. 無線ネットワーク環境の確認」で「アクセスポイントのない環境で本製品を使用する」を選択した場合にチェックします。
無線モード	IEEE802.11b Mode	接続する無線ネットワーク環境がIEEE802.11b のときに選択します。通常は［IEEE802.11b/g Mode］を選択します。
	IEEE802.11b/g Mode	接続する無線ネットワーク環境にIEEE802.11bとIEEE802.11gの機器が混在しているときに選択します。
	IEEE802.11g Mode	接続する無線ネットワーク環境がIEEE802.11g のときに選択します。通常は［IEEE802.11b/g Mode］を選択します。
SSID	-	**［通信モード］で［インフラストラクチャ］を選択したとき** ［SSID］リストより、接続したい SSID を選択します。本製品の通信可能な範囲にあるアクセスポイントの SSID が［SSID］リストに表示されます。接続したいアクセスポイントの機能により、SSID が表示されないときは、接続したいアクセスポイントの SSID を直接入力してください。 **［通信モード］で［アドホック］を選択したとき** ［SSID］リストに直接 SSID を入力して、［チャンネル］リストより使用するチャンネルを選択します。
チャンネル	1～13（14）	［通信モード］で［アドホック］を選択したときに設定します。［無線モード］で［IEEE802.11b Mode］を選択したときは 1～14 チャンネル、［IEEE802.11b/g Mode］または［IEEE802.11g Mode］を選択したときは 1～13 チャンネルの中から選択することができます。設定の際、近接したエリアに同じ規格の無線があるときは、5 チャンネルを目安に間隔を空けて、電波干渉を避けて設定します。
通信速度	自動	通信速度は 1～54Mbps モードの間で、自動的に切り替わります。IEEE802.11b の場合は最大で 11Mbps モードとなります。

注 意 本製品は、工場出荷時では「簡易 AP モード」として動作しますが、簡易 AP モードのままで接続したデバイスを使用することはできません。

5 ［ネットワーク］-［セキュリティ］をクリックします。

6 ［セキュリティ］、［WEP 設定］および［WPA 設定］の各項目を設定します。

設定項目	選択項目	設定内容
セキュリティレベル	なし	暗号化によるセキュリティを使用しないときに選択します。
	WEP-64bit（40bit）	16 進数または ASCII 文字で WEP キーを使用したセキュリティです。
	WEP-128bit（104bit）	
	WPA-Personal（TKIP）	パスワード入力を使用したセキュリティです。
WEP 共有モード	オープンシステム	WEP キーの使用にかかわらず認証します。
	共有キー	無線通信デバイス間で同じ WEP キーを持っているか否かを認証します。
	自動	接続する無線デバイスに応じて［オープンシステム］と［共有キー］を切り替えます。通常は［自動］を選択します。
WEP 設定	16 進数で入力する	WEPキーを16進数で入力するときにチェックします。チェックせずに入力したときはASCII 文字として認識されます。
	WEP キー 1 ～ 4：	WEP キーを入力します。 **WEP-64bit（40bit）の場合** 英数と“-”とを組み合わせた 5 文字で入力します。［16 進数で入力する］をチェックしたときは 10 文字で入力します。 **WEP-128bit（104bit）の場合** 英数と“-”とを組み合わせた 13 文字で入力します。［16 進数で入力する］をチェックしたときは 26 文字で入力します。
	使用する WEP キー	ドロップダウンリストで 1 ～ 4 を選択します。
WPA 設定	-	パスワードを 8 ～ 63 文字以内の半角英数記号（大文字と小文字は別の文字として区別されます）で入力します。［通信モード］で［アドホック］を選択したときは、WPA 設定は使用しないでください。

参考

WEP キーや WPA パスワードの入力時は、以下の条件に沿って入力してください。

- ASCII 文字：半角英数記号を使って入力します（大文字と小文字は別の文字として区別されます）。
- 16進数（WEPのみ）：0 ～9 の数字とa ～fのアルファベットを組み合わせて入力します。

7 次に「3. コンピュータのネットワーク設定」で設定したプロトコルに合わせて、本製品を設定します。

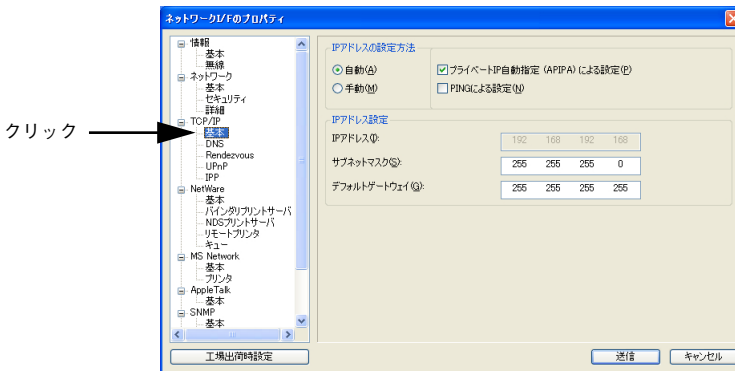
☞ 64 ページ「TCP/IP の設定」
☞ 67 ページ「AppleTalk の設定」
☞ 69 ページ「NetWare の設定」

TCP/IP の設定

参 考

- 本製品をUSBケーブルで複数台接続している場合は、MACアドレスで判別します。MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」
- 本製品が簡易APモードで複数台起動している場合は、一番最初に起動していたもののみを表示します。
- 本製品に IP アドレスが正しく設定されているときは、[ブラウザの起動] ボタンをクリックすると EpsonNet Config（Web）が起動します。
- お使いの Macintosh が所属するゾーンの外にある本製品は、[ツール] メニューの [オプション] - [探索方法] で設定すると表示されます。
- Windows XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへ印刷する場合も、TCP/IP 情報を設定してください。また、Macintosh で複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）を使う場合も、TCP/IP 情報を設定してください。

1 **[TCP/IP] - [基本] をクリックします。**

次の画面が表示されます。

2 **[IP アドレスの設定方法] 項目で、[自動] または [手動] を選択します。初期値では [自動] が選択されています。**

設定項目	設定内容
自動	DHCP または BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に選択します。デバイスの電源を入れるたびに本製品に割り振られる IP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
手動	[IP アドレス設定] 項目で IP アドレスを設定する場合に選択します。

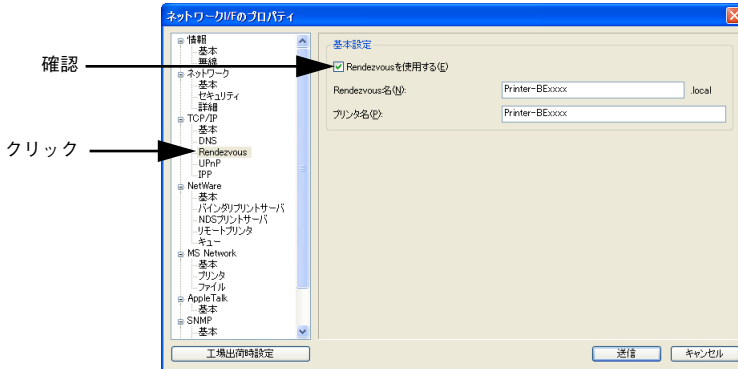
注 意

- ダイヤルアップ環境でお使いの場合は、以下のページにある注意をご覧の上、設定してください。
  236 ページ「付録・ダイヤルアップルータおよびルータ機能付きアクセスポイント使用時の注意」
- 工場出荷時、IP アドレスは［自動］に設定されています。IP アドレスを固定したいなど、本製品に設定する IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて変更してください。

3 ［IP アドレスの設定方法］、［IP アドレス設定］項目で、PING による設定や各種アドレスを設定します。

設定項目	設定内容
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	このチェックボックスがチェックされていると、DHCP サーバが存在しない場合や応答がないときに、IP アドレスが APIPA （Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。169.254.0.1 ～ 169.254.255.254 の範囲で設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目はグレー表示され設定できません。
PING による設定	IP アドレスを APIPA で自動取得している環境で、ここにチェックが付いているときは、ARP/PING コマンドで本製品に IP アドレスを設定できます。EpsonNet WebManager を使う場合は、本項目のチェックを外してください。
IP アドレス	本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からない場合は以下のページをご覧ください。 172 ページ「設定する IP アドレスがわからない」 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 本製品の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

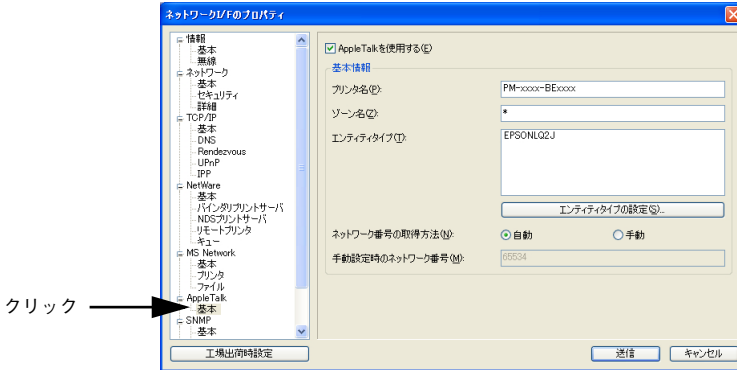
4 ［Rendezvous］をクリックします。

［Rendezvous を使用する］にチェックされていることを確認してください。

5 手順 1 ～ 4 の設定をしたら、［送信］ボタンをクリックします。

以降の操作は以下を参照してください。

☞ 76 ページ「設定内容の送信」

AppleTalk の設定

1. [AppleTalk] - [基本] をクリックします。
   次の画面が表示されます。

2. [AppleTalk を使用する] チェックボックスをチェックします。
   Mac OS 9 での印刷や Mac OS X の Epson AppleTalk プロトコルで印刷するときにチェックしてください。

3. [基本情報] を設定します。

設定項目	設定内容
プリンタ名	Mac OS の [セレクタ] に表示される名前を半角英数 32 文字以内で入力します。デバイスや設置場所が特定しやすい名前を入力してください。初期値：デバイス名 - 本製品の MAC アドレス下 6 桁
ゾーン名	ネットワークにAppleTalkゾーンが存在するときにゾーン名を入力します。[ネットワーク番号の取得方法] で [自動] を選択した場合、＊を入力すると自動的に設定されます。
エンティティタイプ	[エンティティタイプの設定] リストより選択したエンティティタイプが表示されます。
[エンティティタイプの設定] ボタン	本製品に接続したデバイス用のエンティティタイプを選択します。 ☞ 68 ページ「エンティティタイプの変更方法」
ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は [自動] を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	[ネットワーク番号の取得方法] で [手動] を選択した場合に、0 ～ 65534 の番号を入力します。

エンティティタイプの変更方法

注 意

本書を参考に以下の表に記載の機種を接続してセットアップを行ったときや、本製品に接続したデバイスをインクジェットタイプからレーザータイプに変更（またはその逆）したときなどは、エンティティタイプを設定し直す必要があります。なおエンティティタイプの初期値は「EPSONLQ2J」です。最新機種の情報についてはエプソンのホームページ（http://www.i- love-epson.co.jp/）をご覧ください。

デバイスタイプ	機種名	エンティティタイプ
インクジェットプリンタ	PM-3700C/4000PX	EPSONLQ2J
	PM-D750/D1000	
	PM-G700/G800	
	PX-G900/V500/V600	
複合機	PM-A850	
モノクロレーザープリンタ	LP-2500/7900/9100/9400	EPSONPAGEJ4
	LP-9000B	EPSONPAGECJ1
カラーレーザープリンタ	LP-9000C/9500C	

※ LP-7000C/9800C などの 2004 年以降に発売されたレーザープリンタでは、エンティティタイプの設定をし直す必要はありません。

［AppleTalk］-［基本］画面の［エンティティタイプの設定］ボタンをクリックして、本製品に接続したデバイスのエンティティタイプを選択して［OK］ボタンをクリックします。

4 **手順 ❶ ～ ❸ の設定をしたら、［送信］ボタンをクリックします。**

以降の操作は以下を参照してください。

☞ 76 ページ「設定内容の送信」

NetWare の設定

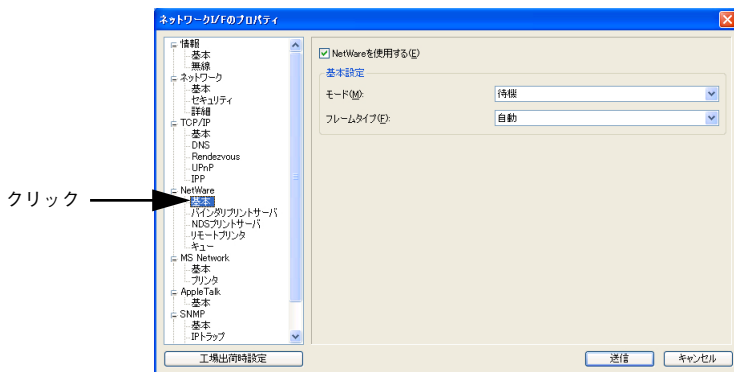
この項目は、EpsonNet Config（Windows）をお使いのときのみ表示されます。

> **参考**
> - 設定に使うコンピュータから、NetWareサーバまたはNDSコンテキストに管理者権限でログインしておいてください。
> - 本製品に設定されているモードと異なるモードでログインし、EpsonNet Config（Windows）でNetWareの設定をしようとすると、メッセージが表示されます。現在の設定を変更したくないときは、［キャンセル］ボタンをクリックして、本製品に設定されているモードでログインし直してください。

基本設定

> **参考**
> EpsonNet Config（Windows）で設定を保存すると、プリンタオブジェクトは次の書式で自動的に作成されます。
> - バインダリモード：PR0（0：ゼロ）
> - NDSモード：プリントサーバ名_ P0（0：ゼロ）

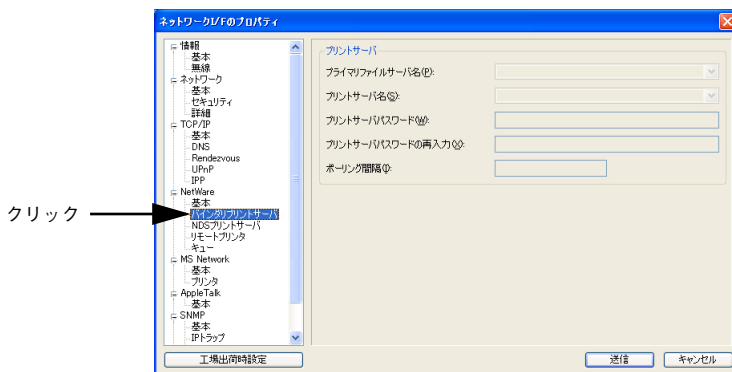
プリンタ名を変更するときは、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN を使用してください。

1. ［NetWare］-［基本］をクリックします。

2. NetWare を使用するときは［NetWare を使用する］チェックボックスをチェックします。

3 ［基本設定］を設定します。

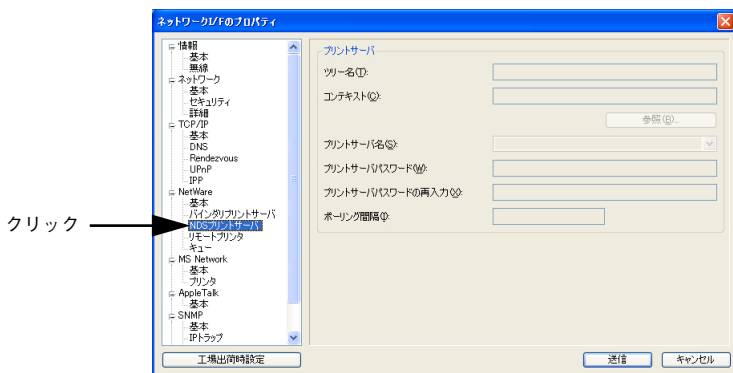
設定項目	選択項目	設定内容
モード	待機	動作モードを選択します
	プリントサーバ／バインダリ	
	プリントサーバ／ NDS	
	リモートプリンタ	
フレームタイプ	自動	使用するフレームタイプを選択します。通常は［自動］を選択します。
	Ethernet 802.2	
	Ethernet 802.3	
	Ethernet II	
	Ethernet SNMP	

バインダリプリントサーバの設定（バインダリモードの場合のみ）

1 ［NetWare］-［バインダリプリントサーバ］をクリックします。

2 ［プリントサーバ］を設定します。

設定項目	設定内容
プライマリファイルサーバ名	プリントサーバがログインするファイルサーバを選択するか、1 ～ 47 文字以内の半角英数字でプライマリプリントサーバ名を入力します。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択するか、1 ～ 47 文字以内の半角英数字でプリントサーバ名を入力します。
プリントサーバパスワード	通常は設定不要です。本製品がプリントサーバへログインするときのパスワードを 1 ～ 20 文字以内の半角英数字で入力します。詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	［プリントサーバパスワード］欄と同じパスワードを入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。ポーリング間隔を 5 ～ 90 秒の間で設定します。詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。

NDS プリントサーバの設定（NDS モードの場合のみ）

1 ［NetWare］-［NDS プリントサーバ］をクリックします。

2 ［プリントサーバ］を設定します。

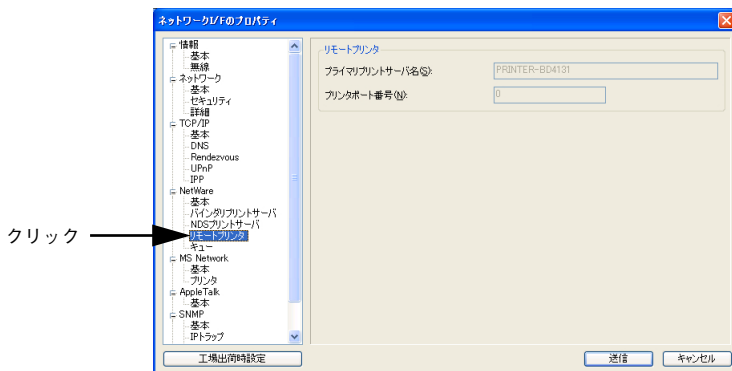
設定項目	設定内容
ツリー名	ツリー名を選択するか、1 ～ 31 文字以内の半角英数字でツリー名を入力します。
コンテキスト	［参照］ボタンをクリックして NDS コンテキストを選択するか、1 ～ 255文字以内の全角文字または半角英数字でNDS コンテキストを入力します。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択するか、1 ～ 47 文字以内の半角英数字でプリントサーバ名を入力します。
プリントサーバパスワード	通常は設定不要です。本製品がプリントサーバへログインするときのパスワードを 1 ～ 20 文字以内の半角英数字で入力します。詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	［プリントサーバパスワード］欄と同じパスワードを入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。ポーリング間隔を 5 ～ 90 秒の間で設定します。詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。

リモートプリントの設定

NDPS ゲートウェイを使用するときも、この画面で設定します。

参 考

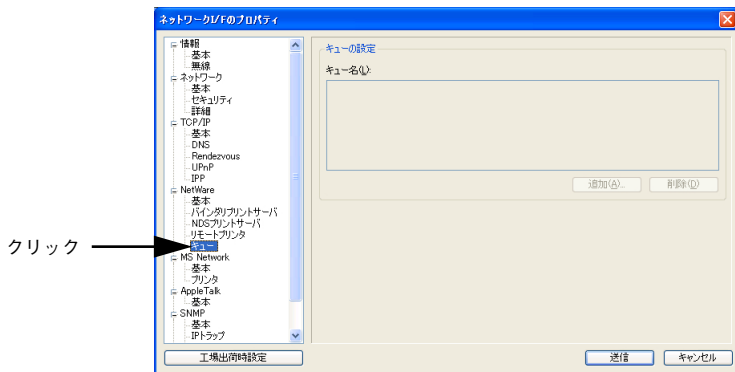
- NetWare 環境で使用するためのプリンタ環境の設定は、前もって行っておいてください。
☞124 ページ「8. NetWare サーバの設定」
- NDPS ゲートウェイの場合、ここでの操作は［リモート（IPX 上で rprinter）］をお使いの場合のみ設定してください。［リモード（IP 上で LPR）］、［ジョブをキューに転送］をお使いの場合は設定不要です。

1 ［NetWare］-［リモートプリンタ］をクリックします。

2 ［リモートプリンタ］を設定します。

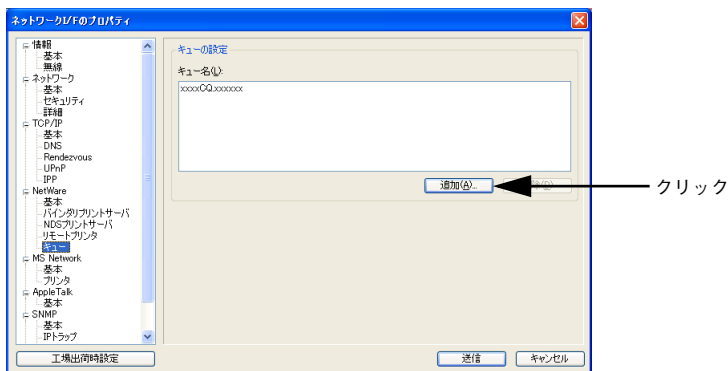
設定項目	設定内容
プライマリプリントサーバ名	PCONSOLE または NWADMIN で作成したプリントサーバ名を、1 ～ 47 文字以内の半角英数字で入力します。NDPS ゲートウェイの場合は、NetWare で設定した SAP 名と同じ名前を入力します。
プリンタポート番号	PCONSOLE または NWADMIN で設定したリモートプリンタのプリンタ番号を 0 ～ 254 文字以内の半角数字で入力します。NDPS ゲートウェイの場合は、NetWare で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

キューの設定

参 考　NDS モードの場合、ここでは［コンテキスト］項目で設定したコンテキストより上のコンテキストに対しても、キューを設定できます。その場合は、キューを設定したコンテキストに対して管理者の権限を持っている必要があります。

1 ［NetWare］-［キュー］をクリックします。

2 ［キュー］を設定します。

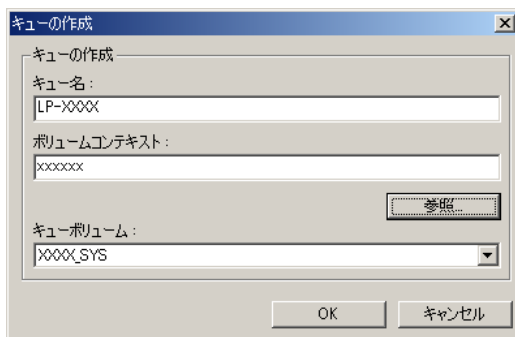
既存のキューを割り当てる場合

1 ［キューの設定］で［追加］ボタンをクリックします。
［一覧］画面が表示されます。

2 ［一覧］画面からキューを選択して［OK］ボタンをクリックします。

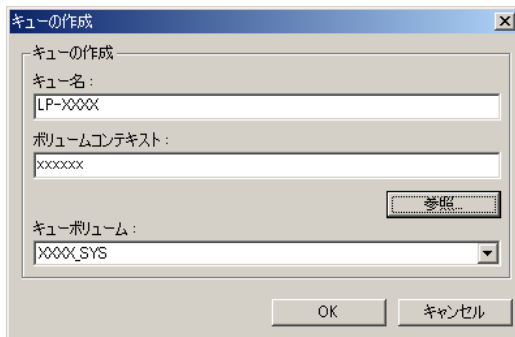
キューを新規作成する場合

バインダリモード

1 ［一覧］画面よりキューを新規作成するファイルサーバを右クリックして、［キューの作成］ボタンをクリックします。

2 ［キュー名］を半角英数1～47文字以内で入力して、［OK］ボタンをクリックします。
プリンタを特定しやすい名前にしてください。この後は次ページの手順 5 に進んでください。

NDS モード

1. ［一覧］画面よりキューを新規作成するコンテキストを右クリックして、［キューの作成］ボタンをクリックします。

2. ［キュー名］を半角英数 1 ～ 47 文字以内で入力します。
プリンタを特定しやすい名前にしてください。

3. ［参照］ボタンをクリックしてコンテキストを選択します。

4. 必要に応じて［キューボリューム］ドロップダウンリストよりキューボリュームを選択して、［OK］ボタンをクリックします。

5. 確認画面で［OK］ボタンをクリックします。

6. ［一覧］画面で作成したキューを選択して［OK］ボタンをクリックします。

7. ［キューの設定］画面で［追加］ボタンをクリックします。

8. ［一覧］画面に追加したキューが表示されていることを確認します。

9. ［OK］ボタンをクリックします。

10. 各項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。
以降の操作は以下を参照してください。
☞ 76 ページ「設定内容の送信」

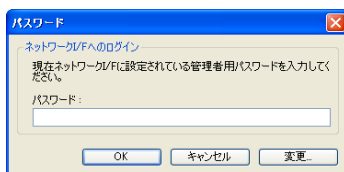
キューの割り当てを削除する場合

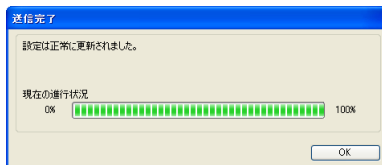
［キュー名］画面で解除したいキューを選択して「削除」ボタンをクリックします。

設定内容の送信

1. **表示された画面で［OK］ボタンをクリックします。**

2. **［パスワード］画面が表示されます。**

工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
パスワードを設定しない場合は、何も入力せずに［OK］ボタンをクリックしてください。設定情報が送信されます。
☞ 78 ページ「パスワードについて」

注 意

次の画面で「設定は正常に更新されました。」と表示されるまでは本製品に情報を送っていますので、本製品の電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

3 **設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間は本製品の電源を切らないでください。3 分ほどしたら、［表示］メニューの［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。**

これで本製品の設定は終了です。本製品とお使いになるデバイスを本製品に同梱のUSB ケーブルで接続してください。「2-4．本製品への無線設定方法の決定」で「コンピュータと USB 接続して設定する」を選択していた場合は、コンピュータと接続している USB ケーブルを取り外してください。
次に「5. プリンタドライバのインストール」に進みます。
☞ 79 ページ「5．印刷ツールと プリンタドライバの インストール」

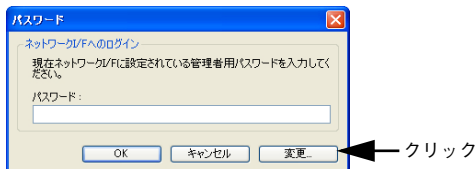
参 考

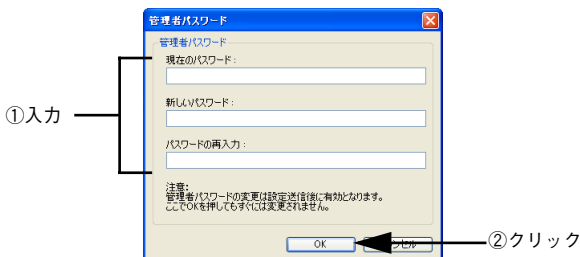
- ルータ機能付きアクセスポイントなど、お使いの無線ネットワーク環境にダイヤルアップルータを設置している場合は、以下のページの「付録・ダイヤルアップルータ及びルータ機能付きアクセスポイント使用時の注意」を確認してください。
  ☞ 236 ページ「付録・ダイヤルアップルータおよびルータ機能付きアクセスポイント使用時の注意」
- 各画面の詳細説明については、各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。
- 本製品の無線ネットワークに関する設定が終了したら、本書の最後のページにある「メモしておきましょう（PA-W11G）」を印刷し、設定した項目をメモしておくことをお勧めします。

パスワードについて

パスワードは、本製品の設定を保護するためのものです。[ネットワーク I/F のプロパティ] 画面で [送信] ボタンをクリックしたり、[工場出荷時設定] ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

1. **初めてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、[変更] ボタンをクリックします。**

   工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。

2. **[変更] ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

   大文字・小文字は区別されます。

参 考

- パスワードは、EpsonNet Config（Windows）/（MacOS 9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- 新しいパスワードは、手順 1 の [パスワード] 画面で [OK] ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者パスワード] 画面で設定した直後は、[パスワード] 画面で [現在のパスワード] を入力してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、本製品を工場出荷時の設定に戻す必要があります。
  224 ページ「付録・本製品の工場出荷時への戻し方」

5．印刷ツールと プリンタドライバの インストール

ネットワークに接続したプリンタに印刷するには、プリンタドライバのインストールとポートなどの設定が必要です。ここではインストールと設定の手順をご利用の OS 別に説明します。

5-1.Windows の場合

本書では、LPR 印刷用に「EpsonNet Print」の導入を推奨しております。ここでは、EpsonNet Print を使ったプリンタのセットアップ方法を説明しています。WIndows 2000 などの Windows 標準 LPR を使ったセットアップ方法については、以下を参照してください。

☞ 198 ページ「付録・EpsonNet Intrernet Print および標準 IPP/LPR を使ったプリンタのセットアップ方法」

EpsonNet Print の概要

EpsonNet Print は、Windows からネットワークに接続した EPSON プリンタに、TCP/IP 直接印刷をする時に使うユーティリティです。次のような特長があります。

IP アドレスの自動追従

本製品がサーバやルータ、アクセスポイントの DHCP 機能を使って IP アドレスを取得しているとき、その後 IP アドレスが変わっても、EpsonNet Print が IP アドレスを自動追従します。

Windows 98SE/Me での LPR 印刷

LPR 印刷を標準サポートしていない Windows に EpsonNet Print をインストールすることで、プリントサーバを介さずに LPR による直接印刷ができるようになります。

ルータを超えた LPR プリント

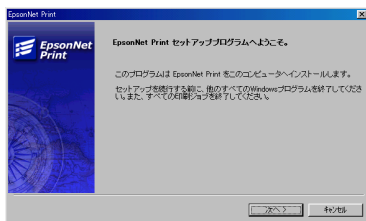
ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を LPR プリンタとして使用することができます。

印刷速度の選択

印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選ぶことができます。

セットアップの流れ

EpsonNet Print をお使いいただくための、作業の流れを説明します。

❶ EpsonNet Print のインストール

コンピュータに EpsonNet Print をインストールします。

☞ 83 ページ「EpsonNet Print のインストール」

❷ コンピュータの設定

Windows 98SE/Me の場合

Windows 98SE/Me でお使いの場合は、LPR 印刷を行うプリンタのプリンタドライバを任意のポート（LPT1 など）を選択しインストールします。
プリンタドライバのインストール完了後、プリンタのプロパティを開いて、プリンタポートの設定を、EpsonNet Print のインストールで作成されたポート「EpsonNet Print Port」に変更します。
詳しくは、以下の手順を参照してください。

①プリンタドライバのインストール
☞ 87 ページ
②プリンタポートの作成と設定変更
☞ 89 ページ

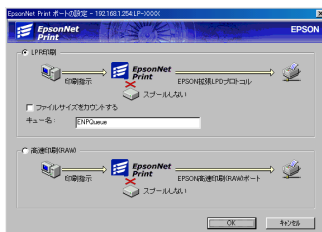
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

Windows 2000/XP/Server 2003 でお使いの場合は、「EpsonNet Print Port」を作成してから、LPR 印刷を行うプリンタのプリンタドライバをインストールします。
詳しくは、以下の手順を参照してください。

①プリンタポートの作成
☞ 94 ページ
②プリンタドライバのインストール
☞ 99 ページ

プリンタを共有する手順については、プリンタ本体に添付されている取扱説明書を参照してください。

参考　Windows 98SE/Me 環境で使用する場合、EpsonNet Print は、プリンタを使用するすべてのコンピュータ（Windows 98SE/Me）にインストールしてください。

❸ EpsonNet Print の設定

必要に応じて EpsonNet Print から印刷データを送信する方法などの設定を行います。

☞ 104 ページ「印刷方式の設定」

動作環境

EpsonNet Print は、次の環境で動作します。

対象機種のシステム条件

- IBM PC/AT 互換機
- CPU：Pentium II 400MHz 以上
- ハードディスクの空き容量：20MB 以上
- 内蔵メモリ容量：RAM 64MB 以上

対象 OS

- Windows 98SE
- Windows Me
- Windows 2000（サービスパック 4 以降）
- Windows XP（サービスパック 1 以降）
- Windows Server 2003

Windows 2000/XP/Server 2003は、EpsonNet Print をインストールしなくてもLPR印刷ができます。

注 意　Windows 2000 などの Windows 標準 LPR を使用する場合は、IP アドレスを自動追従できません。

参 考　EpsonNet DirectPrint や旧バージョンの EpsonNet Print とは共存インストールすることはできません。
EpsonNet DirectPrint の Version2.x をお使いの場合は、EpsonNet Print をインストールすると、警告のメッセージが表示されます。画面の指示に従って EpsonNet DirectPrint Version 2.x をアンインストール（削除）してください。
85 ページ 手順 7

EpsonNet Print のインストール

EpsonNet Print のインストール方法を Windows 98SE の画面で説明します。
EpsonNet Print をインストールすると新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成され、このポートを使うことで Windows 98SE など標準で LPR ポートを持たない Windows でもネットワーク直接印刷ができるようになります。また、各種アドレスを自動取得しているプリンタも EpsonNet Print Port がアドレスの変動を自動追従します。Windows 2000 など、標準で LPR ポートを持っている Windows でも有効活用できます。

参考 Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールするには、管理者の権限を持つユーザでログオンしてください。

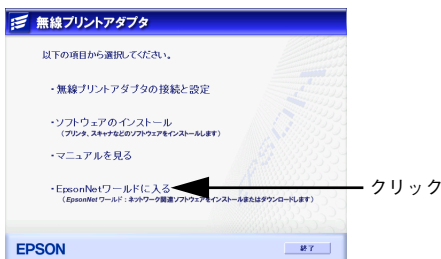
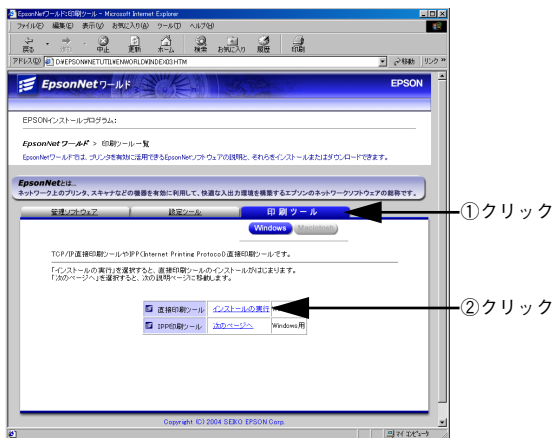
1 コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

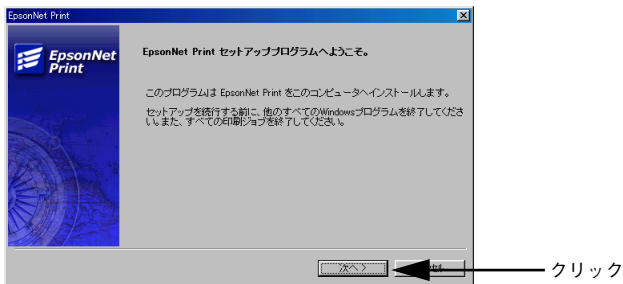
セットする CD-ROM は、本製品に接続しているプリンタのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。

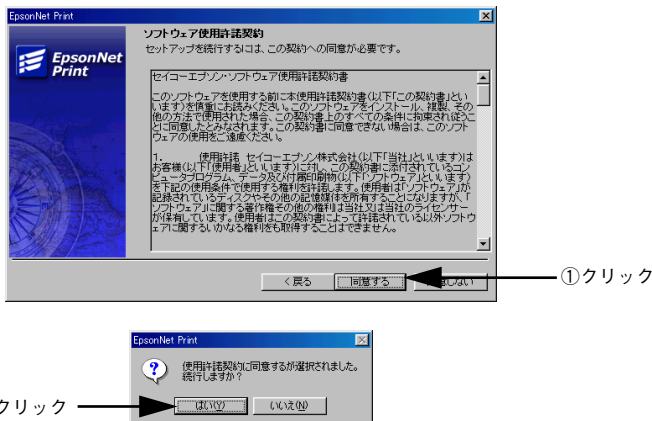
2 ［無線プリントアダプタセットアップへようこそ］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。

参考 画面が自動的に表示されないときや［インストール中止］ボタンをクリックした後に作業を再開したいときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

4 ［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。

5 ［印刷ツール］タブをクリックし、［直接印刷ツール］の［インストールの実行］をクリックします。

参考	お使いのコンピュータによっては［ファイルのダウンロード－ セキュリティの警告］ダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示されたときは以下の手順に従ってください。 ①［実行］ボタンをクリックします。 ②表示された画面で［実行する］ボタンをクリックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

7 ［ソフトウェア使用許諾契約］画面の内容を確認して、［同意する］ボタンをクリックします。

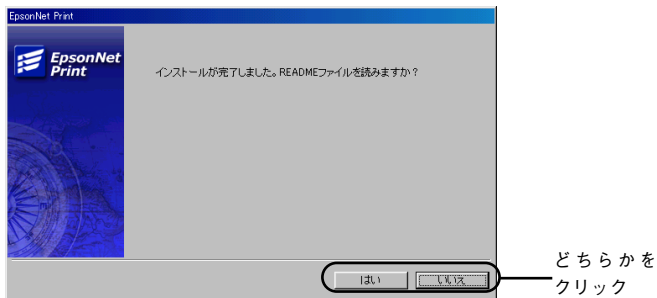
確認画面が表示されますので、［はい］ボタンをクリックしてください。

> **参 考**
> EpsonNet DirectPrint の Version 2.x がインストールされている場合は、インストールの続行を確認する画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

8 ［アプリケーションのインストール］画面の内容を確認して、［インストール］ボタンをクリックします。

インストール画面が表示され、インストールが始まります。

> **注 意**
> - 旧バージョンの EpsonNet Print がインストールされている場合は、上書きインストールを確認する画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。
> - 同じバージョンの EpsonNet Print がインストールされている場合は、インストールの終了を確認する画面が表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。

9 README ファイルを読む場合は［はい］ボタン、読まない場合は［いいえ］ボタンをクリックします。

EpsonNet DirectPrint をアンインストールしたときは、再起動が必要です。

以上で、EpsonNet Print のインストールは終了です。続いて次項で「TCP/IP 設定の確認」を行い、次ページに進んでください。

TCP/IP 設定の確認

1 設定に使うコンピュータに、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。

2 本製品が、IP アドレスを正しく取得していることを確認します。

参考	本製品の IP アドレスを固定したいときは、添付の設定ユーティリティで設定する必要があります。IP アドレスの設定方法については、以下のページをご覧ください。 ☞59 ページ「4-5. 無線・ネットワークの設定」 ☞234 ページ「付録・ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」

Windows 98SE/Me での設定

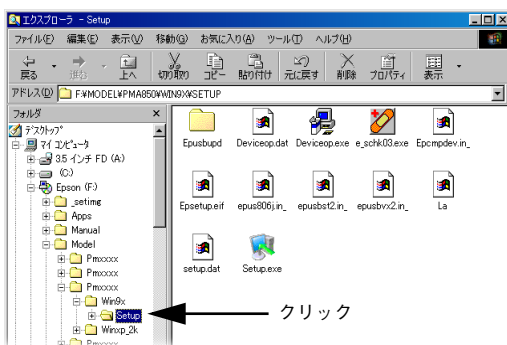
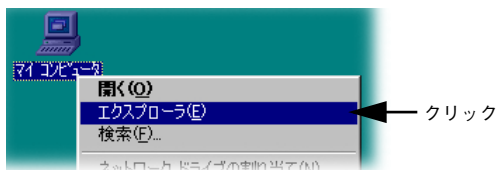
プリンタドライバをインストールした後、そのドライバに対して EpsonNet Print Port を作成します。

プリンタドライバのインストール

1. **コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

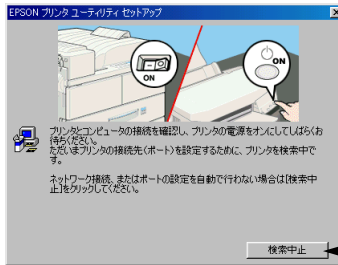
   セットする CD-ROM は、本製品に接続しているプリンタのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。

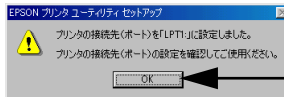
2. **[無線プリントアダプタセットアップへようこそ] 画面で、[終了] ボタンをクリックします。**

3. **[マイコンピュータ] ウィンドウを参照して、CD ドライブの [EPSON] アイコン - [MODEL] フォルダ内から本製品に接続している製品名をクリックして、[Win9x] - [Setup] フォルダをクリックします。**

[マイコンピュータ] アイコンがある場合は、アイコンを右クリックして「エクスプローラ」をクリックしてください。

4 ［Setup］アイコンをダブルクリックします。

5 **以下のような画面が表示された場合は、［検索中止］または［キャンセル］ボタンをクリックしてください。**

EpsonNet Print を使用する場合、プリンタポートの設定を手動で行うため設定の必要はありません。

<例>

［検索中止］または［キャンセル］ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されることがあります。［OK］ボタンをクリックしてください。

<例>

プリンタドライバのインストールが終了したら、次ページに進んでLPR 印刷を行うためのプリンタポートの設定を変更します。インクジェットプリンタ／複合機の場合は、以下の操作をして CD-ROM 内のファイルをインストールしてから次ページに進み、プリンタポートを設定してください。

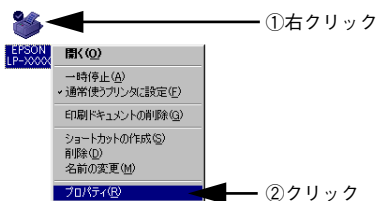
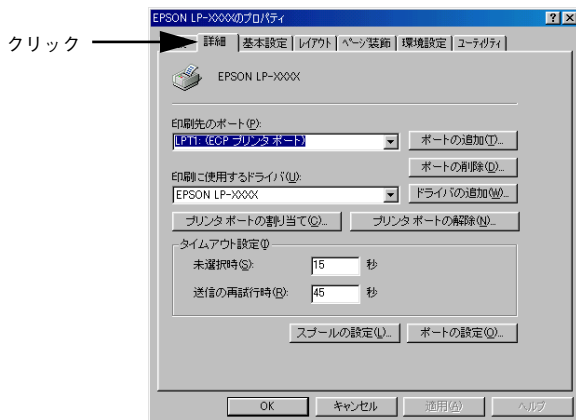
- ［APPS］フォルダ － ［Updater］フォルダ － ［WIN9X］フォルダをクリックし、［UPDATE］アイコンをダブルクリック。
- ［APPS］フォルダ －［AddNet］フォルダをクリックし、［setup］アイコンをダブルクリック。

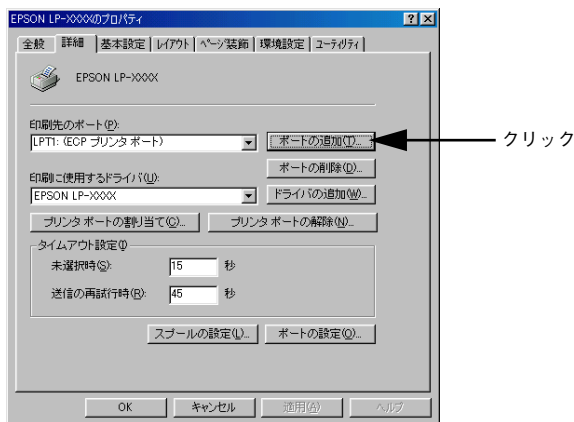
注 意
- 上記操作を実行しないと、プリンタドライバのユーティリティ機能の一部が正常に動作しない場合があります。
- レーザープリンタの場合は、上記の操作を実行する必要はありません。

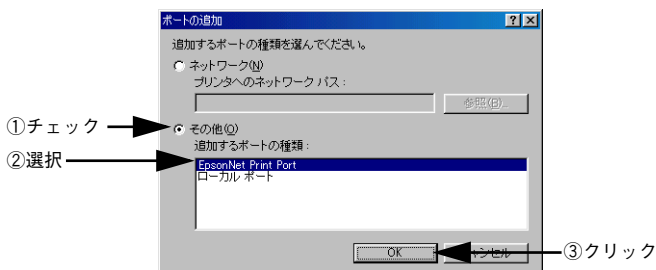
参 考
プリンタポートの設定を行わないと、EpsonNet Print で印刷することはできませんので、必ず設定してください。

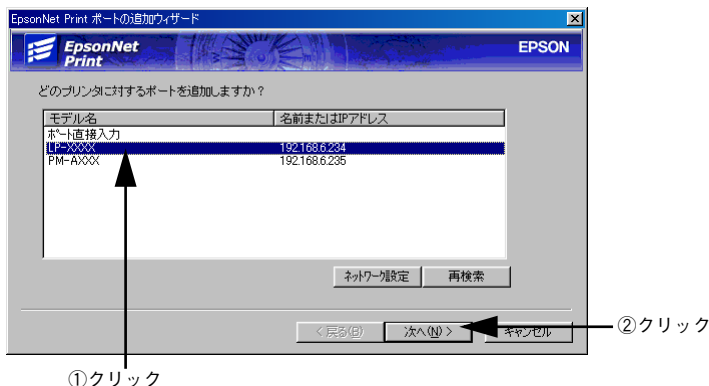
プリンタポートの作成と設定変更

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. インストールされたプリンタを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3. 表示された画面の［詳細］タブをクリックします。

4 ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

［ポートの追加］画面が表示されます。

5 ［その他］をチェックし、［EpsonNet Print Port］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］画面が表示されます。

6 **プリンタをクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

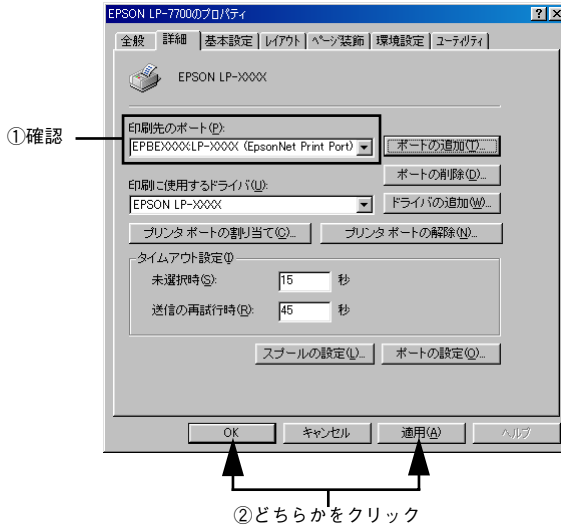
通常は手順 2 で右クリックしたプリンタを指定します。

参考

- ［ポート直接入力］については、以下を参照してください。
  ☞ 102 ページ「ネットワークプリンタの直接指定」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定したいときは、［ネットワーク設定］ボタンをクリックして［プリンタを検索するネットワークセグメント］を設定します。
  ☞ 101 ページ「ネットワークプリンタの検索」
- ［プリンタを検索するネットワークセグメント］を変更したときやポートの追加作業中にプリンタの電源をオンにしたときは、［再検索］ボタンをクリックしてください。

7 画面の内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

必要に応じて、以下の表を参考に［ポートタイプ選択］リストを設定してください。

項目名		内容
［ポートタイプ選択］リスト		本製品の設定に応じて、作成可能なポート種別をリストアップします。
	IP アドレス（自動）	使用するコンピュータとプリンタが、同一セグメント内にある場合に選択できます。 本製品の IP アドレスが変更されても、ポートとIP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	本製品が固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどにより各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
	DNS 登録名	DNS サーバに本製品のホスト名を登録しているときに、必要に応じて選択します。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有印刷（MS Network）で使用しているときに選択します。
ポート名		［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **[IP アドレス（自動）]**：ホスト名（本製品名 EPXXXXXX）：プリンタ名 **[IP アドレス（固定）]**：IP アドレス：プリンタ名 **[DNS 登録名]**　：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンタ名 **[MS Network]**　：ホスト名（NetBIOS）：プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **[IP アドレス（自動）]**：IP アドレス **[IP アドレス（固定）]**：IP アドレス **[DNS 登録名]**　：ホスト名（DNS 登録済み） **[MS Network]**　：ホスト名（NetBIOS）
プロトコル		使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

8 **印刷先のポートを確認して、［OK］ボタンまたは［適用］ボタンをクリックします。**

以上でWindows 98SE/Meでの設定は終了です。

印刷方法を設定する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 104ページ「印刷方式の設定」

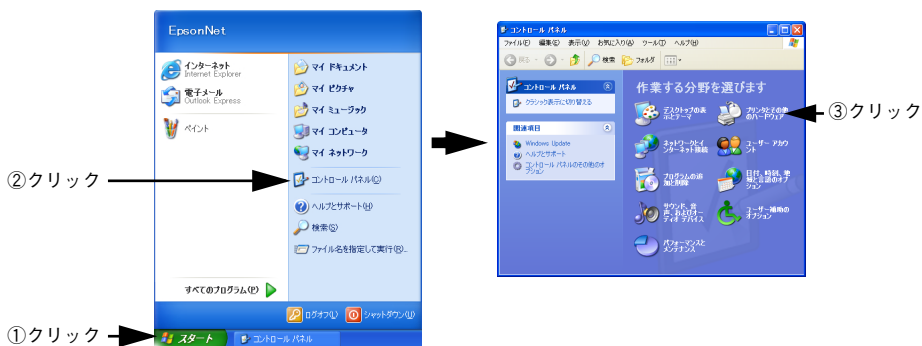
Windows 2000/XP/Server 2003 での設定

プリンタポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタドライバをインストールします。ここでは Windows XP の画面で説明します。

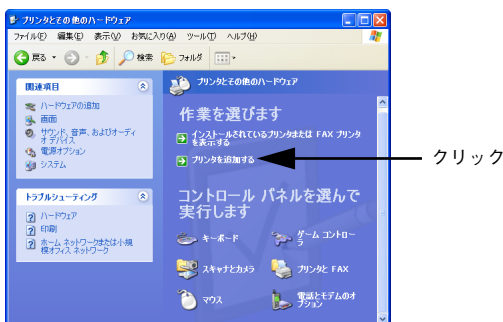
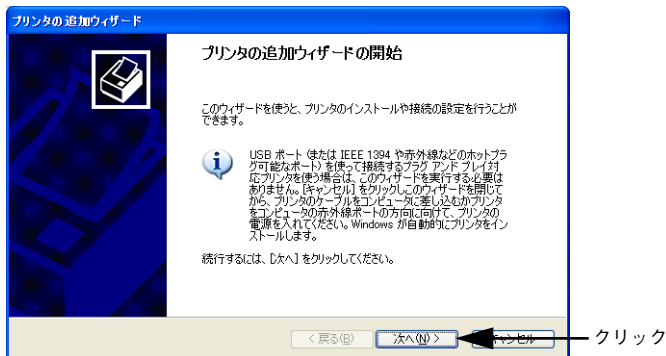
プリンタポートの作成

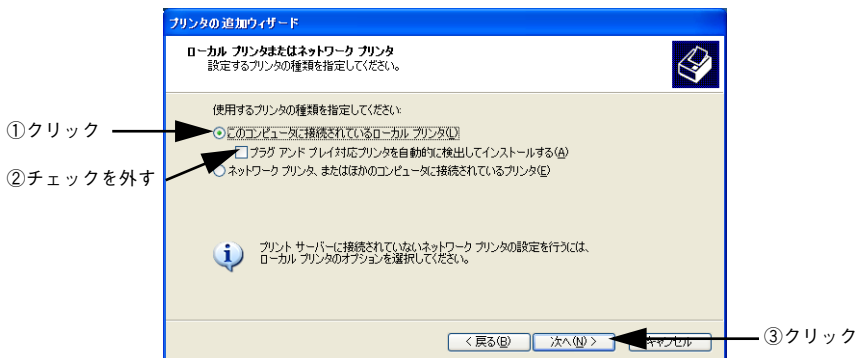
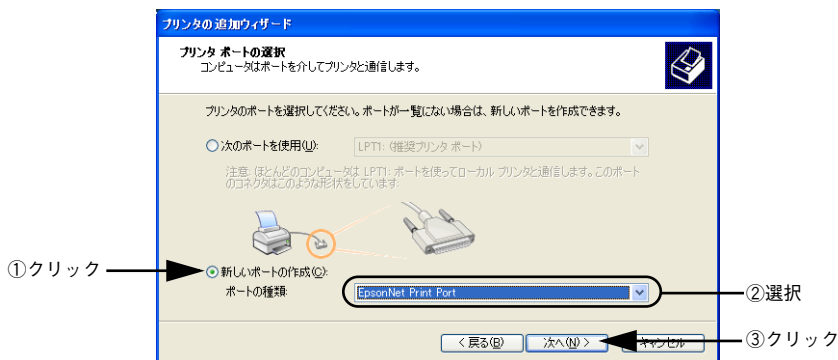
1 **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順でクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。

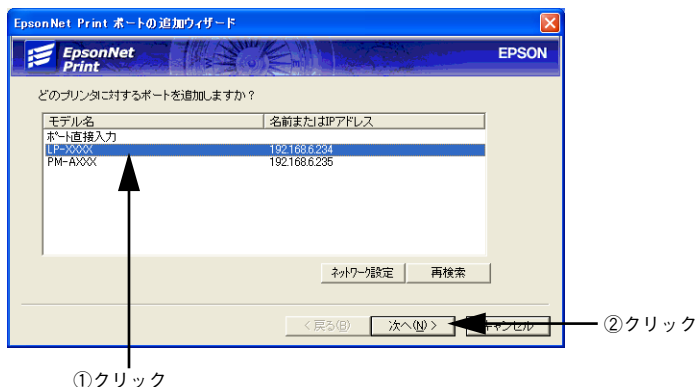
Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックします。**

［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されます。

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3 ［プリンタの追加ウィザード］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［新しいポートの作成］を選択します。［EpsonNet Print Port］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

お使いの Windows によっては［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されます。［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

6 **プリンタをクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

LPR 印刷を行うプリンタを指定します。

参考

- ［ポート直接入力］については、以下を参照してください。
  ☞ 102 ページ「ネットワークプリンタの直接指定」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定したいときは、［ネットワーク設定］ボタンをクリックして［プリンタを検索するネットワークセグメント］を設定します。
  ☞ 101 ページ「ネットワークプリンタの検索」
- ［プリンタを検索するネットワークセグメント］を変更したときやポートの追加作業中にプリンタの電源をオンにしたときは、［再検索］ボタンをクリックしてください。
- 手順 5 で表示された［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログで［ブロックする］を選択した場合は、コンピュータと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンタのみを表示します。異なるネットワークアドレスのプリンタを表示したい場合は、［コントロールパネル］の［Windows ファイアウォール］で設定を変更してください。

7 **画面の内容を確認して、[完了] ボタンをクリックします。**

必要に応じて、次ページの表を参考に[ポートタイプ選択] リストを設定してください。

項目名		内容
[ポートタイプ選択] リスト		本製品の設定に応じて、作成可能なポート種別をリストアップします。
	IP アドレス(自動)	使用するコンピュータとプリンタが、同一セグメント内にある場合に選択できます。 本製品の IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス(固定)	本製品が固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどにより各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
	DNS 登録名	DNS サーバに本製品のホスト名を登録しているときに、必要に応じて選択します。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有印刷(MS Network)で使用しているときに選択します。
ポート名		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **[IP アドレス(自動)]**:ホスト名(本製品名 EPXXXXXX):プリンタ名 **[IP アドレス(固定)]**:IP アドレス:プリンタ名 **[DNS 登録名]**:ホスト名(DNS 登録済み):プリンタ名 **[MS Network]**:ホスト名(NetBIOS):プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		[ポートタイプ選択] リストで選択した項目によって以下のように表示します。 **[IP アドレス(自動)]**:IP アドレス **[IP アドレス(固定)]**:IP アドレス **[DNS 登録名]**:ホスト名(DNS 登録済み) **[MS Network]**:ホスト名(NetBIOS)
プロトコル		使用プロトコル(拡張 LPR)を表示します。

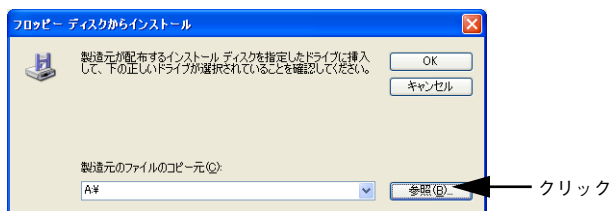
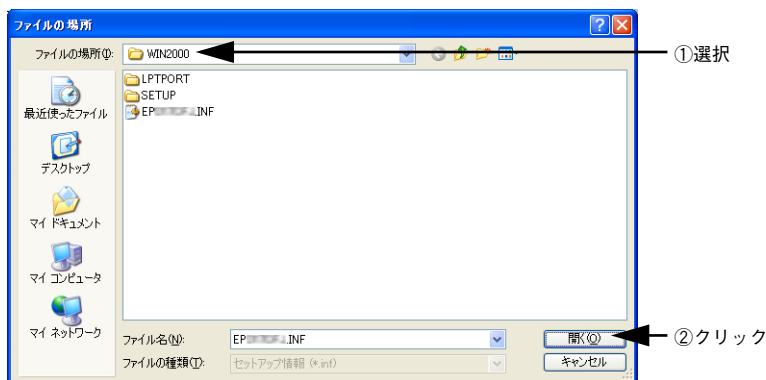
[プリンタの追加ウィザード] または [プリンタウィザード] 画面を開いた状態で、次ページの「プリンタドライバのインストール」へ進みます。

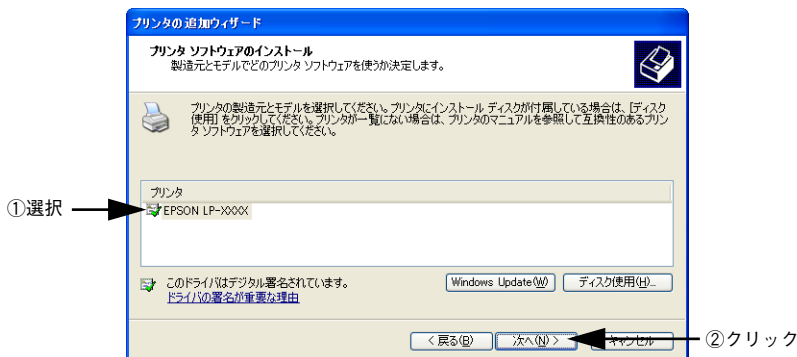
プリンタドライバのインストール

1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
   セットする CD-ROM は、本製品に接続しているプリンタのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。

2. 画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. ［プリンタの追加ウィザード］または［プリンタウィザード］画面で［ディスク使用］ボタンをクリックします。

4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5. CD- ROM 内の［MODEL］フォルダより本製品に接続しているデバイス名フォルダ内の［WINXP_2K］フォルダを選択して、［開く］ボタンをクリックします。

6. ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7 プリンタの一覧からお使いの機種名を選択し、[次へ] ボタンをクリックします（画面は例です）。

8 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参考
- プリンタをネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントコンピュータの使用者に知らせてください。クライアントコンピュータからプリンタを利用するときに必要です。
- この後［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示された場合は、［続行］または［はい］ボタンをクリックしてください。

以上で Windows 2000/XP/Server 2003 での設定は終了です。インクジェットプリンタ／複合機の場合は、以下の操作をして CD-ROM 内のファイルをインストールしてください。

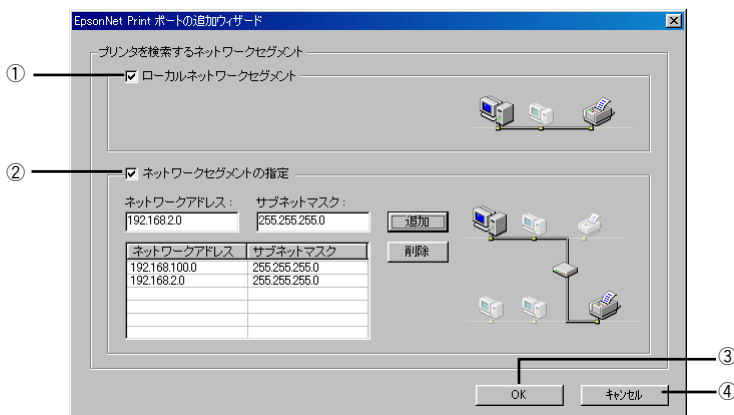
- ［APPS］フォルダ -［Updater］フォルダ -［WINXP_2K］フォルダをクリックし、［UPDATE］アイコンをダブルクリック。
- ［APPS］フォルダ -［AddNet］フォルダをクリックし、［setup］アイコンをダブルクリック。

注意
- 上記操作を実行しないと、プリンタドライバのユーティリティ機能の一部が正常に動作しない場合があります。
- レーザープリンタの場合は、上記の操作を実行する必要はありません。

印刷方法の設定をする場合は、以下のページに進んでください。
☞ 104 ページ「印刷方式の設定」

複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）またはネットワークストレージを使う場合は以下のページへ進んでください。
☞ 110 ページ「6. EPSON Scan の インストールと設定」
☞ 120 ページ「7. ネットワークストレージの設定」

ネットワークプリンタの検索

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］で［ネットワーク設定］ボタンをクリックした場合に表示される［プリンタを検索するネットワークセグメント］画面について説明します。

項目名			内容
①	ローカルネットワークセグメント		印刷に使うコンピュータと同じセグメントのEPSON プリンタ（本製品）だけを検索します。
②	ネットワークセグメントの指定		ルータを越えたところにあるEPSON プリンタ（本製品）を検索します。
		ネットワークアドレス	検索する EPSON プリンタ（本製品）の存在するネットワークアドレスを入力します。 例）192.168.2.0
		サブネットマスク	検索する EPSON プリンタ（本製品）が存在するネットワークセグメントのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例)255.255.255.0
		［追加］ボタン	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を「検索範囲リスト」に追加します。
		検索範囲リスト	ネットワークセグメントのIPアドレスとサブネットマスクの一覧を表示します。
		［削除］ボタン	「検索範囲リスト」で選択された項目を削除します。
③	［OK］ボタン		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］ボタン		設定を取り消して、画面を閉じます。

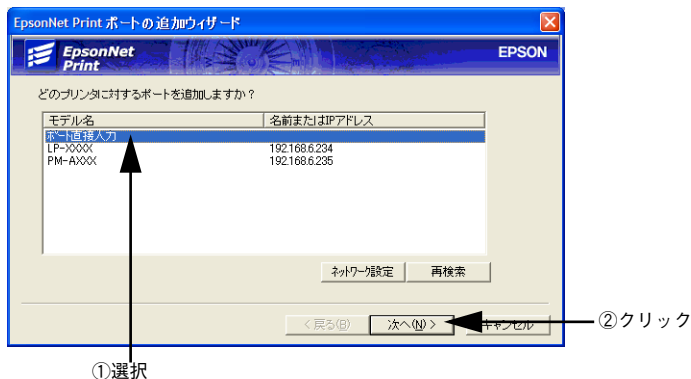
参 考

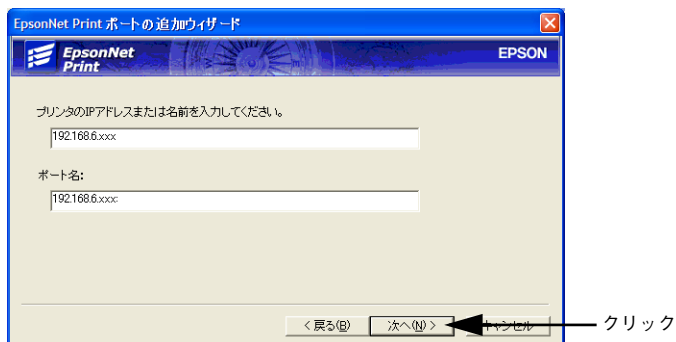
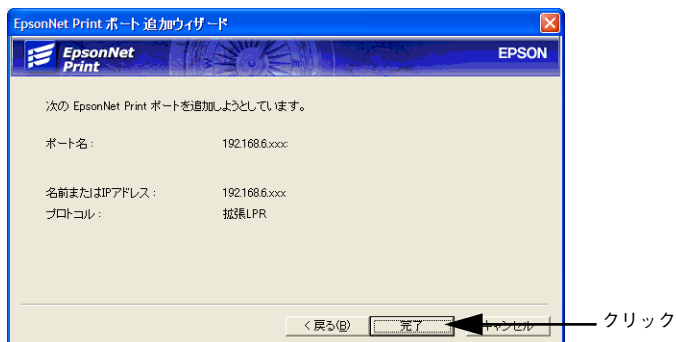
EpsonNet Print をインストールしたコンピュータがクラスB ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255) で設定されていた場合、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255) で設定したネットワークプリンタが検索されない場合があります。その場合はプリンタの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。

ネットワークプリンタの直接指定

固定アドレスを設定しているプリンタや、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークプリンタの検索でも表示されない固定アドレスを持つプリンタなどは、この［ポート直接入力］を使用してポートを作成します。ここでは、Windows XP の画面で説明します。

注 意　アドレスを自動取得しているプリンタには、この機能を使用しないでください。

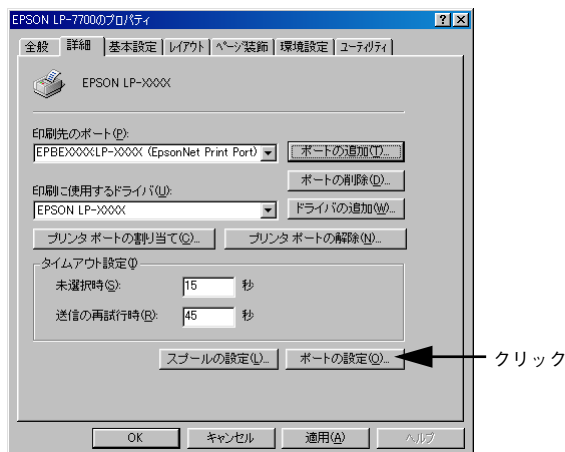
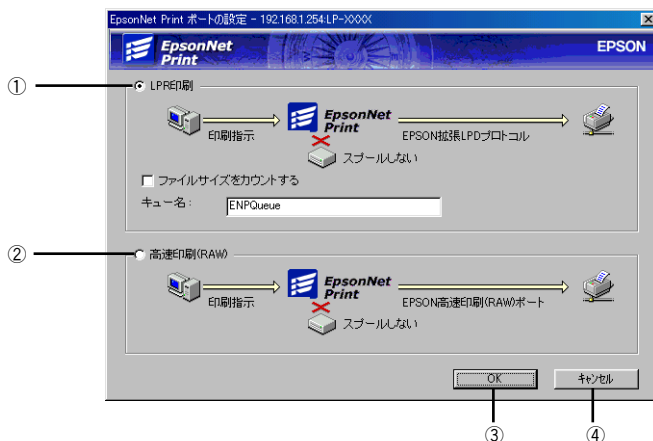
1　**［ポート直接入力］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

2 以下の表を参考に、各項目を設定して［次へ］ボタンをクリックします。

項目名	内容
プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。	プリンタを指定するための IP アドレス／ホスト名／ FDQN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	［プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。］に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。

3 画面の内容を確認して、［完了］ボタンをクリックします。

印刷方式の設定

印刷データの送信方法などを設定することができます。
Windows 98SE の画面で説明します。

1. **［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。**
   Windows XP/Server 2003 の場合、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2. **プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

3. **プロパティの画面で、［詳細］タブにある［ポートの設定］ボタン（Windows 2000/XP/Server 2003 は、［ポート］タブの［ポートの構成］ボタン）をクリックします。**

❹ 用途により印刷方式を切り替えます。

<table>
<tr><th colspan="3">項目名</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">①</td><td colspan="2">LPR 印刷</td><td>EPSON 拡張LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」にチェックをオンにした場合よりも高速に印刷できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>ファイルサイズをカウントする</td><td>チェックをオンにすると、LPD プロトコルに準拠しており LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。</td></tr>
<tr><td>キュー名</td><td>印刷キューに名前を付けることができます。
通常は変更する必要はありません。</td></tr>
<tr><td>②</td><td colspan="2">高速印刷（RAW）</td><td>最も高速に印刷したい場合に、選択します。
LPR 印刷で使用するLPD プロトコルを使わずに印刷します。</td></tr>
<tr><td>③</td><td colspan="2">［OK］ボタン</td><td>設定を有効にして、画面を閉じます。</td></tr>
<tr><td>④</td><td colspan="2">［キャンセル］ボタン</td><td>設定を取り消して、画面を閉じます。</td></tr>
</table>

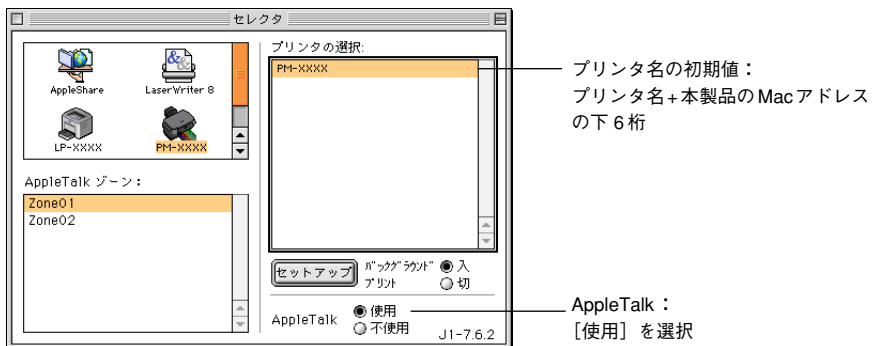
5-2.Macintosh の場合

Mac OS 9 の場合

プリンタドライバのインストール

1. コンピュータに、付属品の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
   セットする CD-ROM は、本製品に接続しているデバイスのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。
2. 表示された [EPSON] ウィンドウ内の [MODEL]-[本製品に接続しているデバイス名のフォルダ]-[プリンタドライバ] フォルダの順にダブルクリックします。
3. [インストーラ] アイコンをダブルクリックします。
4. 画面の案内に従って、セットアップを進めます。
5. [終了] ボタンをクリックします。
   プリンタドライバのインストールは終了です。

プリンタの選択

1. [アップル] メニューから [セレクタ] 選択してください。
2. 目的のプリンタアイコンをクリックしてプリンタを選択します。

注 意

プリンタアイコンをクリックしても［プリンタの選択］リストに何も表示されないときは、デバイスのエンティティタイプが誤って設定されていることがあります。各 EpsonNet Config を使用して正しいエンティティタイプを設定してください。

☞13 ページ「本製品の対応デバイス（2004 年 9 月現在）」
☞67 ページ「AppleTalk の設定」

これでインストールと設定は終了です。
複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）を使う場合は以下のページへ進んでください。

☞ 110 ページ「6．EPSON Scan の インストールと設定」

Mac OS X 10.2.x-10.3.x の場合

Mac OS X の場合、プリンタドライバをインストールした後に、プリンタをセットアップする必要があります。印刷プロトコルは、Rendezvous（Mac OS X10.2.4 以降）、EPSON TCP/IP、EPSON AppleTalk の中から選択することができます。

プリンタドライバのインストール

参 考

プリンタドライバをインストールするには、管理者の権限を持つユーザでログインしてください。

1. **コンピュータに、付属品の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。**
   セットする CD-ROM は、本製品に接続しているデバイスのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。

2. **デスクトップの[EPSON]アイコン -[Mac OS X 用ソフトウェア]-[MODEL]-[本製品に接続しているデバイス名のフォルダ]-[プリンタドライバ] フォルダの順にダブルクリックします。**

3. **インストーラアイコンをダブルクリックします。**

4. **画面の案内に従って、セットアップを進めます。**

5. **[再起動] ボタンをクリックします。**
   プリンタドライバのインストールは終了です。
   続いて、次ページを参照してプリンタの追加を行ってください。

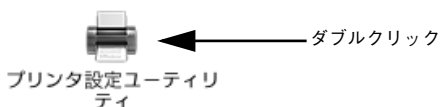
プリンタの追加

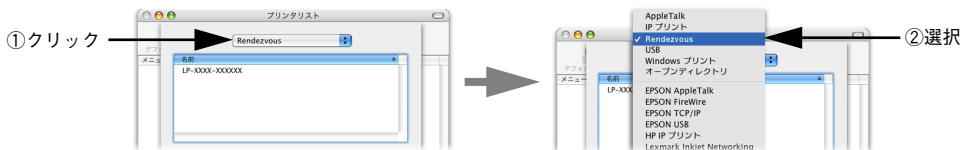
1 本製品と使用するプリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

2 ［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。

参 考	［Macintosh HD］の名前を変更している場合は、Mac OS X を起動しているハードディスクをダブルクリックしてください。

3 ［アプリケーション］フォルダをクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。

4 ［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。
Mac OS X 10.2.x の場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。

5 ［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］ボタンをクリックします。

6 ［プリンタリスト］画面のドロップダウンリストから、目的の印刷プロトコルを選択します。

印刷プロトコル	選択する項目
Rendezvous	Rendezvous*
TCP/IP	EPSON TCP/IP
AppleTalk	EPSON AppleTalk

*Rendezvous 機能は Mac OS X10.2.4 以降でのみ、ご利用になれます。

参考

- ［Rendezvous］での印刷は、Macintosh と本製品が DHCP や APIPA 機能で IP アドレスを自動で取得している必要があります。

☞41 ページ「Rendezvous 機能について」

- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、本製品の IP アドレスが固定（手動）に設定されている必要があります。また、使用したい Macintosh も IP アドレスなどの情報が設定されている必要があります。

☞42 ページ「TCP/IP の設定」

- ［EPSON AppleTalk］での印刷は、Macintosh の［AppleTalk］が有効になっている必要があります。

☞43 ページ「AppleTalk の設定」

7 プリンタを選択して、［追加］ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。
複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）を使う場合は以下のページへ進んでください。

☞ 110 ページ「6．EPSON Scan の インストールと設定」

6. EPSON Scan の インストールと設定

ここでは、本製品に複合機を接続したときに、ネットワークスキャンをするためのユーティリティ「EPSON Scan」のインストールと接続確認の仕方について説明しています。

6-1. EPSON Scan のインストール

参 考	ネットワーク経由で EPSON Scan を使用するには、使用するコンピュータと本製品それぞれに IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。

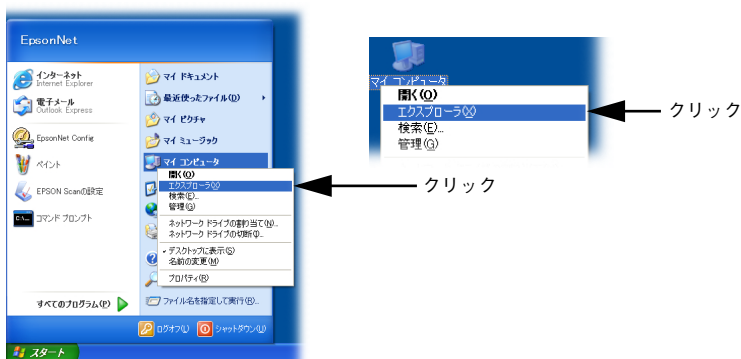
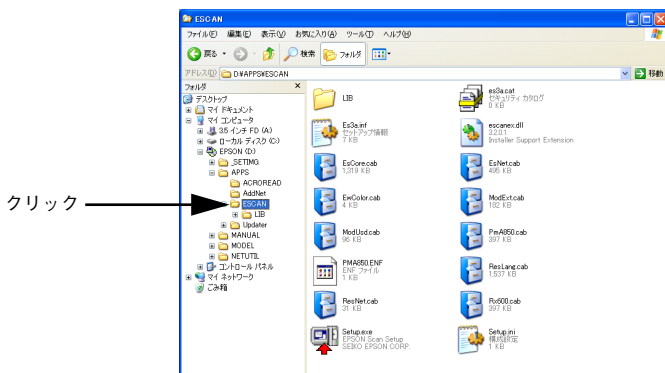
Windows の場合

ここでは、Windows XP の画面と PM-A850 を例に説明します。

1. **コンピュータを起動します。**

参 考	Windows 2000/XP に EPSON Scan をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。

2. **コンピュータに、付属品の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM（インクジェット）」をセットします。**

3. **［スタート］ボタンをクリックしてスタートメニューを表示し、［マイコンピュータ］を右クリックして［エクスプローラ］をクリックします。**
デスクトップに［マイコンピュータ］アイコンがある場合は、アイコンを右クリックして［エクスプローラ］をクリックしてください。

4 ［マイコンピュータ］ウィンドウを参照して、CDドライブの［EPSON］-［APPS］-［ESCAN］フォルダをクリックします。

5 ［Setup］アイコンをダブルクリックします。

6 画面の案内に従って、セットアップを進めます。

7 ［終了］ボタンをクリックします。

［EPSON Scan］のインストールは終了です。

Macintosh の場合

ここでは、Mac OS X の画面と PM-A850 を例に説明します。

1 Macintosh を起動します。

管理者の権限を持つユーザでログインしてください（Mac OS X のみ）。

2 コンピュータに、付属品の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM（インクジェット）」をセットします。

3 デスクトップの［EPSON］アイコン -［Mac OS X 用ソフトウェア］-［MODEL］-［PM-A850］-［EPSON Scan］フォルダの順にダブルクリックします。

Mac OS 9 の場合は、［EPSON］ウィンドウ内の［MODEL］アイコンをダブルクリックしてください。

4 ［EPSON Scan インストール］アイコンをダブルクリックします。

［認証］画面でパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックしてください（Mac OS X のみ）。

5 画面の案内に従って、セットアップを進めます。

6 ［終了］ボタンをクリックします。

［EPSON Scan］のインストールは終了です。

6-2. EPSON Scan の設定

「EPSON Scan」を使う前に、使用したいコンピュータと複合機が通信していることを、以下の手順に従って確認します。

注 意

通常、複合機本体の操作パネルにある［スキャン］ボタンを押すことで［EPSON Smart Panel］をご利用いただけますが、この機能はローカル接続（USB ケーブルなどでの直接接続）でのみ、ご利用いただける機能なため、ネットワーク接続ではご利用できません。

Windows の場合

ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。

1. **コンピュータを起動します。**

2. **［スタート］-［すべてのプログラム*］-［EPSON Scan］-［EPSON Scan の設定］の順にクリックします。**
   ［EPSON Scan の設定］画面が表示されます。
   ※お使いの Windows によっては［プログラム］と表示されます。

3. **［スキャナの選択］リストで本製品に接続した複合機を選択して［接続方法］で［ネットワーク接続］をクリックし、［ネットワークスキャナの指定］-［追加］ボタンをクリックします。**
   ［追加］画面が表示され、自動的に複合機を検索します。

参 考

- ［追加］ボタン：複合機をリストに追加するときにクリックします。
- ［削除］ボタン：複合機をリストから削除するときにクリックします。
- ［編集］ボタン：［スキャナ名］を設定するときにクリックします。
- ［更新］ボタン：［ネットワークスキャナの指定］にリストアップされている複合機の IP アドレスを更新するときにクリックします。ただし、［アドレスを入力］を選択して IP アドレスを入力した場合は、更新されません。

4 検索が完了したことを確認してIPアドレスをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

参 考	[スキャナ名] に設置場所などの名前を設定しておくことで、同じネットワーク内に複数台の複合機があるときには、各複合機の IP アドレスが変わっても、どの複合機かを特定しやすくなります。 [スキャナ名] は、全角 16 文字／半角 32 文字まで入力することができます。

5 **IP アドレスを選択して［テスト］ボタンをクリックします。**

［スキャナの状態］欄に「接続テストは成功しました。ネットワークスキャナは使用可能です。」と表示されることを確認してください。

参考 「接続テストは失敗しました。」と表示されたときは［はい］ボタンをクリックして、「EPSON Scan トラブル解決アシスタント」をご覧ください。

6 **［OK］ボタンをクリックします。**

EPSON Scan の設定は終了です。EPSON Scan の使い方については、EPSON Scan のヘルプまたは複合機の取扱説明書をご覧ください。

Macintosh の場合

ここでは、Mac OS X の画面を例に説明します。

1. **Macintosh を起動します。**

2. **［Macintosh HD］-［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［EPSON Scan の設定］の順にダブルクリックします。**
   Mac OS 9 では、［アップルメニュー］-［コントロールパネル］-［EPSON Scan の設定］の順にクリックしてください。
   ［EPSON Scan の設定］画面が表示されます。

3. **［スキャナの選択］リストで本製品に接続した複合機を選択して［接続方法］で［ネットワーク接続］をクリックし、［ネットワークスキャナの指定］-［追加］ボタンをクリックします。**
   ［追加］画面が表示され、自動的に複合機を検索します。

参 考

- ［追加］ボタン：複合機をリストに追加するときにクリックします。
- ［削除］ボタン：複合機をリストから削除するときにクリックします。
- ［編集］ボタン：［スキャナ名］を設定するときにクリックします。
- ［更新］ボタン：［ネットワークスキャナの指定］にリストアップされている複合機の IP アドレスを更新するときにクリックします。ただし、［アドレスを入力］を選択して IP アドレスを入力した場合は、更新されません。

4 検索が完了したことを確認して IP アドレスをクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

参 考

［スキャナ名］に設置場所などの名前を設定しておくことで、同じネットワーク内に複数台の複合機があるときには、各複合機の IP アドレスが変わっても、どの複合機かを特定しやすくなります。
［スキャナ名］は、全角 16 文字／半角 32 文字まで入力することができます。

5 **IP アドレスを選択して［テスト］ボタンをクリックします。**
［スキャナの状態］欄に「接続テストは成功しました。ネットワークスキャナは使用可能です。」と表示されることを確認してください。

参考 「接続テストは失敗しました。」と表示されたときは［はい］ボタンをクリックして、「EPSON Scan トラブル解決アシスタント」をご覧ください。

6 **［OK］ボタンをクリックします。**
EPSON Scan の設定は終了です。EPSON Scan の使い方については、EPSON Scan のヘルプまたは複合機の取扱説明書をご覧ください。

7. ネットワークストレージの設定

ここでは、ネットワーク上のコンピュータから本製品に接続したデバイスのメモリカードなどの使い方について説明しています。

7-1. 概要

本製品に接続したデバイスがメモリカードなどのスロットを装備している場合は、ネットワークを通じてメモリカード内のデータを読み込むことができます。

参 考	ネットワークを通じたメモリカードへのデータ書き込みは対応していません。また、誤ってファイルの削除を行っても、削除出来ません（画面上では削除されたように見える場合があります）。

7-2. 動作環境

接続デバイスのメモリカードをネットワークドライブとして使用できる OS は次のとおりです。

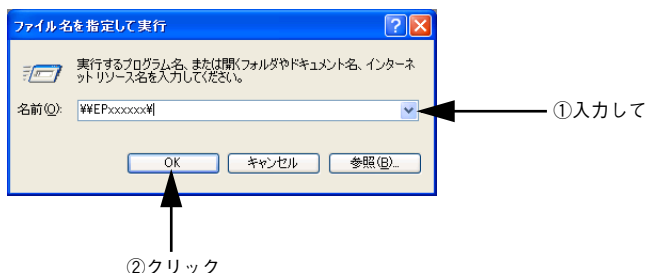
- Windows 2000
- Windows XP

7-3. ネットワークストレージへの接続

はじめに、本製品に接続しているデバイスをネットワークドライブとして割り当てます。

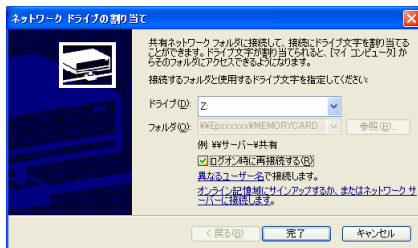
参 考	接続デバイスのメモリカードをネットワークストレージとして接続するには、本製品の設定［MS Network］が［Enable］になっている必要があります。工場出荷時は［Enable］に設定されています。

1. **［スタート］-［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。**
   ［ファイル名を指定して実行］画面が表示されます。

2. **［名前］リストに接続デバイスの「ホスト名」を入力して、［OK］ボタンをクリックします。**
   「¥¥ デバイスのホスト名 ¥」と入力します。

参 考 デバイスのホスト名は、簡易ステータスシートの以下の部分（初期値）をご覧ください。

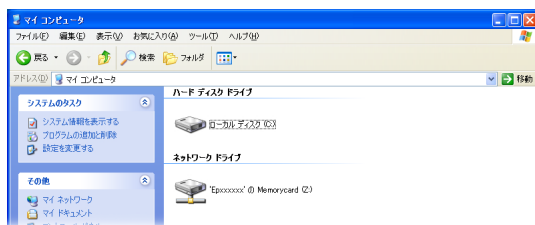
<MS Network(R)>	Enable
Host Name	EPxxxxxx
Workgroup Name	WORKGROUP
Printer Share Name	PRINTER
File Share Name	MEMORYCARD

219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

3 ［MEMORYCARD］アイコンを右クリックして、［ネットワーク ドライブの割り当て］をクリックします。

［ネットワーク ドライブの割り当て］画面が表示されます。
必要に応じて［ドライブ］リストより、割り当てたいドライブ文字を選択します。また、コンピュータを起動するたびにネットワークストレージを使用したいときは、［ログオン時に再接続］をチェックしてください。

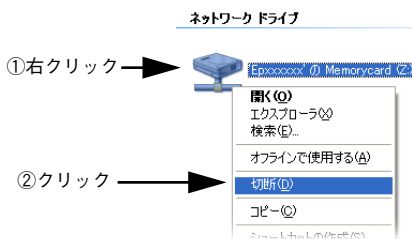
4 ［完了］ボタンをクリックします。
これで接続デバイスのストレージを使用することができます。

7-4. ネットワークストレージの読み込み

割り当てたネットワークドライブは、マイコンピュータ内にハードディスクなどと同様に表示されています。

ネットワークドライブアイコンをダブルクリックすることで、内部ファイルを表示・読み込むことができます。

> **注 意**　ネットワークドライブへのファイル書き込みはできません。

7-5. ネットワークストレージの切断

割り当てたネットワークドライブアイコンを右クリックして、［切断］をクリックします。

割り当てが解除されます。

7-6. ネットワークストレージ情報の変更

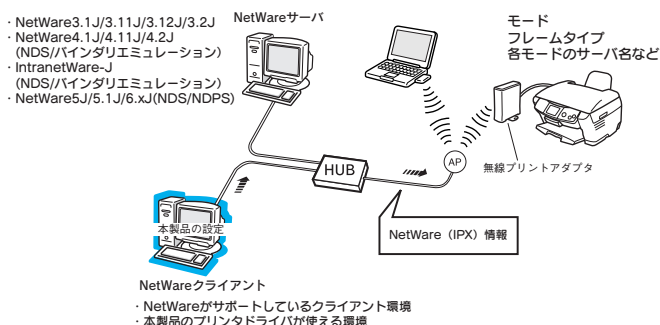
ネットワークを通じて接続デバイスのメモリカードなどを読み込む際に指定する［ホスト名］および［ストレージ名］は、EpsonNet Config（Windows）／（Mac OS 9 および Mac OS X）または EpsonNet Config（Web）で変更することができます。詳しくは EpsonNet Config（Windows）／（Mac OS 9 および Mac OS X）のヘルプ、または以下のページをご覧ください。

☞ 159 ページ「9. EpsonNet Config（Web）の使い方」

8. NetWare サーバの設定

プリンタを NetWare 環境で使用するための、NerWare サーバの設定方法を説明します。お使いの NetWare のバージョンやモードにより、設定方法が異なります。
次の手順で設定します。

① NetWare のユーティリティから、プリンタ情報を設定します（リモートプリンタモード、および NDPS ゲートウェイ経由の一部のモードのみ）。
② 本製品に NetWare 情報を設定します。
IntranetWare-J をお使いの方は、NetWare4.xJ を IntranetWare-J に置き換えてお読みください。

NetWare 印刷のできる環境

8-1. モードについて

NetWare にはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは自由に設定できます。通常はプリントサーバモードをお勧めします。NetWare ファイルサーバのユーザー数に余裕がない場合はリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード（NDS/Bindery Print Server）

特徴

- 8 台までのファイルサーバを同時接続可能
- 直接印刷を制御するので印字速度が速い
- NetWare のユーザーアカウントを使用する
- プリントキューは最大 32 ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード（Remote Printer）

特徴

- NetWare のユーザーアカウントを使用しない
- リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
- プリンタの接続は、NetWare3.xJ で最大 16 台、NetWare4.xJ、IntranetWare-J、NetWare5.xJ/6.xJ では最大 255 台まで可能

参 考	リモートプリンタモードでは、本製品の電源を入れたときに一時的にユーザーアカウントを使用します。ユーザーアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前に本製品の電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードでは NetWare の機能は動作しませんが、SAP/RIP などの一部プロトコルがネットワーク上に流れる場合があります。

8-2. 使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWare の NPRINT コマンドや DOS のリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれが起きる可能性があります。

IPX ルーティングプロトコル“NLSP”での注意点

NetWare4.xJ 以降は IPX ルーティングプロトコル“NLSP”を設定できますが、本機のネットワークインターフェイスは“NLSP”に対応していません。RIP/SAP により通信を制御しています。
ルーティングプロトコルの選択肢には ① NLSP と RIP/SAP ② RIP/SAP 専用がありますが、“NLSP と RIP/SAP”が指定されている状態で、任意に RIP、SAP のバインドを外した場合、本製品はファイルサーバや NDS との通信ができなくなりますのでご注意ください（参照：ユーティリティ INETCFG の、“プロトコル”および“バインド”タスク内）。

バインダリと NDS に関する注意点

- バインダリコンテキスト･パスは､サーバコンソールから SET BINDERY CONTEXT コマンドで確認できます。
- バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS 非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCF ファイル内に、SET BINDERY CONTEXT コマンドで設定します。

詳細は NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ の取扱説明書をご覧ください。

NDS コンテキストの表示・印刷

NDS コンテキストについて、ネットワークステータスシートと EpsonNet Config（Web）では、ASCII 文字のみを正しく表示できます。

本製品情報取得時間について

ネットワークに接続した本製品の電源を投入してから、NetWare サーバに認識されるまで最大 2 分の時間がかかります。その間、ネットワークステータスシートには正しい情報が反映しませんのでご注意ください。

フレームタイプについて

IPX をバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべての NetWare サーバ、IPX ルータで統一する必要があります。
複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合､すべての NetWare サーバ、IPX ルータにそれらをバインドしてください。

8-3. NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード

NetWare3.xJ/4.xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）で本製品をお使いになる場合の設定方法を説明します。

参 考	NetWare3.xJ のプリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLE のプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

1. **ネットワークに接続した本製品の電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザー（バインダリ接続）でログインします。**
NetWare4.xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

3. **本製品に付属のユーティリティから、本製品を設定します。**
通常は、EpsonNet Config（Windows）をお使いください。
☞ 53 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

参 考	NetWare で設定済みのオブジェクトを使って設定する場合は、EpsonNet Config（Web）も使えます。 ☞159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

8-4. NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバモード

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（NDS）でお使いになる場合の設定方法を説明します。

1. **ネットワークに接続した本製品の電源をオンにします。**

2. **設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN 権限のあるユーザーでログインします。**

3. **本製品に付属のユーティリティから、本製品を設定します。**
   通常は、EpsonNet Config（Windows）をお使いください。
   ☞ 53 ページ「EpsonNet Config（Windows）」

NetWare で設定済みのオブジェクトを使って設定する場合は、EpsonNet Config（Web）も使えます。
☞159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

8-5. NetWare3.xJ リモートプリンタモード

NetWare3.xJ のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。

1. **ネットワークに接続した本製品の電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザーでログインします。**

3. **PCONSOLE を起動し、[利用可能な項目] から [プリントキュー情報] を選択します。**

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

4. **[Insert] キーを押して、[新プリントキュー名] 欄にプリントキュー名を入力します。**

参 考 設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

5. **[プリントキュー] リストから作成したプリントキューを選択すると [プリントキュー情報] メニューが表示されますので、[キューユーザ] を選択して、[EVERYONE] が登録されていることを確認します。**

EVERYONE がない場合は、[Insert] キーを押して、キューユーザーリストから [EVERYONE] を選択します。

6. **[利用可能な項目] から [プリントサーバ情報] を選択します。**

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

7. **[Insert] キーを押して、[新プリントサーバ名] 欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。**

8 ［プリントサーバ］リストから作成したプリントサーバを選択すると、［プリントサーバ情報］画面が表示されますので、［プリントサーバ構成］を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

9 ［プリントサーバ構成メニュー］画面が表示されますので、［プリンタの構成］を選択します。

［構成完了プリンタ］の最上段［インストールされていません（プリンタ番号＝0）］を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	0
インストールされていません	1
インストールされていません	2

10 次のように設定します。

注記	プリンタ 0 の構成
任意のプリンタ名を入力	名前：Printer-0
リモートパラレル、LPT1 を選択	タイプ：リモートパラレル,LPT1
任意に入力	社別識別子：ESCP
	IRQ： 7
	バッファサイズ（Kバイト）： 3
必要に応じた用紙の変更可	開始用紙： 0
	キューサービスモード
	ボーレート：
	データビット：
	ストップビット：
	パリティ：
	X-On/X-Off使用有無

11 ［Esc］キーを押して、変更内容を保存します。

⑫ ［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタでサービスされているキュー］を選択します。

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

⑬ ［定義済みのプリンタ］リストから、手順 ⑧ ～ ⑪ で作成したプリンタを選択します。

⑭ ［Insert］キーを押して、［使用可能キュー］リストから、手順 ③ ～ ④ で作成したキューを選択してください。

⑮ ［優先順位］を 1 から 10 までの数値で指定します。1 が最優先です。

⑯ ［Esc］キーを押して、PCONSOLE を終了します。

⑰ プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。
LOAD_PSERVER_PCONSOLE で設定したプリントサーバ名
（_ は半角スペース）

⑱ 本製品に付属のユーティリティから、本製品を設定します。
EpsonNet Config（Windows）/（Web）のいずれかをお使いください。
☞ 53 ページ「EpsonNet Config（Windows）」
☞ 159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

8-6. NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード

NetWare4.xJ、IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 98SE のクライアント画面で説明します。

参 考	・必要に応じて、各ユーザーにトラスティを割り当ててください。 ・プリントキュー、プリントサーバは必ず PCONSOLE で設定してください。NWADMIN ではバインダリキューを作成できません。

1. **ネットワークに接続した本製品の電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザーでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。**

参 考	設定に使うクライアントが NDS モードでログインしている場合は、PCONSOLE 起動時に［F4］キーを押して、バインダリモードに移行してから設定を行ってください。

3. **PCONSOLE を起動し、［利用可能な項目］から［プリントキュー］を選択します。**

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

4. **［Insert］キーを押して、［新しいプリントキュー名］を入力します。**

参 考	設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

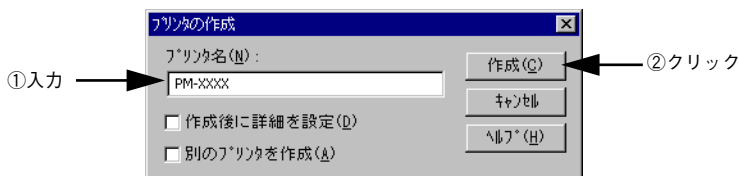
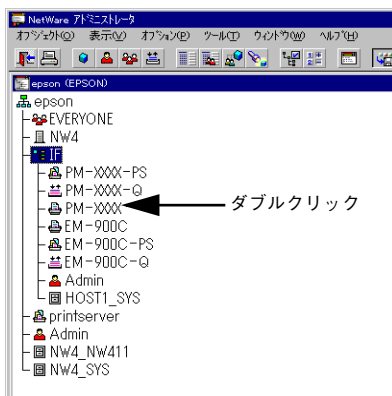
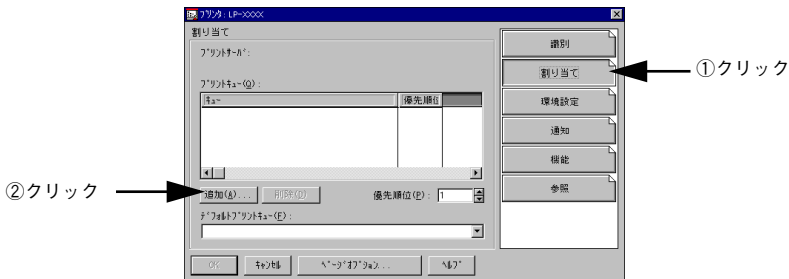
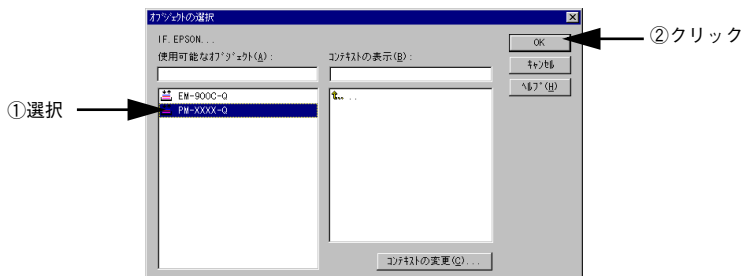
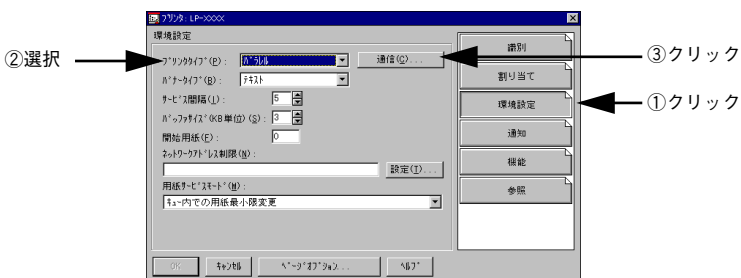
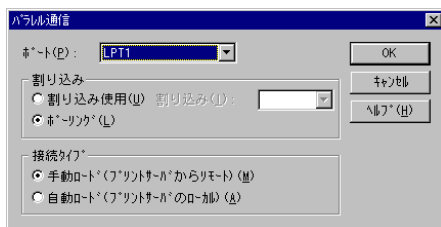
5. **［プリントキュー］リストから作成したプリントキューを選択すると［プリントキュー情報］メニューが表示されますので、［キューユーザー］を選択して、［EVERYONE］が登録されていることを確認します。**
EVERYONE がない場合は、［Insert］キーを押して、キューユーザーリストから［EVERYONE］を選択します。

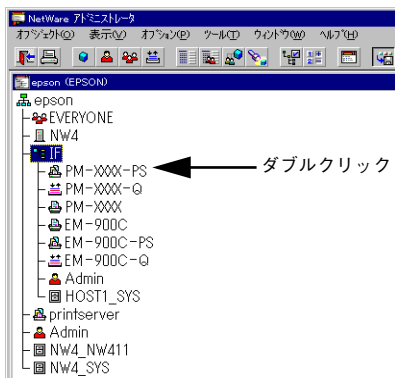
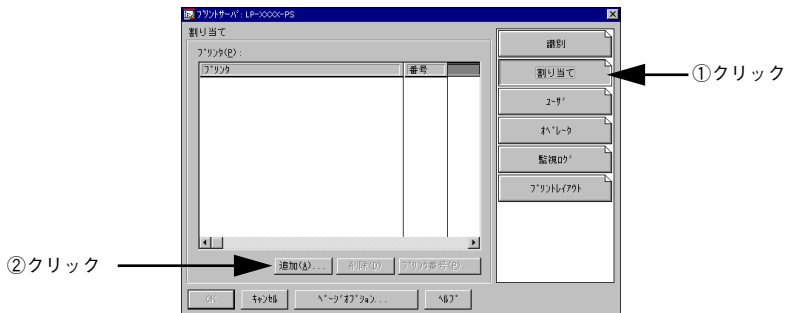
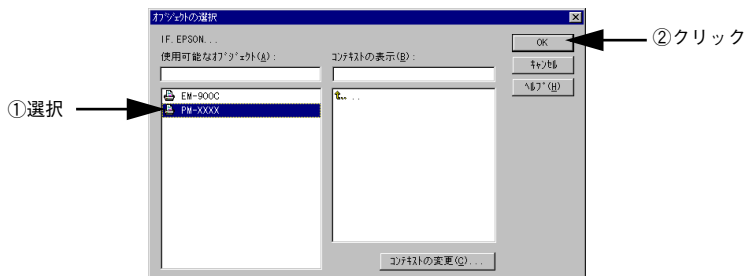
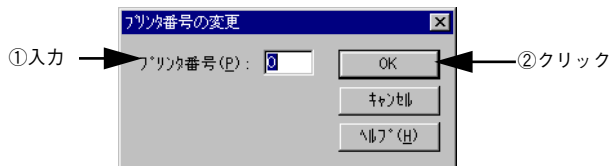
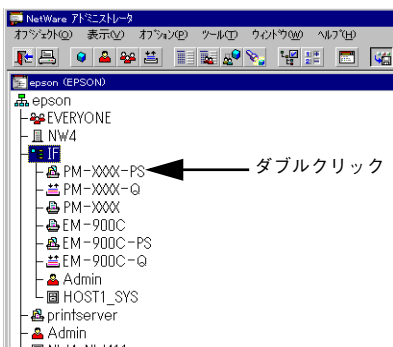
6. **［利用可能な項目］から［プリントサーバ］を選択します。**

7 ［Insert］キーを押して、［新しいプリントサーバ名］を入力します。

8 PCONSOLE を終了して、NetWare サーバからログアウトします。

9 NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザーでログインします。この時、NDS 接続でログインしてください。

10 NWADMINを起動し、手順6～7で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリンタ］を選択します。プリンタ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

11 NetWare アドミニストレータ画面で、作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

12 ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

13 プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順 3 ～ 4 で作成したキュー）を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

14 ［プリンタ］画面に戻って［環境設定］ボタンをクリックし、［プリンタタイプ］で［パラレル］を選択して、右の［通信］ボタンをクリックします。

15 ポート［LPT1］、割り込み［ポーリング］、接続タイプ［手動ロード］を選択します。

16 設定が終了したら ［OK］ボタンをクリックして［パラレル通信］画面を閉じ、［プリンタ］画面で ［OK］ボタンをクリックします。

17. NetWareアドミニストレータ画面で、手順6～7で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

18. ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

19. プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順10で作成したプリンタを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⑳ 手順⑱の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、［プリンタ番号］ボタンをクリックします。プリンタ番号を 0 ～ 15 の範囲で入力し、［OK］ボタンをクリックします。

㉑ NetWare アドミニストレータ画面で、手順 ⑥ ～ ⑦ で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

㉒ ［プリントレイアウト］ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。

㉓ プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。
LOAD_PSERVER_PCONSOLE で設定したプリントサーバ名
（_ は半角スペース）

㉔ 本製品に付属のユーティリティから、本製品を設定します。

EpsonNet Config（Windows）/（Web）のいずれかをお使いください。

☞ 53 ページ「EpsonNet Config（Windows）」
☞ 159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

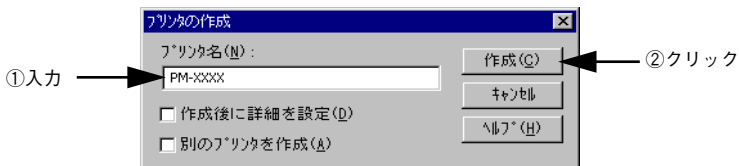
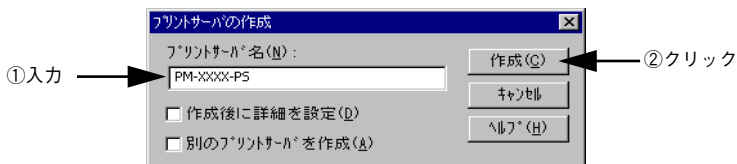
8-7. NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ、IntranetWare-J（NDS）のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 98SE のクライアント画面で説明します。

参 考	NetWare5.xJ/6.xJ を使う場合は、NetWare5.xJ/6.xJ サーバに IPX プロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

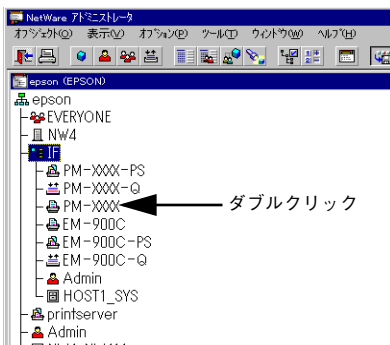
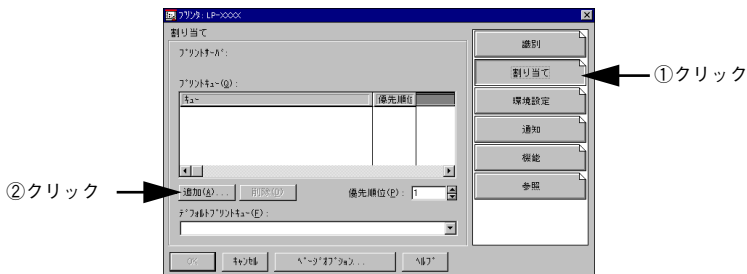
1. ネットワークに接続した本製品の電源をオンにします。

2. 設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN と同等の権限のあるユーザーでログインします。

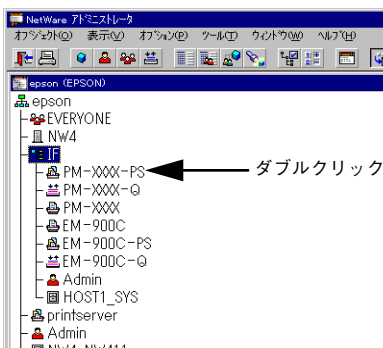
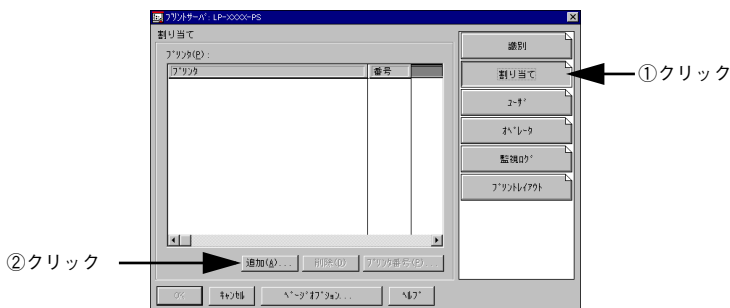
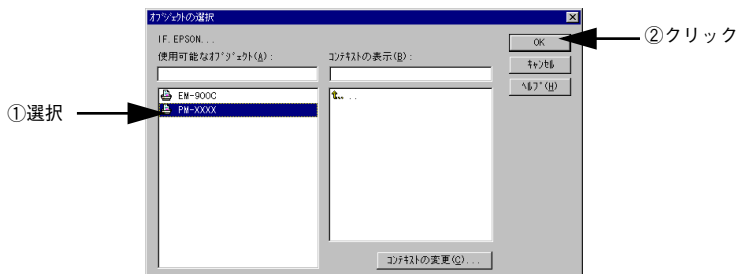
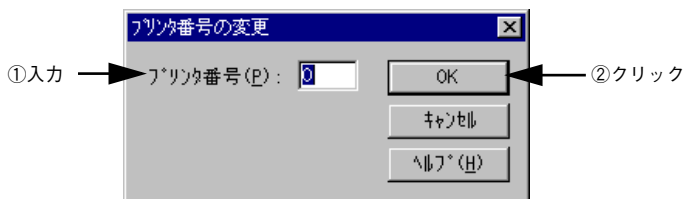
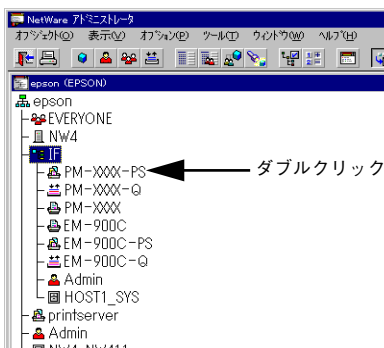
3. NWADMIN を起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリンタ］を選択します。プリンタ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

4. ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントサーバ］を選択します。プリントサーバ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

5 ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントキュー］を選択します。プリントキュー名を入力し、プリントキューを置くボリュームを指定（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）して［作成］ボタンをクリックします。

6 プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザーを登録します。

参考 設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

7 NetWare アドミニストレータ画面で、プリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

8 ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

9 プリントキューの一覧が表示されますので、手順5～6で作成したキューを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

10 [環境設定] をクリックして [プリンタタイプ] 欄で [その他/不明] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

11 NetWare アドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

12 [割り当て] ボタンをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。

⑬ プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

⑭ 手順 ⑫ の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、[プリンタ番号] ボタンをクリックします。プリンタ番号を 0 ～ 254 の範囲で入力し、[OK] ボタンをクリックします。

⑮ NetWare アドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

⑯ **［プリントレイアウト］ボタンをクリックします。**

プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。詳細は NetWare の取扱説明書をご覧ください。

⑰ **プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。**

LOAD_PSERVER_NWADMIN で設定したプリントサーバ名
（_ は半角スペース）

⑱ **本製品に付属のユーティリティから、本製品を設定します。**

EpsonNet Config（Windows）/（Web）のいずれかをお使いください。

☞ 53 ページ「EpsonNet Config（Windows）」
☞ 159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

8-8. NDPS ゲートウェイ

NDPS ゲートウェイ経由でお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 98SE のクライアント画面で説明します。

参 考

- NDPS（Novell Distributed Print Services）は、NetWare5.xJ/6.xJ に標準装備されている印刷アーキテクチャです。NDPS を使うと、ネットワーク上のプリンタや印刷サービスの管理が従来の方法よりも簡単に行えます。
  NetWare Enterprise Print Services をご利用の場合は、NetWare4.xJ でも使えます。
  NetWare Enterprise Print Services のリリースに関しては、ノベル社にお問い合わせください。
- 本製品は、NetWare5.xJ/6.xJ の NDPS にある[自動ドライバインストール]には対応していません。
- NetWare5.xJ/6.xJ サーバに、IPX プロトコルをインストール（バインド）してください。
- NDPS 経由で印刷する場合、バナー印刷は行えません。
- 設定に使うコンピュータに、NetWare のクライアントソフトウェア、Client32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしてください。

設定の流れ

次のような手順で設定します。NDPS についての詳細は、NetWare5.xJ/6.xJ に添付されている NDPS の取扱説明書を参照してください。

1. 接続方法の決定と環境設定 144 ページ

2. NDPS マネージャの作成 145 ページ

3. NDPS プリンタエージェントの作成 146 ページ

4. EpsonNet Config（Windows）からの本製品設定 154 ページ

接続方法の決定と環境設定

1 **次の 3 種類の接続方法から、ご利用の環境に合ったものを選びます。**

- リモート（IPX 上で rprinter）
  ゲートウェイ経由で、RPRINTER（リモートプリンタ）モードのプリンタに印刷することができます。NetWare を初めてインストールするときや、現在の印刷環境が削除されても問題ない場合に使用できます。

> **参考** リモート（IPX 上で rprinter）を使うと、従来のキューベースプリントシステムの設定が失われます。

- リモート（IP 上で LPR）
  ゲートウェイ経由で、本製品の IP アドレスを設定したプリンタに印刷できます。
- ジョブをキューに転送
  ゲートウェイからキューに印刷ジョブを送って印刷します。従来のキューベースプリントシステムと共存したいときに使用できます。

2 **NetWare サーバに、次のプロトコルをインストールします。**

接続方法によって、インストールするプロトコルが異なります。
インストール方法は NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書をご覧ください。

接続方法	プロトコル
リモート（IPX 上で rprinter）	IPX
リモート（IP 上で LPR）	TCP/IP
ジョブをキューに転送	IPX

3 **クライアントに、NetWare5.xJ/6.xJ 添付のクライアントソフトをインストールします。**

このとき［標準のインストール］を選択すると、NDPS も自動的にインストールされます。

4 **クライアントに、使用するプリンタのプリンタドライバをインストールします。**

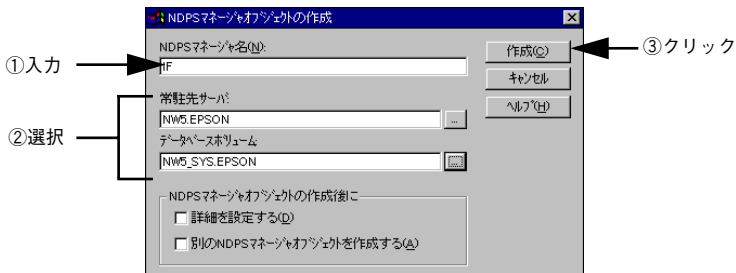
> **参考**
> - NetWare サーバ経由でプリンタドライバをインストールしないでください。
> - Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。ただし、EpsonNet NDPS Gateway を使用すれば、プリンタの追加ができます。
>   ☞ 187 ページ「EpsonNet NDPS Gateway」

NDPS マネージャの作成

NetWare5.xJ/6.xJ のツール NWADMIN から、NDPS マネージャを作成します。以下の操作はクライアントから行ってください。

1. クライアントから、NetWare アドミニストレータ（NWADMN32.EXE）を起動します。

2. ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［NDPS Manager］を選択します。

3. ［NDPS マネージャ名］の入力、［常駐先サーバ］、［データベースボリューム］それぞれを選択したら、［作成］ボタンをクリックして設定を保存します。

4. NetWare サーバで、NDPS マネージャをロードします。サーバコンソールで次のコマンドを入力し、作成した NDPS マネージャを選択してください。

   >LOAD_NDPSM（_ は半角スペース）

参 考　コマンドを常時使用する場合は、AUTOEXEC.NCF に［LOAD_NDPSM_ 識別名付き NDPS マネージャオブジェクト名］（_ は半角スペース）を記述してください。

NDPS プリンタエージェントの作成

参考	ここでの設定と同じことが、サーバコンソールからも行えます。詳細は NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書を参照してください。

NWADMIN から NDPS プリンタエージェントを作成します。

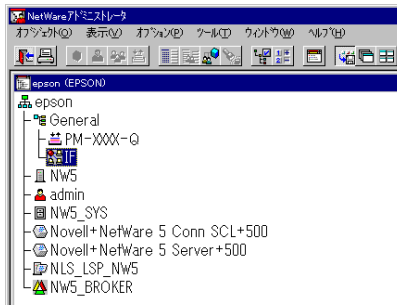
プリンタタイプの決定

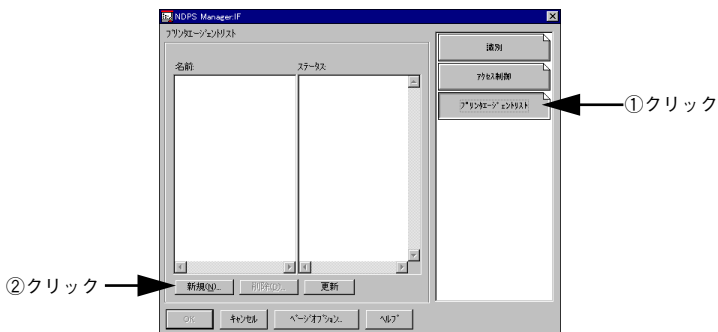
1. **次の 2 種類のプリンタタイプから、使用するタイプを決定します。タイプの詳細は、NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書をご覧ください。**

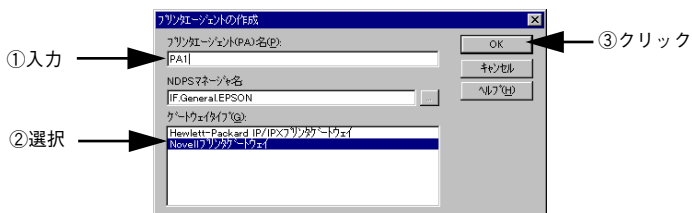
■ パブリックアクセスプリンタ（手順 2 へ）
この設定にするとネットワーク上の誰もがプリンタを使用できます。ただし NDS オブジェクトとしては登録されないため、セキュリティやイベント通知などのサービスが一部利用できません。

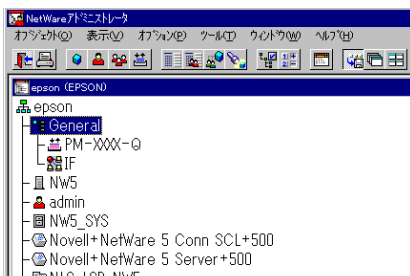
■ コントロールアクセスプリンタ（手順 5 へ）
NDS オブジェクトとして登録されるプリンタで、セキュリティやイベント通知などのサービスが利用できます。アクセス権のあるユーザーだけが利用できます。

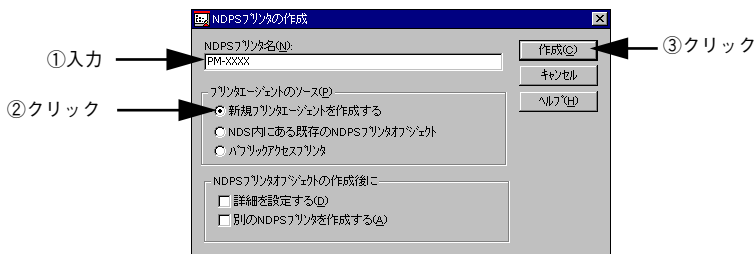
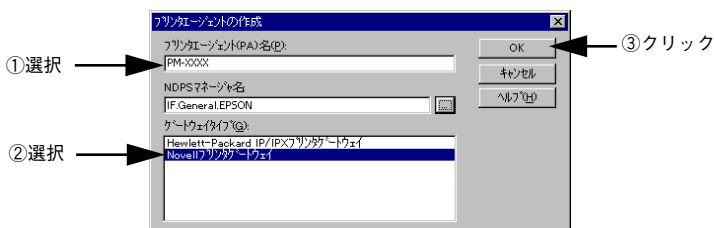
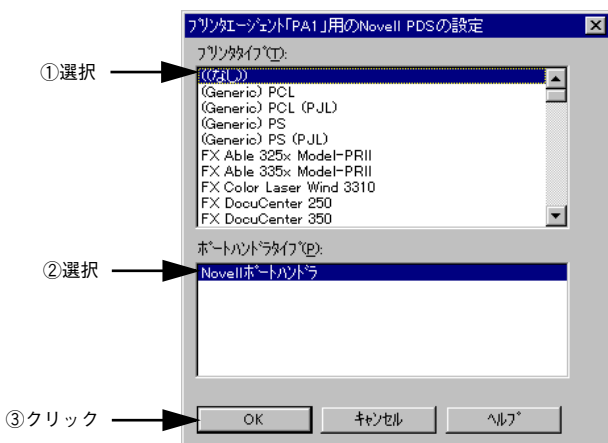
プリンタエージェントの作成（パブリックアクセスプリンタ）

2. **作成した NDPS マネージャを選択し、メニューの［オブジェクト］-［詳細］画面を起動します。**

3 ［プリンタエージェントリスト］ボタンをクリックして、［新規］ボタンをクリックします。

［新規］ボタンが無効になっている場合は、サーバコンソールで NDPSM をロードしてください。

4 ［プリンタエージェント（PA）名］を入力します。

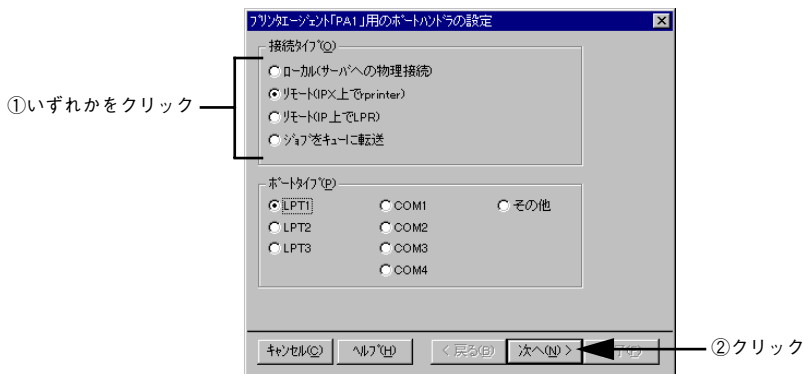
［ゲートウェイタイプ］は［Novell プリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。続いて手順 8 へ進みます。

プリンタエージェントの作成（コントロールアクセスプリンタ）

5 ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［NDPS Printer］を選択します。

6 ［NDPS プリンタ名］を入力し、［プリンタエージェントのソース］欄では［新規プリンタエージェントを作成する］を選択して［作成］ボタンをクリックします。

それ以外の項目については、NetWare5.xJ/6.xJ の取扱説明書を参照してください。

7 ［NDPS マネージャ名］では作成した NDPS マネージャを選択します。［ゲートウェイタイプ］は［Novellプリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。続いて手順 8 へ進みます。

8 ［プリンタタイプ］は（(なし)）を、［ポートハンドラタイプ］は［Novell ポートハンドラ］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

9 **お使いになる接続タイプとポートタイプを選択し［次へ］ボタンをクリックします。**

ここで選択する［接続タイプ］によって、次の手順へ進んでください。

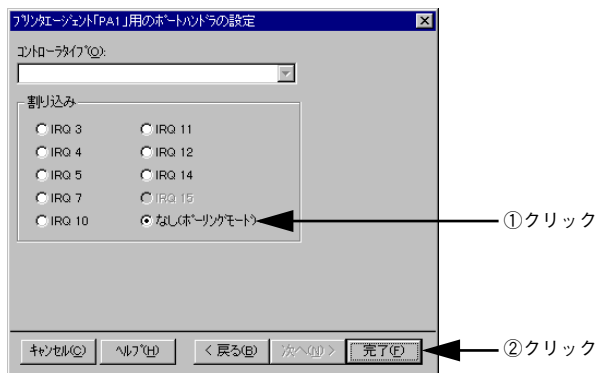
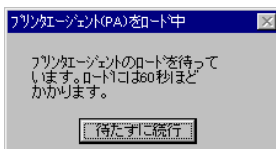
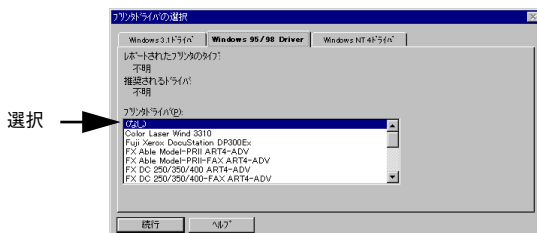
- ［リモート（IPX 上で rprinter）］：手順 10 へ
- ［リモート（IP 上で LPR）］：手順 14 へ
- ［ジョブをキューに転送］：手順 17 へ

［接続タイプ］でリモート（IPX 上で rprinter）を選択したら、［ポートタイプ］で LPT1 を選択してください。

（リモート（IPX 上で rprinter））ポートハンドラの設定

参 考	本製品のネットワークアドレスと MAC アドレスは、ネットワークステータスシート に印刷されています。 ☞219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

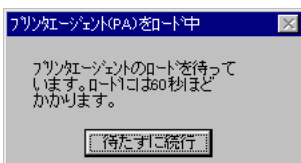
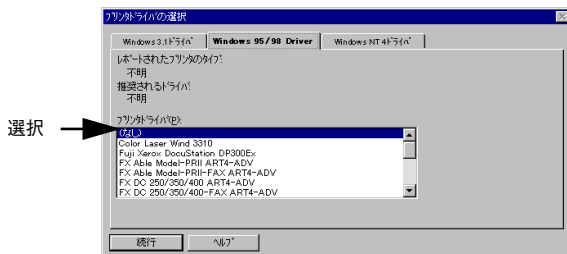
10 **次の項目を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。**

設定項目	設定内容
SAP 名	プリンタエージェント名が表示されます。
プリンタ番号	プリンタ番号（0～254）を設定します。
ネットワーク	本製品のネットワークアドレスを入力します。
ノード	本製品の MAC アドレスを入力します。

⑪ ［割り込み］は［なし］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

⑫ 次の画面が表示されます。手順 ⑬ の画面が表示されるまでお待ちください。

⑬ ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順 ⑳ へ進んでください。

（リモート（IP 上で LPR））ポートハンドラの設定

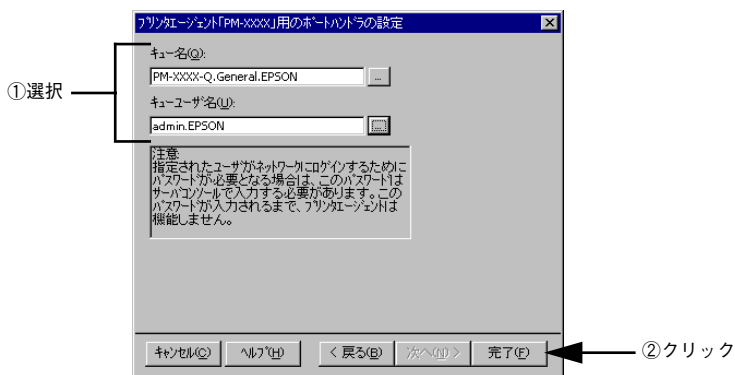
⑭ ［ホストアドレス］には本製品の IP アドレスを入力します。

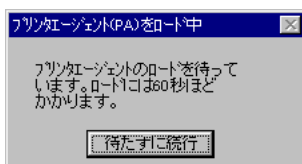
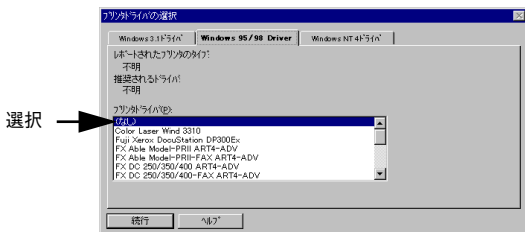
［ホスト名］は、ホスト名を登録してある場合に入力します。
プリンタ名は図のように初期値のままで、［完了］ボタンをクリックします。

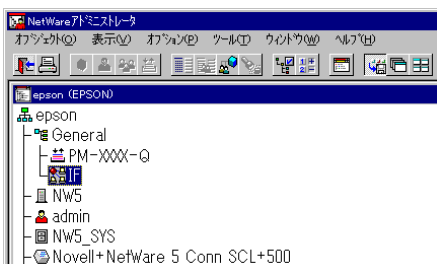
⑮ 次の画面が表示されます。手順 ⑯ の画面が表示されるまでお待ちください。

⑯ ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順 ⑳ へ進んでください。

（ジョブをキューに転送）ポートハンドラの設定

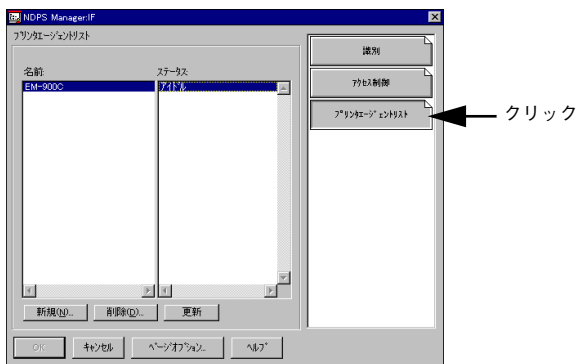
この設定は、すでに作成されているキューで、印刷のできる設定が完了していることを前提としています。印刷環境の設定については以下のいずれかのページをご覧ください。

☞ 127 ページ「8-3. NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリント サーバモード」
☞ 128 ページ「8-4. NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリント サーバモード」
☞ 129 ページ「8-5. NetWare3.xJ リモートプリンタモード」
☞ 132 ページ「8-6. NetWare4.xJ バインダリリモート プリンタモード」
☞ 138 ページ「8-7. NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモート プリンタモード」

17 ［キュー名］には本製品が有効なキューを、［キューユーザ名］には［キュー名］のキューユーザー権限を持つ名前を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

参 考	［キュー名］にはあらかじめ作成しておいたプリントキュー名を指定します。モードはプリントサーバ、リモートプリンタのどちらでも構いません。

18 次の画面が表示されます。手順 ⑲ の画面が表示されるまでお待ちください。

⑲ ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順⑳へ進んでください。

⑳ **設定した NDPS プリンタエージェントを確認します。**

NWADMIN で、作成した NDPS マネージャオブジェクトを選択し、メニュー［オブジェクト］-［詳細］画面を起動します。

㉑ **［プリンタエージェントリスト］ボタンをクリックします。**

ここで、作成した NDPS プリンタエージェントのステータスが［アイドル］になっていることを確認します。

参 考	リモート（IPX 上で rprinter）をお使いの場合は、次ページの設定を行ってから、この画面でステータスが［アイドル］になることを確認してください。

［リモート（IPX 上で rprinter）］の場合は、続いて次ページの設定を行ってください。

本製品の設定

NDPS ゲートウェイで使用するための設定をする際、[リモート（IPX 上で rprinter）] を選択した場合は、本製品に付属のユーティリティからも設定をする必要があります。

参 考	次の操作は、[リモート（IPX 上で rprinter）] をお使いの場合にのみ設定してください。[リモート（IP 上で LPR）]、[ジョブをキューに転送] をお使いの場合、設定は不要です。

1. **ネットワークに接続した本製品と接続デバイスの電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN 権限のあるユーザーでログインします。**

3. **本製品に付属のユーティリティから、本製品を設定します。**
   EpsonNet Config（Windows）/（Web）のいずれかをお使いください。
   ☞ 53 ページ「EpsonNet Config（Windows）」
   ☞ 159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

8-9. ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

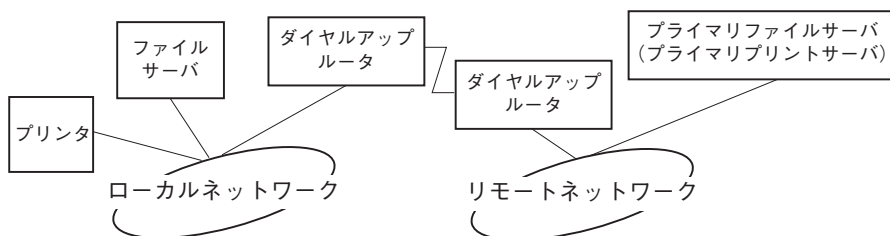
ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。

参 考	本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

プリントサーバモードでは、必ず専用線接続で使います。
プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

リモートプリンタモードでは、代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をお勧めします。
ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合

電源投入時

ローカルのファイルサーバ→プライマリ サーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
このダイヤルアップは電源投入時の 1 回のみで、問題はありません。

本製品が正しく設定されていない場合

ローカルのファイルサーバ→プライマリ サーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約 5 分間隔で発生します。
本製品が正しく設定されていないことが原因です。本章に記載されている設定を正しく行うと、この現象は発生しません。

正常動作中（待機）

NetWare のプロトコル規約により、SPX Watchdog パケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。

正常動作中（印刷）

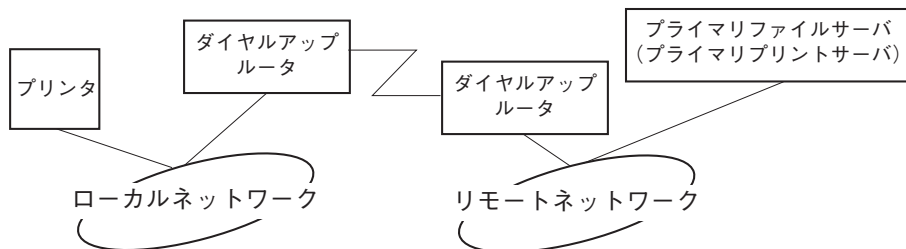
印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合

定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一旦、プリンタの電源をオフにしてください。

ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合

ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークで NetWare と本製品の NetWare プロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本製品も自動復帰します。

ローカルネットワークにファイルサーバがない場合

ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくても NetWare プロトコルが使えます。

電源投入時
プライマリサーバにアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
このダイヤルアップは電源投入時の 1 回のみで、問題はありません。

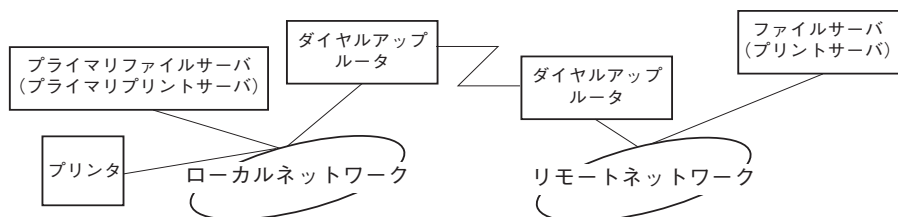
本製品が正しく設定されていない場合
プライマリサーバにアクセスするため、ダイヤルアップが約 5 分間隔で発生します。
本製品が正しく設定されていないことが原因です。本章に記載されている設定を正しく行うと、この現象は発生しません。

正常動作中（待機）
NetWare のプロトコル規約により、SPX Watchdog パケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。

正常動作中（印刷）
印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合
定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一旦、本製品の電源をオフにしてください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

プリンタを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。

電源投入時
プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

本製品が正しく設定されていない場合
プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ / プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。本章に記載されている設定を正しく行えば、この問題は発生しません。

正常動作中（待機）
プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

正常動作中（印刷）
プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合
定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータが SAP パケット（Find Nearest Server）を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一旦、本製品の電源をオフにするか、ルータで SAP パケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

9. EpsonNet Config（Web）の使い方

EpsonNet Config（Web）の使い方について説明します。

9-1. EpsonNet Config（Web）の概要

EpsonNet Config（Web）は、Web ブラウザから本製品を設定するためのユーティリティです。コンピュータにブラウザがインストールされ、コンピュータと本製品の IP アドレスが設定されていれば、お使いいただけます。
EpsonNet Config（Web）では、本製品の無線に関する設定および、NetWare、TCP/IP、AppleTalk、MS Network、SNMP、Time を設定できます。
EpsonNet Config（Web）は、次の環境で動作します。

システム条件（コンピュータ）

下記の Web ブラウザが動作する環境

対象 Web ブラウザ

- Internet Explorer Ver.4.01 以降
- Netscape Navigator Ver.4.05 以降（Windows）
- Netscape Navigator Ver.7.0 以降（Macintosh）
- Netscape Communicator 4.0 以降
- Apple Safari Ver.1.1 以降

注 意

- Web ブラウザには、［LAN の設定］を行ってください。また、本製品の URL（IP アドレス）には、プロキシを使用しない設定をしてください。
☞ 237 ページ「Web ブラウザの設定に関する注意」
- ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
☞ 236 ページ「付録・ダイヤルアップルータおよびルータ機能付きアクセスポイント使用時の注意」

本製品

IP アドレスが設定されていること。
☞ 44 ページ「4．本製品の設定」

9-2. EpsonNet Config（Web）での本製品の設定

EpsonNet Config（Web）を使って、本製品の無線に関する設定と TCP/IP を設定する方法について説明します。無線または TCP/IP 以外のネットワーク設定については、EpsonNet Config（Web）のヘルプをご覧ください。

EpsonNet Config（Web）は、インストールの必要はありません。ただし、次の設定が終了している必要があります。

①設定に使うコンピュータへの TCP/IP 設定

☞ 28 ページ「3．コンピュータの ネットワーク設定」

②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール

☞ 160 ページ「対象 Web ブラウザ」

③本製品への IP アドレス設定

☞ 59 ページ「4-5．無線・ネットワークの設定」

注 意

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）から、同時に同じ本製品に対して設定をしないでください。

参 考

- お使いの Web ブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS の 取扱説明書を参照してください。
- ダイヤルアップ環境において、本製品を NetWare で使用しない場合は、NetWare 設定画面にある［NetWare］項目で［無効］を選択する必要があります。NetWare を使用しない場合に［有効］を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料のかかるおそれがあります。初期値は［有効］です。

1 EpsonNet Config（Web）を起動します。

参考
NetWare の設定をする場合は、次の事項にご注意ください。
- 設定に使うコンピュータから、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに、管理者権限でログインしておいてください。
- EpsonNet Config（Web）には、プリントサーバモードでの EpsonNet Config（Windows）のような、プリントサーバ、キュー、プリンタを新規に作成する機能はありません。EpsonNet Config（Web）でオブジェクトを設定するときは、前もって EpsonNet Config（Windows）、PCONSOLE または NWADMIN で作成した上で、そのオブジェクト名を入力してください。

Web ブラウザから起動する場合：

Web ブラウザを起動して本製品の IP アドレスをアドレスバーに入力し、[Enter] または［Return］キーを押します。
このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）は起動しないでください。
書式）http:// 本製品の IP アドレス /
例）http://192.168.100.201/

参考
本製品の IP アドレスは、ネットワークステータスシートを印刷して確認してください。
☞219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）から起動する場合：

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）のリスト画面から、設定する本製品を選択して［ブラウザの起動］ボタンをクリックします。

2 画面が表示されたら、メニューから設定する項目をクリックします。

[設定] - [ネットワーク] メニューの [無線] または [TCP/IP] をクリックしてください。

参 考	無線または TCP/IP 以外の情報を設定する場合は、設定したい項目をクリックしてください。

本製品の無線設定

お使いの環境に合わせて、本製品を設定します。

1 SSID やセキュリティなどを設定します。

無線基本設定	
通信モード	インフラストラクチャ
無線モード	IEEE 802.11b/g
SSID(1-32文字)	EpsonNet-xxxxxx
チャンネル	11
通信速度	自動

セキュリティ設定	
セキュリティレベル	WEP-128bit(104bit)
WEP共有モード	共有キー

WEP設定	
16進数で入力する	無効
WEPキー1	
WEPキー2	
WEPキー3	
WEPキー4	
使用するWEPキー	1

WPA設定	
パスワード(8-63文字)	
パスワードの再入力	

詳細設定	
隠れ端末処理	無効
隠れ端末しきい値 (0-2347)	2347
ローミング処理	有効
アクセスポイント密度	Low
フラグメントしきい値処理	無効
フラグメントしきい値 (256-2346)	2346

送信

設定項目	選択項目	設定内容
通信モード	インフラストラクチャ	「2-3. 無線ネットワーク環境の確認」で「アクセスポイントのある環境で本製品を使用する」を選択した場合に選択します。
	アドホック	「2-3. 無線ネットワーク環境の確認」で「アクセスポイントのない環境で本製品を使用する」を選択した場合に選択します。［アドホック］を選択したときは、［チャンネル］の設定も必要になります。

設定項目	選択項目	設定内容
無線モード	IEEE802.11b	接続する無線ネットワーク環境が IEEE802.11b のみのときに選択します。通常は［IEEE802.11b/g］を選択します。
	IEEE802.11b/g	無線ネットワーク環境にIEEE802.11bとIEEE802.11gが混在しているときに選択します。
	IEEE802.11g	接続する無線ネットワーク環境が IEEE802.11g のみのときに選択します。通常は［EEE802.111b/g］を選択します。
SSID	-	接続したいアクセスポイントの SSID を入力します。［通信モード］リストで［アドホック］モードを選択したときは、［チャンネル］リストより使用するチャンネルを選択します。
チャンネル	1～13（14）	［通信モード］で［アドホック］を選択したときに設定します。［無線モード］で［IEEE802.11b］を選択したときは1～ 14 チャンネル、［IEEE802.11b/g］または［IEEE802.11g］を選択したときは 1～13 チャンネルの中から選択することができます。設定の際、近接したエリアに同じ規格の無線があるときは、5 チャンネルを目安に間隔を空けて、電波干渉を避けて設定します。
通信速度	自動	通信速度は 1 ～ 54Mbps モードの間で、自動的に切り替わります。ただし、IEEE802.11b の場合は最大で 11Mbps モードとなります。
セキュリティレベル	なし	暗号化によるセキュリティを使用しないときに選択します。
	WEP-64bit（40bit）	16 進数またはASCII文字でWEP キーを使用したセキュリティです。
	WEP-128bit（104bit）	
	WPA-Personal（TKIP）	パスワード入力を使用したセキュリティです。［通信モード］リストで［アドホック］モードを選択したときは、このセキュリティモードは使用しないでください。
WEP 共有モード	オープンシステム	WEP キーの使用にかかわらず認証します。
	共有キー	無線通信デバイス間で同じ WEP キーを持っているか否かを認証します。
	自動	接続する無線デバイスに応じて［オープンシステム］と［共有キー］を切り替えます。通常は［自動］を選択します。
WEP 設定	16 進数で入力する	［WEP キー 1～4］での入力を、16 進数で入力するときは［有効］を選択します。［無効］を選択したときは ASCII 文字として入力できるようになります。
	WEP キー 1～4：	WEP キーを入力します。WEP-64bit（40bit）の場合英数と""_"" とを組み合わせた 5 文字で入力します。［16 進数で入力する］で［有効］を選択したときは 10 文字で入力します。WEP-128（104bit）の場合英数と""_"" とを組み合わせた 13 文字で入力します。［16 進数で入力する］で［有効］を選択したときは 26 文字で入力します。
	使用する WEP キー	リストで 1～4 を選択します。
パスワード / パスワードの再入力	-	パスワードを 8～63 文字以内で入力します。

設定項目	選択項目	設定内容
隠れ端末処理	-	無線機器間の距離が電波の届く範囲外にあるときや電波をさえぎる障害物があるときなどでお互いに送受信できないときに［有効］を選択して、通信速度の低下を防ぎます。
隠れ端末しきい値	-	［隠れ端末処理］リストで［有効］を選択したときに、256 〜 2346 の範囲で設定します。
ローミング処理	-	［有効］を選択することで、1 つのネットワークに複数のアクセスポイントがあるときに、1 つのアクセスポイントの伝送可能範囲から外れてももう 1つのアクセスポイントへ自動で接続することができます。
アクセスポイント密度	-	［ローミング処理］リストで［有効］を選択したときに、［Low/Mideum/High］中から選択します。
フラグメントしきい値処理	-	［有効］を選択して［フラグメントしきい値］に設定した数値分、正しく送信されなかった相手へのデータを再送信します。
フラグメントしきい値	-	データが正しく送信されなかったときの再送信回数を 256 〜 2346 の範囲で設定します。

注 意
［通信モード］で［アドホック］を選択したときは、［セキュリティ］の［WPA-Personal（TKIP）］は選択しないでください。通信できなくなります。

2. **各項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。**

以降の操作は以下を参照してください。

☞ 168 ページ「設定の保存」

本製品の TCP/IP 設定

お使いの環境に合わせて、本製品を設定します。

1 IP アドレスや各種アドレスを設定します。

注 意

- 工場出荷時、IP アドレスは［自動］に設定されています。IPアドレスを固定したいなど、本製品に設定する IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて変更してください。
- IP アドレスがわからない場合は以下のページをご覧ください。
  ☞172 ページ「設定する IP アドレスがわからない」

［IP アドレスの取得方法］で、［自動］または［手動］を選択します。初期値では［自動］が選択されています。
［自動］を選択して印刷したいときは、EpsonNet Print のポートを利用することで変動するアドレスを自動追従することができます。
☞79 ページ「5．印刷ツールと プリンタドライバの インストール」

設定項目	選択項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	自動	DHCP や BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に、選択します。これらのサーバがない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
	手動	下の[IP アドレス]欄で IP アドレスを設定する場合に、選択します。

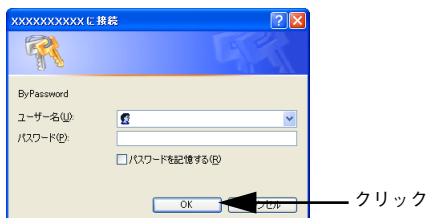
注 意
ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
236 ページ「付録・ダイヤルアップルータおよびルータ機能付きアクセスポイント使用時の注意」

設定項目	設定内容
IP アドレス	［IP アドレスの取得方法］で［手動］を選択したときに本製品の IP アドレスを入力します。IP アドレスがわからない場合は以下のページをご覧ください。 172 ページ「設定する IP アドレスがわからない」 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	DHCP サーバで IP アドレスが取得できない場合、［169.254.1.1］～［169.254.254.254］の IP アドレスが自動的に割り当てられます。使用する場合は、［有効］を選択します。 ここで［無効］が選択されており、DHCP サーバなどから応答がない場合、IP アドレスは初期値のままとなります。
PING による設定	PING による IP アドレスの設定をする場合は、［有効］を選択します。EpsonNet WebManager を使う場合は［無効］を選択します。
DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	DNS サーバのアドレスを、DHCP サーバから自動的に取得する場合に［有効］を選択します。
DNS サーバアドレス（使用順）	DNS サーバのアドレスを入力します。［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］で［有効］を選択している場合でも、DHCP サーバから応答がない場合は、ここで設定した DNS サーバのアドレスが使用されます。設定したアドレスは、上位から優先的に使用します。使用しないフィールドには無効なアドレス（255.255.255.255）を設定してください。
ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	ホスト名とドメイン名を DHCP サーバから自動的に取得する場合に［有効］に設定します。
ホスト名	本製品のホスト名およびドメイン名を設定します。［ホスト名とドメイン名を自動的に取得する］で［有効］を選択している場合でも DHCP サーバから応答がない場合は、ここで設定したホスト名およびドメイン名が使用されます。
ドメイン名	

設定項目	設定内容
ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	ダイナミックDNSをお使いの環境で、設定したホスト名とドメイン名をDHCPサーバにより、DNSサーバに登録する場合にチェックします。本製品のIPアドレスがDHCPによって変わっても、ホスト名はダイナミックDNSによって自動更新されます。DNSサーバのアドレスと本製品の［ホスト名］、［ドメイン名］が自動取得であるか、手動で入力されていないと、設定できません。
ネットワークI/FのアドレスをDNSサーバに直接登録する	設定したホスト名とドメイン名を直接DNSサーバへ登録するときにチェックします。IPアドレスの設定方法が自動もしくは手動のどちらでも設定が可能です。
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Windows Me以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応したWindowsで使用できるユニバーサルプラグアンドプレイの有効/無効を切り替えます。ユニバーサルプラグアンドプレイ機能をお使いになる場合は、［有効］を選択してください。初期値は［無効］です。 ユニバーサルプラグアンドプレイ機能については、以下のページをご覧ください。 239ページ「付録・ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」
デバイス名	デバイス名を入力します。この名称は、ユニバーサルプラグアンドプレイ対応のWindows上で使用されます。初期値は［プリンタ名＋MACアドレスの下6桁］です。
Rendezvous機能を有効にする	Mac OS X 10.2.4以降でRendezvousを使って印刷する場合に［有効］を選択します。初期値は［有効］です。
Rendezvous名	Mac OS X 10.2.4以降でRendezvousをお使いの場合、ホスト名がRendezvous名になります。
Rendezvousプリンタ名	Mac OS X 10.2.4以降でRendezvousをお使いの場合、プリンタ（デバイス）を追加するときに表示されるプリンタデバイス名になります。

2 **各項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。**
以降の操作は次項目「設定の保存」を参照してください。

設定の保存

1 **ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。**
ユーザー名、パスワード共に、工場出荷時は何も設定されていません。［OK］ボタンをクリックすると、設定が送信されます。

ユーザー名とパスワードを変更する場合は、次のメニューで行います。

- ユーザー名：［設定］-［オプション］-［管理者情報］画面の［管理者名］項目
- パスワード：［設定］-［オプション］-［パスワード］画面の［新パスワード］項目

注 意

「設定は正常に更新されました！」と表示されるまでは、本製品に情報を送っていますので、本製品の電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

設定は正常に更新されました！

設定を有効にするためにはリセットの送信
またはプリンタの電源の再投入をしてください。

今すぐリセット

2 **設定を有効にするため、画面の指示に従ってリセットしてください。**

参 考

IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet Config（Web）を使う場合は、EpsonNet Config（Web）の再読み込みが必要です。新しく設定した IP アドレスを URL に入力し、EpsonNet Config（Web）の再読み込みをしてください。

10．困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明します。

10-1. 全 OS 共通

本製品の設定ができない / ネットワーク印刷ができない /EPSON Scan が使用出来ない

処置 1)

本製品の無線通信が一端途切れた、または通信不能になっていないか確認してください。通信不能になっていたときは、本製品の電源を入れなおしてください。また、無線通信が一端途切れた場合は、接続しているデバイスの電源を入れなおしてください。

処置 2)

まず、ネットワークステータスシートが印刷できるかどうか確認してください。
ネットワークステータスシートの印刷が可能な場合は、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないか確認してください。
☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

処置 3)

正しくアクセスポイントに接続されているか確認してください。まず NETWORK ランプを見て緑点灯または黄点灯しているか確認してください。NETWORK ランプが赤点灯している場合は、次のことを確認してください。

- アクセスポイントの電源がオンになっているか
- 無線に関する設定が、接続したいアクセスポイントに合っているか

処置 4)

TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定または取得されているか確認してください。
本製品の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて変更してください。

処置 5)

処置 1 〜 4 を行っても解決しないときは、EPSON Scan のトラブル解決アシスタントまたは複合機の取扱説明書をご覧ください。

設定するIPアドレスがわからない

処置）

外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う場合は、JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請を行ってIPアドレスを正式に取得していただく必要があります。
IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918で規定されています）。
プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

データの末尾が欠けた状態になる

処置）

本製品の電波状態を確認してください。通信状態が悪いときは、本製品の周囲に障害物がないようにしてください。また、電波状態が良好となる場所へ移動してください。
電波状態を確認するには各EpsonNet Configを使用してください。

EpsonNet Config（Windows）が起動できない

処置）

EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、OS上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。
EpsonNet Config（Windows）を削除し、再インストールしてください。
☞ 225ページ「付録・ユーティリティの削除方法」
☞ 53ページ「EpsonNet Config（Windows）」

EpsonNet Config（Windows）の起動時に「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

- コンピュータに TCP/IP 、IPX/SPX のどちらのプロトコルも組み込まれていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、コンピュータの IP アドレスが正しく設定されていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、DHCP サーバから各種アドレスを取得する設定下で、DHCP サーバが応答しない場合

処置）

［OK］ボタンをクリックするとEpsonNet Config（Windows）が起動する場合がありますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定を行ってください。

☞ 28 ページ「3．コンピュータの ネットワーク設定」

EpsonNet Config（Web）が起動できない

処置）

EpsonNet Config（Web）を実行するには、本製品の IP アドレスを確認する必要があります。現在のアドレスは、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞ 44 ページ「4．本製品の設定」
☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

ARP/PING コマンドで本製品の IP アドレスを設定できない

処置）

ping コマンドを実行後、「Reply from （IP address）: ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、有線 / 無線ネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、APIPA ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet Config（Windows）の［IP アドレス］に［NONE］と表示される

処置 1）

本製品の IP アドレスが初期値の場合、［IP アドレス］は［- NONE -］と表示されるため、本製品が複数存在すると IP アドレスで判別できません。このような場合は MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの［MAC Address］欄で確認できます。

☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

本製品の設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2）

EpsonNet Config（Windows）の［表示］メニューの［最新の情報に更新］を実行してください。

処置 3）

EpsonNet Config（Windows）の［ツール］メニューの［オプション］-［タイムアウト］で、［通信エラーとする時間］を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet Config（Windows）の動作が遅くなる（探索に時間がかかります）ため注意してください。

アクセスポイントに接続できない／無線機器間通信ができない

無線に関する設定で［通信モード］と［セキュリティ］の組み合わせが［アドホック］と ［WPA-Personal（TKIP）］になっている。または、WEP キーを間違って設定している可能性があります。

処置）

本製品を工場出荷時の状態に戻し、再度 EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）、各 EpsonNet EasyInstall を使用して設定しなおしてください。

☞ 224 ページ「付録・本製品の工場出荷時への戻し方」

10-2. Windows 98SE/Me

EpsonNet Printを使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）
ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

10-3. Windows 2000/XP/Server 2003

EpsonNet Printを使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）
ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Windows XPの［EPSON Scanの設定］で複合機を検索できない

処置）
Windows XP のファイアウォール機能をオンにしている場合に発生することがあります。この場合は［EPSON Scan の設定］-［追加］ボタンをクリックし、［追加］ウィンドウで［アドレスを入力］をクリックし、直接 IP アドレスを入力してください。

10-4. Macintosh

セレクタにプリンタが表示されない（Mac OS 9）

処置）

次の項目を確認してください。

- コントロールパネルの［AppleTalk］で［Ethernet］が選択されているか
- 本製品に接続したデバイス用のエンティティタイプが設定されているか
  ☞ 68 ページ「エンティティタイプの変更方法」
- セレクタで AppleTalk が［使用］になっているか、HUB、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせて確認してください。

［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］の［追加］画面でプロトコルを選択しても、プリンタが表示されない（Mac OS X）

処置 1）

プリンタドライバがインストールされているかを確認してください。

処置 2）

次のことを確認してください。

- EPSON AppleTalk の場合
  ［システム環境設定］の［ネットワーク］画面で［表示］ドロップダウンリストから［内蔵 Ethernet］を選択し、［AppleTalk］タブで、［AppleTalk 使用］にチェックが付いているか
- EPSON TCP/IP の場合
  ・［システム環境設定］の［ネットワーク］-［TCP/IP］タブで、各種アドレスが設定されているか
  ・本製品に正しい IP アドレスが設定されているか
- Rendezvous の場合（Mac OS X 10.2.4 以降）
  EpsonNet Config（Web）の［設定］-［ネットワーク］の［TCP/IP］で、［Rendezvous 機能を有効にする］が［有効］に設定されているか

EPSON Scan が使えない

処置）

以下のことを確認してください。

Macintosh に IP アドレスが設定されているか

・Mac OS 9 の場合
［アップル］メニュー-［コントロールパネル］-［TCP/IP］の順にクリックしてください。

・Mac OS X の場合
［アップル］メニュー-［システム環境設定］-［ネットワーク -TCP/IP］の順にクリックしてください。

10-5. NetWare

NetWare サーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置）
サーバでキュー/ プリントサーバのユーザーの中に、印刷を行おうとしているユーザーが登録されているか確認してください。また、NetWare サーバに本機のネットワークインターフェイスがログインしているかどうか確認してください。

EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）が正しく起動しない

処置）
Microsoft の Service for NetWare Directory Service がインストールされているマシンでは、EpsonNet Config（Windows）またはEpsonNet Config（Web）が正常に起動しない場合があります。
NDS サービスをご利用の場合は Novell クライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet Config（Windows）のリスト画面で、IPX グループにプリンタが表示されない

処置）
次の項目を確認してください。
- 本製品とプリンタの電源がオンになっているか
- 本製品が、EpsonNet Config（Windows）を使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか（同一セグメントにない場合は、［ツール］メニューの［オプション］-［方法］で設定してください。）
- EpsonNet Config（Windows）を起動するコンピュータから、管理者権限でログインしているか

EpsonNet Config（Windows）の起動に時間がかかる

処置）
コンピュータに Novell クライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft 社製 NetWare クライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークに IPX を使用するため、EpsonNet Config（Windows）の動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

• Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

① ［コントロールパネル］画面で、［ネットワーク接続］をダブルクリックします。
Windows 2000 の場合は、［コントロールパネル］画面で［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックします。

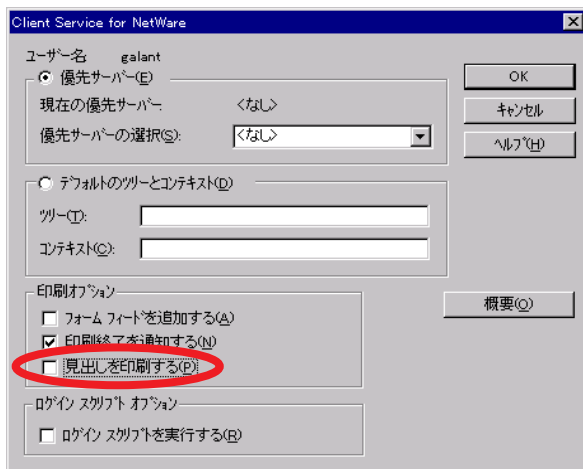
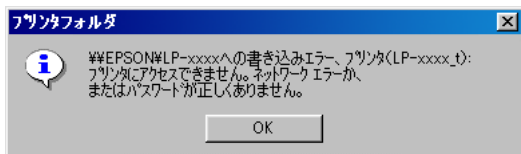
② IPX/SPX 互換プロトコルを使用しない接続を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
③ [NWLink IPX/SPXNetBIOS 互換トランスポートプロトコル] または [NetWare 用クライアントサービス] のチェックを外します。

- **Windows 98SE/Me の場合**

① [コントロールパネル] 画面で、[ネットワーク] をダブルクリックします。
②IPX/SPX 互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタをダブルクリックします。
③ [バインド] タブをクリックし、IPX/SPX 互換プロトコルや Novell NetWare クライアント用のプロトコルのチェックを外します。

Windows 2000/XP/Server 2003 から NetWare4.xJ 経由で印刷すると、NetWare のバナー（見出し）が印刷されてしまう

処置）
CSNW（Client Service for NetWare）や GSNW（Gateway Service for NetWare）の [印刷オプション] の設定で [見出しを印刷する] のチェックボックスにチェックされているためです。このチェックを外すと、バナーは出力されなくなります。

上記 OS の [コントロールパネル] で [CSNW] または [GSNW] を起動し、[印刷オプション] で [見出しを印刷する] チェックボックスのチェックを外してください。

Windows 98SE から NetWare 経由で印刷を実行すると、次のようなエラーが表示されて印刷できない

サーバーコンソール画面では［out of disk space］のメッセージが表示される

処置）
2 つの原因が考えられます。下記をご覧ください。

- NetWare サーバの SYS ボリュームがいっぱいに近い状態です。
  この場合は NetWare サーバの SYS ボリュームの空きを増やしてください。
- キューディレクトリへの書込み権限がありません。
  この場合は NetWare サーバの SYS ボリュームで、キューディレクトリへの書込み権限を与えてください。

11. その他の便利な機能の紹介

ここでは、次の内容を紹介します。

11-1. プリンタドライバの自動インストール

プリンタドライバの自動インストール機能は、ネットワーク接続されたプリンタのエプソン製 Windows 用プリンタドライバだけが利用できる機能です。
任意のコンピュータにクライアント用のプリンタドライバを格納しておき、それをクライアントがコピーすることで、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。プリンタドライバの自動インストールには次の方法があります。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

> **参考** カラリオプリンタは未対応です。

EpsonNet InstallManager のプリンタドライバ自動インストール機能

ネットワークプリンタのドライバインストールから印刷ポートの設定までを自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。
管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、クライアント側のコンピュータでこのインストールパッケージを実行するだけで印刷環境が作成されるため、管理者のプリンタドライバ配布・インストール作業を大幅に軽減します。また、プリンタドライバだけでなく、「EPSON プリンタウィンドウ!3」も同時にパッケージ化できます。

EpsonNet WebManager のプリンタドライバ自動インストール機能

1. 管理ユーティリティ EpsonNet WebManager をインストールしたコンピュータに、Windows 用のプリンタドライバを格納します。
2. クライアントPCの Webブラウザから管理者に指定されたURL にアクセスすると、コンピュータに格納されているプリンタドライバが自動的にインストールされます。

11-2. ネットワークプリンタの状態確認

ここでは、ネットワークプリンタの状態を確認できるユーティリティを紹介します。これらのユーティリティを活用すると、離れた場所にあるプリンタを自分のコンピュータから設定したり、トラブルを確認することができます。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

クライアント用ユーティリティ

EPSON プリンタウィンドウ !3

本製品に付属しているユーティリティで、対象 OS はプリンタドライバと同様です。ネットワークプリンタの用紙やトナー・感光体と、エラー内容などを確認することができます。
EPSON プリンタウィンドウ !3 の詳細については、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

注 意
本製品を介して接続したデバイスに対しての EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作は、いくつかの制限があります。
☞ 246 ページ「付録・EPSON プリンタウィンドウの制限」

参 考
MS Network または IPP 印刷をする場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 は使用できませんのでご注意ください。

管理者用ユーティリティ

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager は、Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。ネットワークプリンタの状態を確認できるほか、ネットワークに関する各種設定を行うことができます。
プリンタの管理には業界標準の SNMP/MIB を使用していますので、MIB に対応している他社製プリンタの管理も可能です（プリンタメーカによってプリンタ MIB の実装に一部違いがあり、同じ情報でも EpsonNet WebManager で取得できない場合があります）。

参 考
カラリオプリンタは未対応です。

11-3. ネットワーク管理ツールのご案内

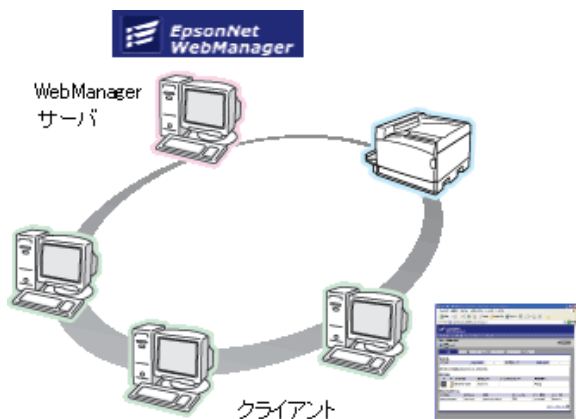
EPSON では、オフィスの中でさらに効果的・効率的に EPSON プリンタをお使いいただくためのネットワーク管理ツールをご提供しております。
印刷だけでなく、トータルなプリンタ管理を含めてご提案しております。ぜひご活用ください。
ユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞ 20 ページ「ツール / ソフトウェアの入手方法」

参 考	カラリオプリンタは未対応です。

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager とは

EpsonNet WebManager は Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。以下のようなネットワーク管理者の要望を解決します。

- オフィスのプリンタの状態を常に把握しておきたい
- 管理するプリンタのエラー状況を一目で把握したい
- エラーが起きたプリンタがどこにあるかをすぐ知りたい
- ユーザーが使用するプリンタドライバのバージョンを一元管理したい

EpsonNet WebManager を使うと

ネットワーク上のプリンタを探し出して、集中管理できます。オフィスごとや課単位のグループを作ることで、多くのプリンタでも効率的に管理できます。EpsonNet WebManager が提供する機能を使うと、次のようなこと（管理）ができます。

- プリンタの一覧や配置を把握できます
  ネットワーク上にプリンタが多数存在する場合、それらのプリンタすべてを把握するのは困難です。EpsonNet WebManager を使えば、登録されているプリンタの一覧表を表示させることができるので、管理者は手元のブラウザでネットワーク上のプリンタを一括管理できます。また、プリンタに資産管理番号を付与して一覧表示することもできますので、資産管理に関する管理者の負担を軽減できます。

  さらに、オフィスのレイアウト図にプリンタアイコンを配置して表示する機能によって、プリンタの 2 次元的な配置位置を表示させることができます。プリンタの場所と状態を同時に管理できますので、障害発生時の早期解決を支援します。

- プリンタで発生している問題（障害発生状況）を把握できます
  毎日 9 時、毎週月曜日など、指定した時間間隔で、管理しているプリンタで発生している障害の一覧情報を E-mail で受け取る（知る）ことができます。また、障害の発生履歴を記録することもできます。届いた E-mail や記録された履歴を元に、プリンタでの障害の発生頻度や、どのプリンタで障害が多発しているか（障害発生分布）など、障害発生の傾向も知ることができます。障害発生の傾向を知ることで、深刻な事態を招く前に必要な対策を講じることができ、プリンタをより安定して利用することができます。
  プリンタで発生している障害の内容は、プリンタの設置場所に行かなくても、手元のブラウザで知ることができます。別の階や別の棟にあるプリンタであっても、目の前のブラウザで障害の内容を把握できるので、わざわざ出向くことなく、困っているユーザーに電話で適切な対処方法を指示することもできます。

- プリンタの稼動状況と消耗品の残量を知ることができます
  プリンタの稼動状況や消耗品の残量推移の履歴（ログ）を記録できますので、これらの履歴情報から各プリンタの利用頻度を把握することができます。利用頻度に関する情報を活用すれば、消耗品の手配やプリンタの配置を最適化することができます。EpsonNet WebManager を使うことでプリンタをより有効に活用できるようになります。

- プリンタドライバを収集・配布できます※
  インターネットから最新のプリンタドライバを自動的に収集できます。また、収集したドライバは、実際に印刷を実行するクライアント（印刷を行うユーザー）のコンピュータへ、Web ブラウザ経由で配信することもできます。
  EpsonNet WebManager はインターネットと連携することができるので、ワンクリックでエプソンのホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納できます。クライアントは、通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバをインストール、印刷できるようになります。
  ※ エプソン製 Windows プリンタのみ。EPSON プリンタウィンドウの配信はできません。

主な機能の紹介

プリンタ管理

EpsonNet WebManager はインターネット標準の SNMP プロトコルを使用して、ネットワークプリンタを管理する為に必要な情報を取得 / 設定します。

検索・一覧	・ネットワーク上のプリンタを探索し一覧表示が可能 ・ネットワーク指定によりルータを越えた先のプリンタも探索可能 ・特定のデバイス / 特定のネットワーク / 特定のアドレスに基づいた検索が可能 ・プリンタを一覧表示する際の列項目はカスタマイズ可能
グループ管理	・管理プリンタを論理グループに分けて管理が可能 ・レイアウト図を作成することで、プリンタの位置と状態を同時に確認可能（レイアウト表示）
デバイス管理	EpsonNet WebManager では管理するプリンタをデバイスと呼びます。 ・「デバイス詳細画面」により、プリンタのより詳細な状態・情報を確認可能 ・プリンタ本体に表示されているメッセージもリモートで確認可能 *1 ・ネットワーク設定・本体設定がリモートで可能 ・障害発生 / 消耗品 / 稼動状況のログ取得が可能（ログ収集）*2 ・印刷ジョブに関する情報の表示と印刷の中止が可能 *3 ・E-Mail によるグループ単位での定期的な状態の通知が可能（障害通知）*4

*1　対応する情報が取得可能なプリンタのみ表示可能です。

*2　EpsonNet WebManager で取得したログは指定された時間間隔でファイルに出力されます。また、出力したファイルを E-mail に添付して発信することもできます。

*3　印刷ジョブ情報に対応した EPSON プリンタのみ可能です。

*4　EpsonNet WebManager 上で設定した間隔で障害が発生していれば E-Mail で通知します。

ドライバ管理

EpsonNet WebManager を使用すると、以下のプリンタドライバを管理できます。

- EpsonNet　WebManager で管理できる EPSON 製プリンタのプリンタドライバ（PostScript ドライバは不可）
  エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）で最新情報をご確認ください。
- EPSON 製 Windows 用プリンタドライバ

ドライバ配信	「ドライバ格納ツール」により FD/CD-ROM 等のメディアからプリンタドライバを配布可能な形態で格納 クライアントは通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバのインストールが可能
インターネット連携	インターネットと連携し、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）から最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納可能 （実際にプリンタドライバを収集する際には上記 URL に自動でアクセスします。）

EpsonNet NDPS Gateway

EpsonNet NDPS Gateway は、NDPS（Novell Distributed Print Services）環境でEPSONプリンタからの印刷や、EPSON プリンタの状態監視を可能にするゲートウェイソフトウェアです。NDPS 技術を使って設計されていないプリンタでも、プリンタの設定や状態の確認ができます。EpsonNet NDPS Gateway ソフトウェアを使うと、NDPS ユーザーは NDPS のほとんどすべての機能を利用することができます。

EpsonNet NDPS Gateway の特長は次の通りです。

次の接続タイプをサポートします。
キューベースプリンタ、IPX 環境での RP モード、TCP/IP 環境での LPR モードの 3 つのリモートプリンタをサポートしています。

自動的にプリンタエージェントを作成できます。
自動作成されたプリンタエージェントが自動的に検索され、ネットワーク上でパブリックアクセスプリンタとしてすぐに使えます。

双方向フィード・バック機能をサポートします。
クライアントとプリンタ間の双方向通信をサポートします。ジョブやプリンタの状態、トナー・感光体および紙の残量といった情報を、プリンタからリアルタイムで取得できます。

ピュア IP ベースの印刷と、IPX ベースの印刷をサポートします。
EpsonNet NDPS Gateway は、エプソンのホームページからダウンロードしていただけます。アドレスは下記の通りです。
http://www.i-love-epson.co.jp/

付録

設定済み本製品のある環境にて新規にコンピュータを追加する、またはデバイスを変更する

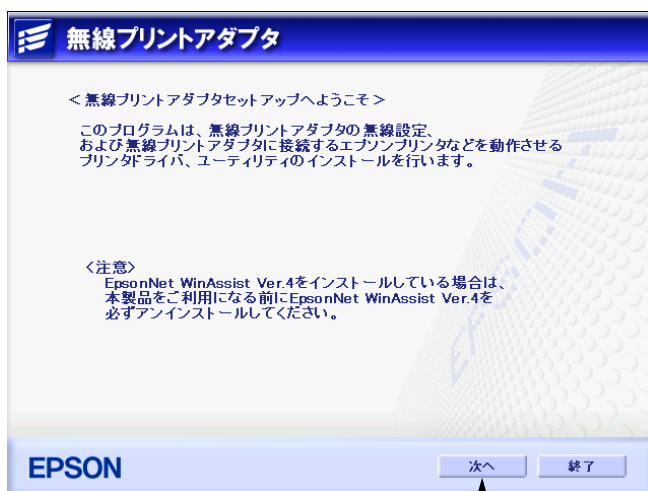
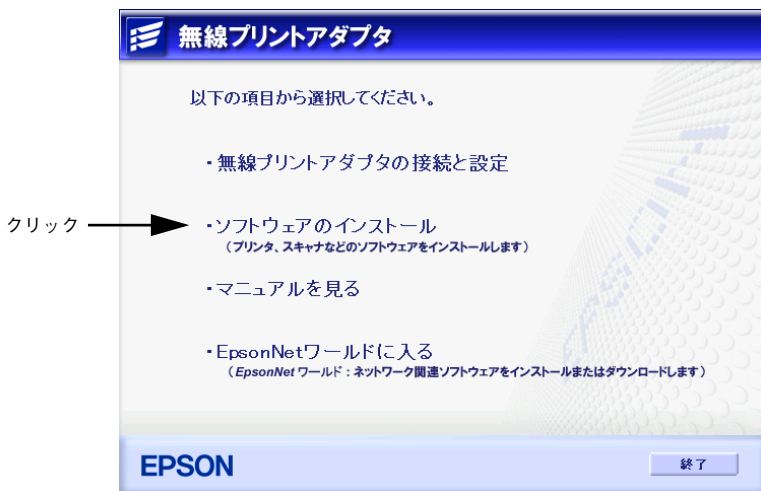
本製品の対応デバイスは、以下のページをご覧ください。
☞ 13 ページ「本製品の対応デバイス（2004 年 9 月現在）」

Windows の場合

有線または無線接続したコンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM（インクジェット）/（レーザー）」をセットして、EpsonNet EasyInstall（Windows）を使用してポートの設定からドライバインストールまでを行います。
ここでは、Windows XP の画面を例に説明しています。

1 **コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

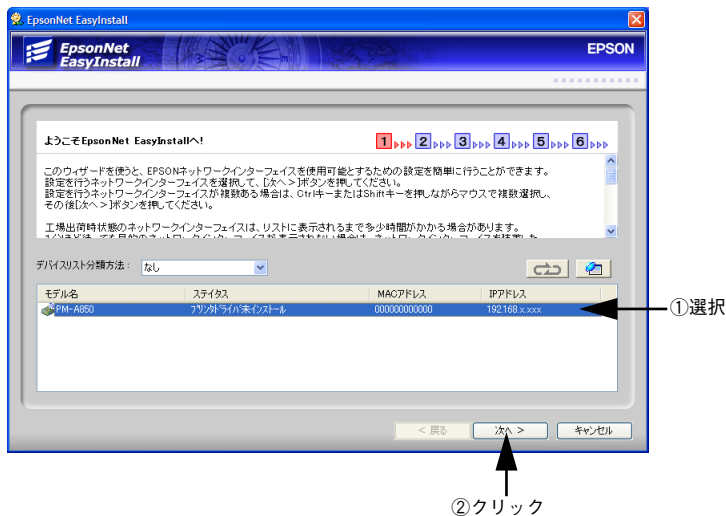
セットする CD-ROM は、本製品に接続しているデバイスのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。

2 **［無線プリントアダプタセットアップへようこそ］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。**

3 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して［同意する］ボタンをクリックし、［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

4 表示された画面で、本製品に接続されているデバイスをクリックします。

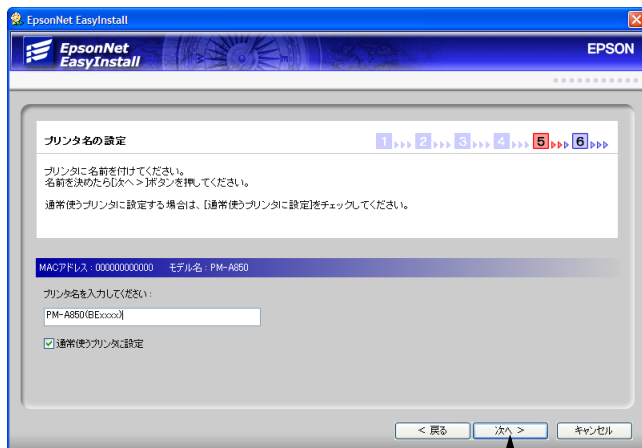
5 表示された画面で［インストール］ボタンをクリックします。

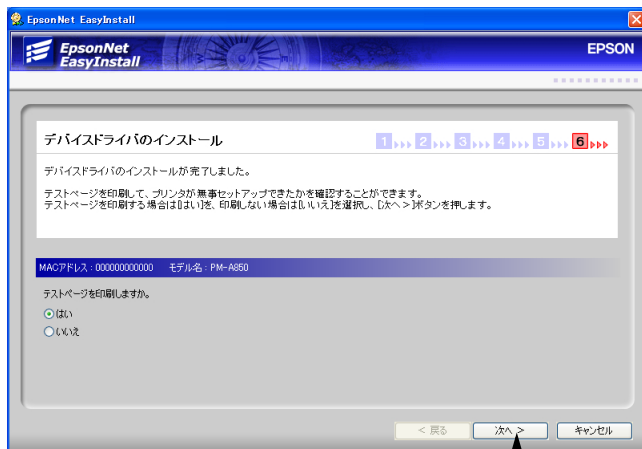
EpsonNet EasyInstall が起動します。
お使いの Windows によっては［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されます。［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

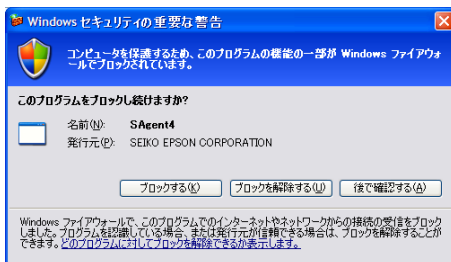
参 考	［ブロックする］ボタンをクリックしたときは、EpsonNet EasyInstall（Windows）を「Windows ファイアウォール」に登録してください。 ☞243 ページ「付録・Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法」

6 デバイスリストより本製品に接続しているデバイスを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

注 意	［モデル名］に［Printer］と表示されている場合は、デバイスが接続されていないため、これ以降の手順でデバイスドライバをインストールできません。本製品とデバイスを USB ケーブルで接続して、デバイスの電源を入れてください。

7 必要に応じてプリンタ名を変更して［次へ］ボタンをクリックします。

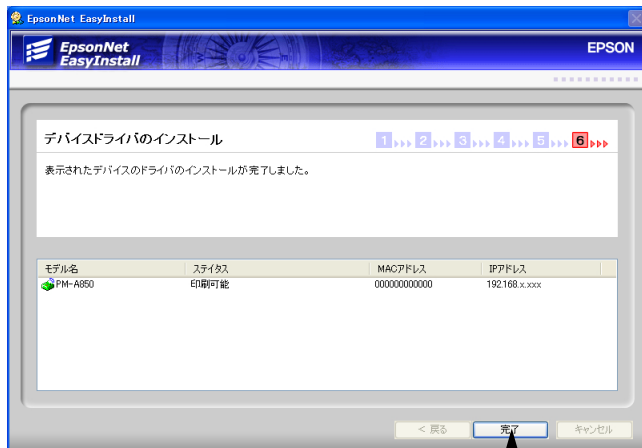
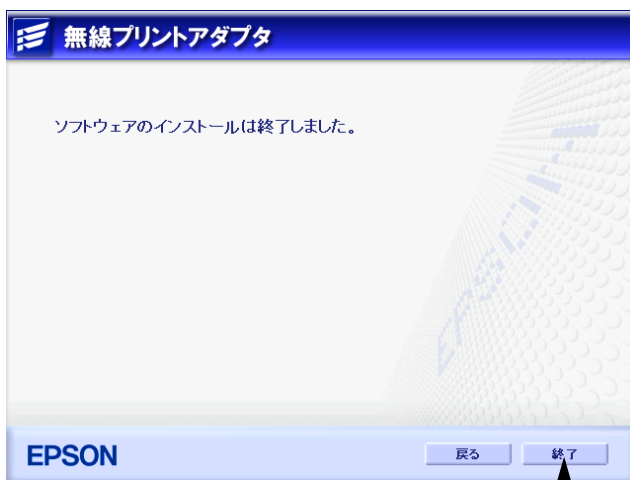
通常使いたいプリンタにしたいときは、［通常使うプリンタに設定］チェックボックスをチェックしてください。［次へ］ボタンをクリックすると、デバイスドライバのインストールがはじまります。

お使いのコンピュータによっては［ Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されることがあります。表示されたときは［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

8 画面の内容を確認し、テスト印刷したいときは［はい］ボタンをクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

参 考

以下の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

［ブロックする］を選択した場合は、OS が起動しているドライブの ¥Windows¥system32¥spool¥drivers¥w32x86¥3¥SAGENT4.0.EXE を登録してください。

☞243 ページ「付録・Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法」

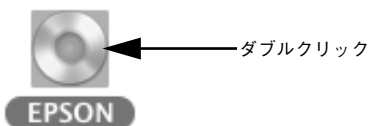
9 ［完了］ボタンをクリックします。

EpsonNet EasyInstall が終了します。手順 8 でテスト印刷を行う操作をしたときは、接続デバイスから［EpsonNet EasyInstall Print Test Page］が印刷されます。

10 ［終了］ボタンをクリックします。

Macintosh の場合

ここでは、有線または無線接続した Macintosh に、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM（インクジェット）/（レーザー）」をセットして各種ドライバをインストールします。

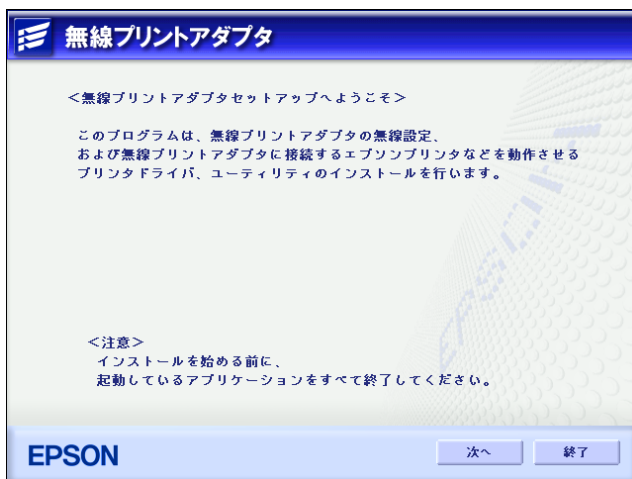
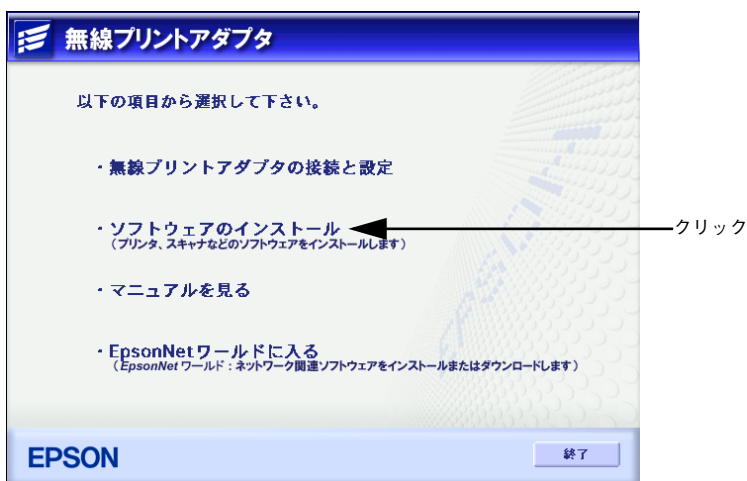
参 考	Mac OS X にインストールするには、管理者の権限を持つユーザでログインする必要があります。

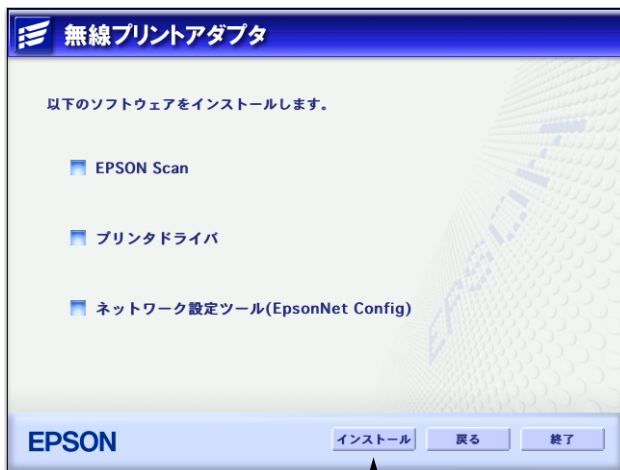
1 **コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。**

Mac OS X の場合は、[EPSON] アイコンをダブルクリックしてください。

参 考	セットする CD-ROM は、本製品に接続しているデバイスのタイプに合わせて、インクジェット版 / レーザー版のどちらかを選んでください。

2 **[EPSON] ウィンドウで各 OS 用のインストーラアイコンをダブルクリックします。**

<< インストーラ >>
お使いのOS用のｱｲｺﾝを
ﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸしてください

3 ［無線プリントアダプタセットアップへようこそ］画面で、［次へ］ボタンをクリックします。

4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認して［同意する］ボタンをクリックし、［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

5 表示された画面で、本製品に接続されているデバイスをクリックします。

6 表示された画面で［インストール］ボタンをクリックします。

各種ドライバと EpsonNet Config がインストールされます。インストールの終了後、表示された画面で［再起動］ボタンをクリックして Macintosh を再起動します。その後は以下を参照して本製品の接続デバイスを設定してください。

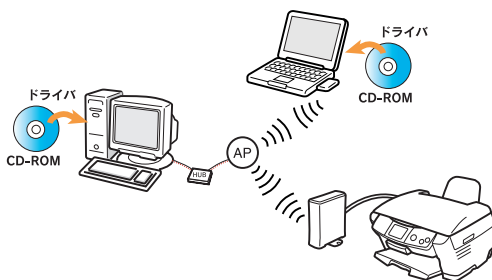
☞ 106 ページ「プリンタの選択」（Mac OS 9）
☞ 108 ページ「プリンタの追加」（Mac OS X）

本製品に接続した複合機のスキャナを使用するときは、以下を参照してください。

☞ 110 ページ「6．EPSON Scan の インストールと設定」

EpsonNet Intrernet Print および標準 IPP/LPR を使ったプリンタのセットアップ方法

Windows の場合、プリンタドライバを自動配信する機能を利用すると、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。詳細は以下のページをご覧ください（カラリオプリンタは未対応）。

☞ 182 ページ「11-1. プリンタドライバの自動インストール」

Windows 98SE/Me の場合

印刷方法に応じて以下の参照ページに記載の設定を行った後、プリンタドライバをセットアップしてください。

☞ 198 ページ「IPP 印刷の場合（Windows 98SE）」
☞ 199 ページ「IPP 印刷の場合（Windows Me）」
☞ 201 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

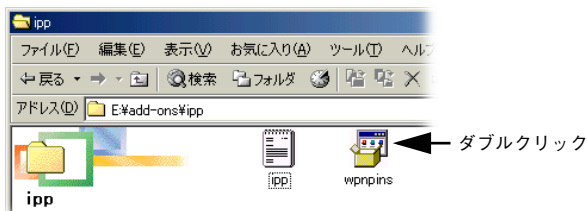
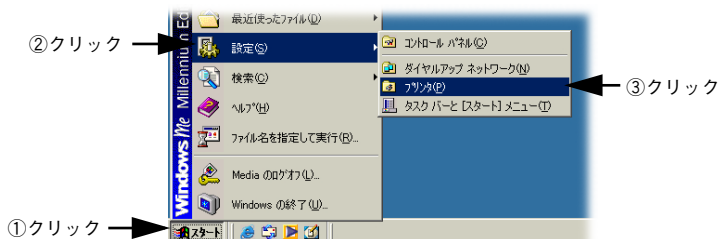
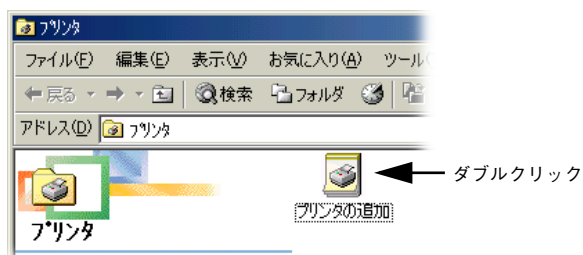
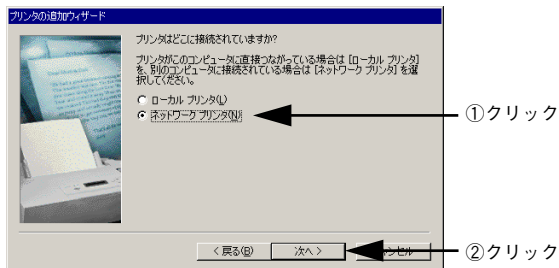
IPP 印刷の場合（Windows 98SE）

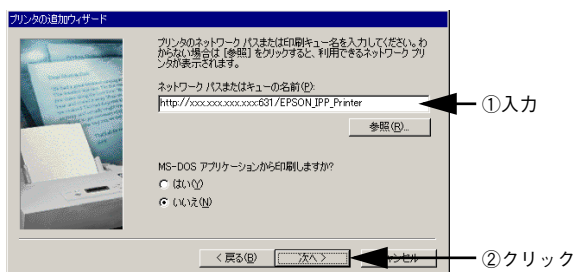
Windows 98SE で IPP 印刷するには、IPP 直接印刷ツール「EpsonNet Internet Print」をエプソンのホームページからダウンロードする必要があります。
以下のページをご覧ください。

☞ 17 ページ「1-5. EpsonNet ソフトウェアのご案内」

IPP 印刷の場合（Windows Me）

1. コンピュータに、Windows Me の CD- ROM をセットします。

2. CD-ROM ドライブにある［add- ons］-［ipp］フォルダの［wpnpins］をダブルクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

3. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

4. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［ネットワークパスまたはキューの名前］に次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

書式）http:// 本製品の IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。本製品の設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。

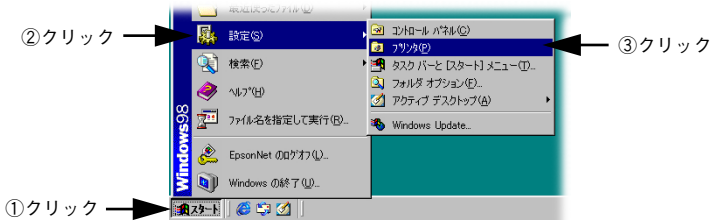
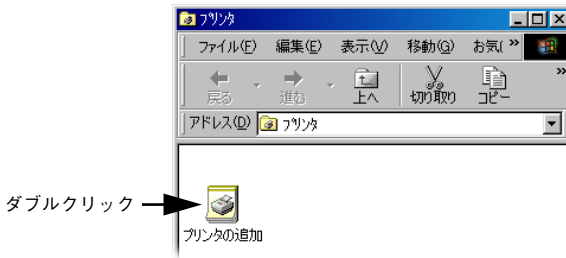
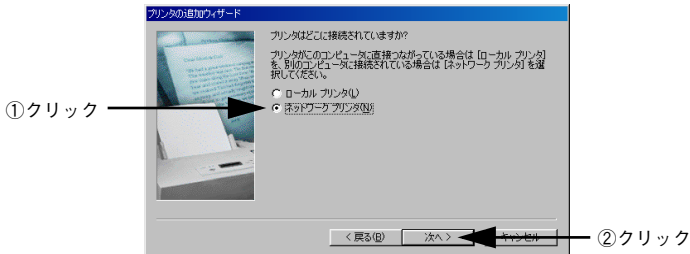
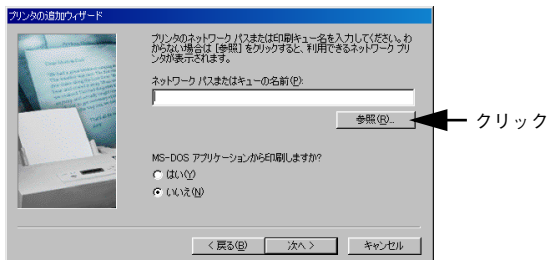
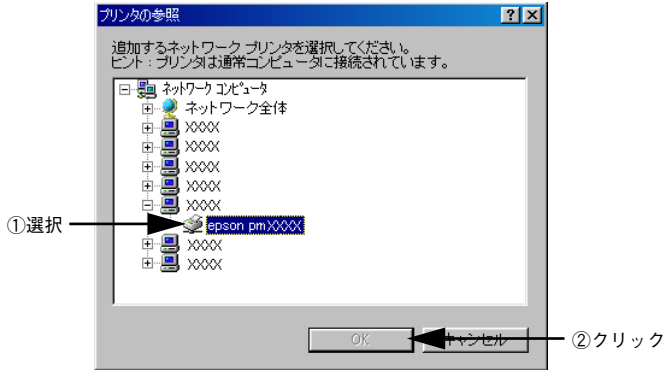
☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

7 この後は以下のページに進んでください。

☞ 203 ページ「プリンタドライバのインストール」

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

Windows 98SE の画面を例に説明します。

1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［参照］ボタンをクリックします。

5 表示されるリストからプリンタを選択して、［OK］ボタンをクリックします。

参考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［キャンセル］ボタンをクリックし、手順 4 の画面で次のように入力します。
  ¥¥（本製品のプリントサーバ名）¥（本製品の共有名）これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認してください。
  ☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由 - パブリックアクセスプリンタの場合
  ［Ndps パブリックアクセスプリンター］というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由 - コントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

6 ［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

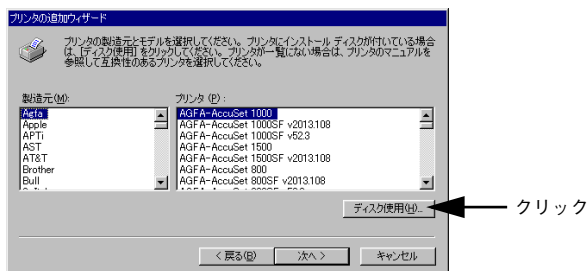
7 この後は以下のページに進んでください。

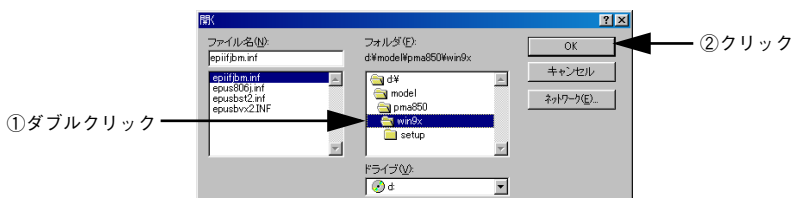
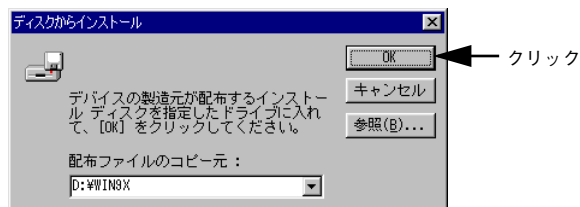
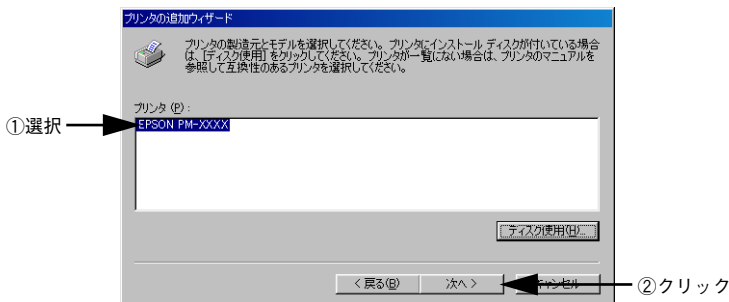
☞ 203 ページ「プリンタドライバのインストール」

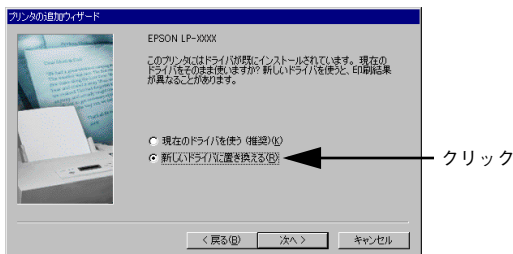
プリンタドライバのインストール

1 コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
セットする CD-ROM は、本製品に接続しているデバイスのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。

2 画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

4 ［ディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5 CD-ROM ドライブ内の［MODEL］フォルダより、お使いのOS 名のフォルダをダブルクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

6 ［ディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7 お使いの機種名を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

参 考

下の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

8 ［完了］ボタンをクリックします。

この後は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
これでインストールは終了です。なおインクジェットプリンタ／複合機の場合は、以下の操作をして CD-ROM 内のファイルをインストールしてください。

- ［APPS］フォルダ - ［Updater］フォルダ - ［WIN9X］フォルダをクリックし、［UPDATE］アイコンをダブルクリック。
- ［APPS］フォルダ - ［AddNet］フォルダをクリックし、［setup］アイコンをダブルクリック。

注 意

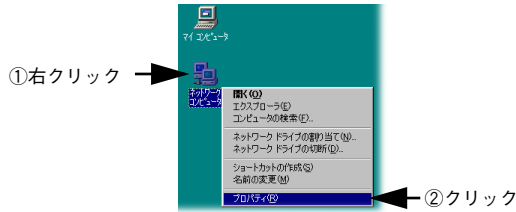
- 上記操作を実行しないと、プリンタドライバのユーティリティ機能の一部が正常に動作しない場合があります。
- レーザープリンタの場合は、上記の操作を実行する必要はありません。

Windows 2000/XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷をする場合は、以下のページに進んでください。
☞ 205 ページ「NET USE コマンドの実行（サービスの確認とコマンドの実行）」
複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）を使う場合は、以下のページへ進んでください。
☞ 110 ページ「6. EPSON Scan の インストールと設定」

NET USE コマンドの実行（サービスの確認とコマンドの実行）

Windows 2000/XP/Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

1. **［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

   Windows Me の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2. **表示された画面で、［Microsoft ネットワーククライアント］があることを確認します。**

   ［Microsoft ネットワーククライアント］がない場合は、［追加］ボタンをクリックして追加してください。

3. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**

   書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ 本製品のプリントサーバ名
   　　　　¥ 本製品の共有名（_ は半角スペース）

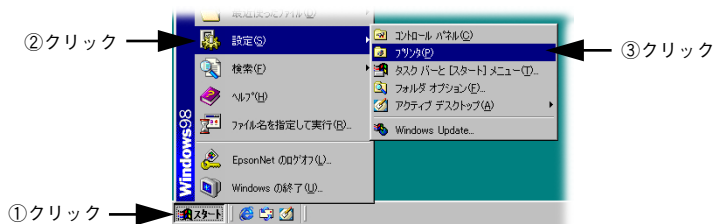
   例）　　LPT1 に設定する場合
   　　　　C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は以下のページに進んでください。

☞ 206 ページ「ポートの確認（MS Network）」

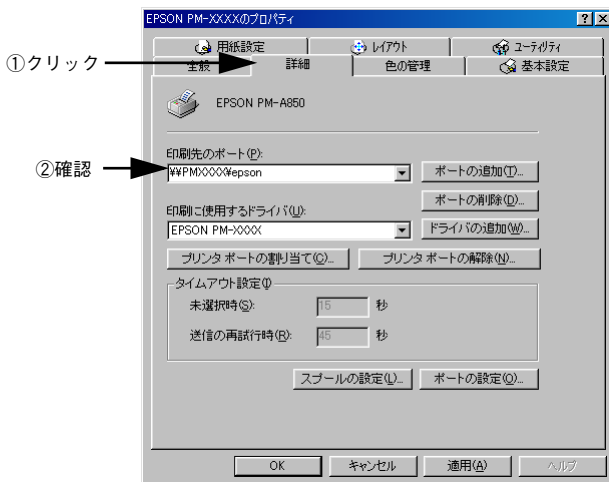
ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows 2000/XP/Sever 2003 でお使いの場合にのみ行ってください。

1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックして、［印刷先のポート］を確認します。

ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

☞ 205 ページ「NET USE コマンドの実行（サービスの確認とコマンドの実行）」

以上で設定は終了です。

複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）を使う場合は、以下のページへ進んでください。

☞ 110 ページ「6. EPSON Scan の インストールと設定」

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

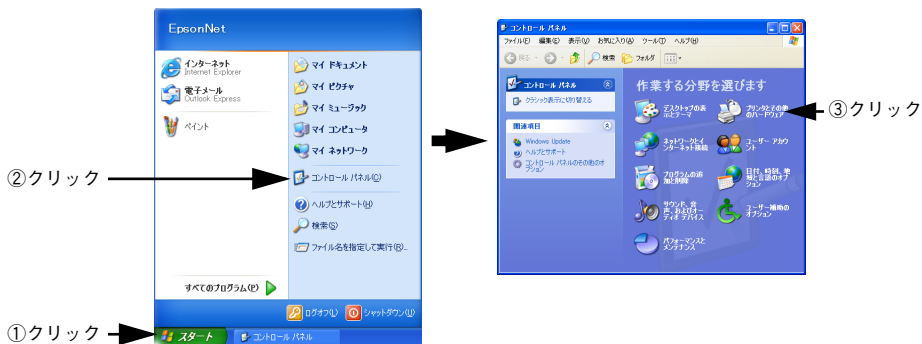
印刷方法に応じて以下の参照ページに記載の設定を行った後、プリンタドライバをセットアップしてください。

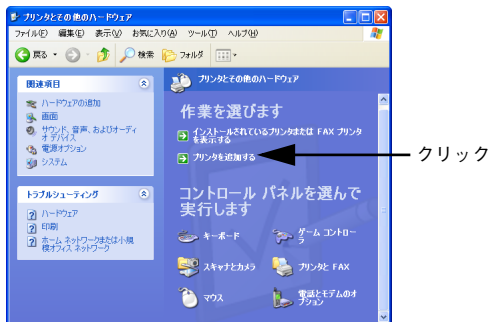
207 ページ「LPR 印刷の場合」
210 ページ「IPP 印刷の場合」
212 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」

本製品の IP アドレスが DHCP 機能で自動取得するように設定されているときは、Windows 標準 LPR では本製品の IP アドレスを自動追従できません。

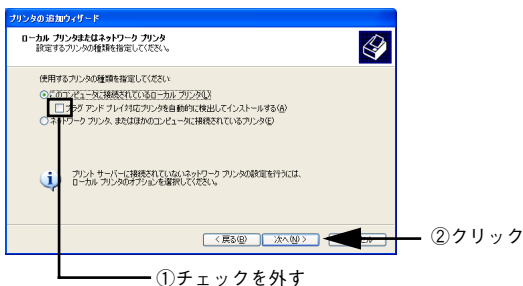
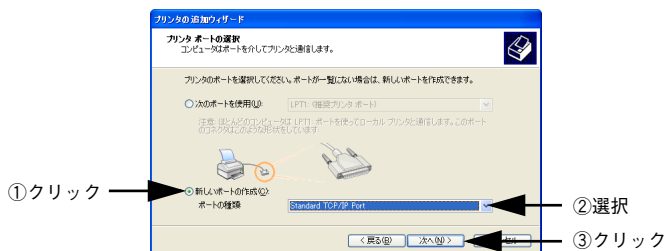
LPR 印刷の場合

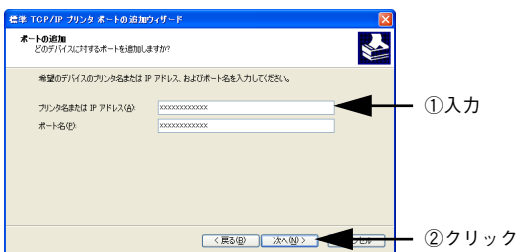
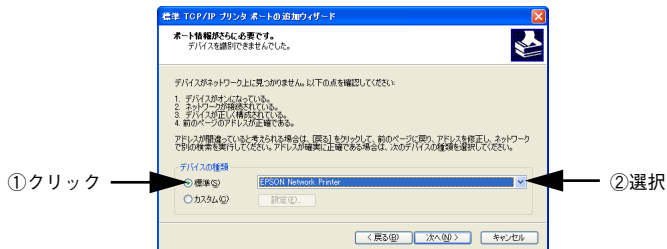
1 ［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］画面が起動します。

3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

5 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［プリンタ名または IP アドレス］項目に本製品の IP アドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

参考　何らかの理由でプリンタが正しく検出できなかった場合は、下の画面が表示されます。この画面が表示されたら［標準］を選択し、［EPSON Network Printer］を選択します。

7 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

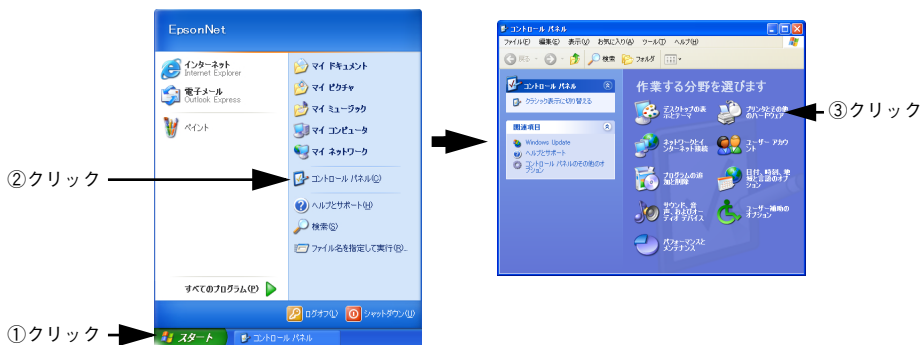
8 この後は以下のページに進んでください。

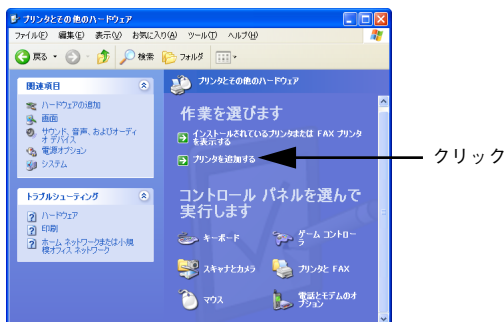
215 ページ「プリンタドライバのインストール」

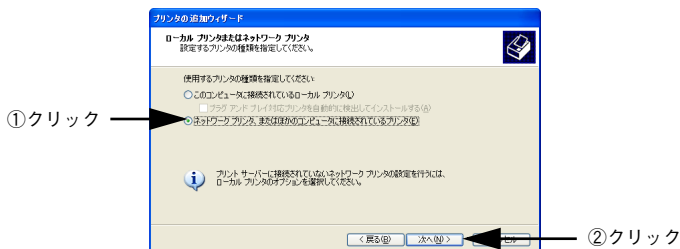
IPP 印刷の場合

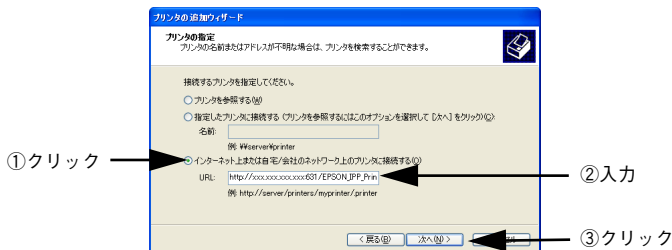
1 **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックし、［コントロールパネル］画面で［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 **［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 **［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。本製品の URL を次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択します。本製品の URL を次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

書式）http:// 本製品の IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。本製品の設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。

219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

5 **次の画面が表示された場合は、［OK］ボタンをクリックします。**

<例>

上の画面が表示されなかった場合は、この後、画面の指示に従って設定してください。

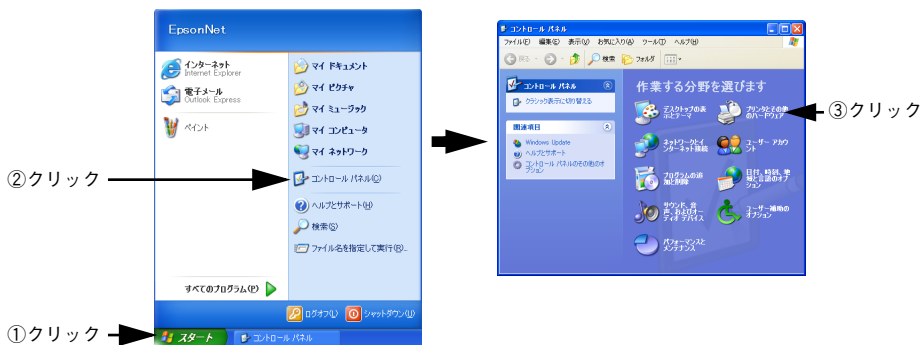
6 **この後は以下のページに進んでください。**

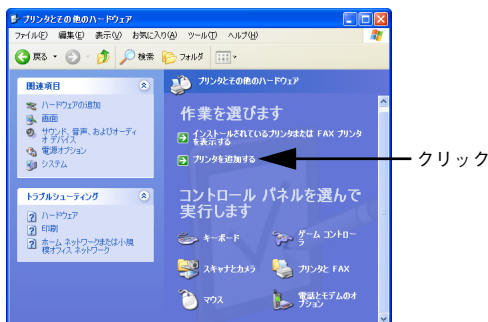
215 ページ「プリンタドライバのインストール」

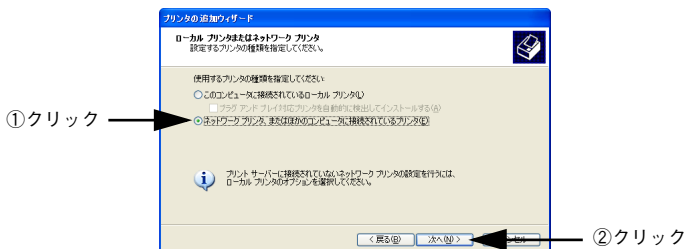
Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

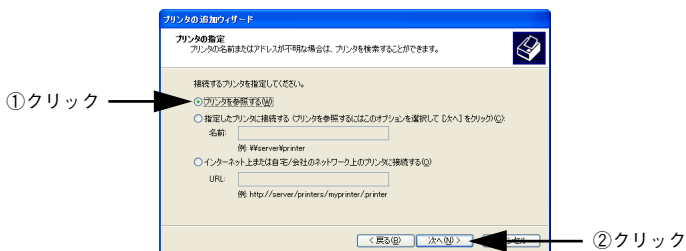
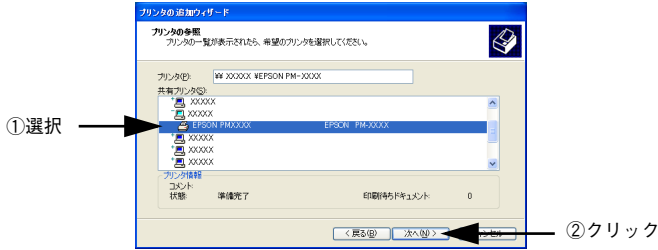
1 **[スタート] ボタン - [コントロールパネル] の順にクリックし、[コントロールパネル] 画面で [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、[スタート] ボタン - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタン - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。

2 **[プリンタを追加する] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。

3 **［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 **［プリンタを参照する］または［指定したプリンタに接続する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows 2000の場合は、［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

5 リストからプリンタを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

参考

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、[プリンタ] 欄に次のように入力します。
  ¥¥（本製品のプリントサーバ名）¥（本製品の共有名）これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認してください。
  219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由 - パブリックアクセスプリンタの場合
  [Ndps パブリックアクセスプリンター] というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由 - コントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

6 次の画面が表示された場合は、[OK] ボタンをクリックします。

上の画面が表示されなかった場合は、216 ページの手順 8 に進んでください。

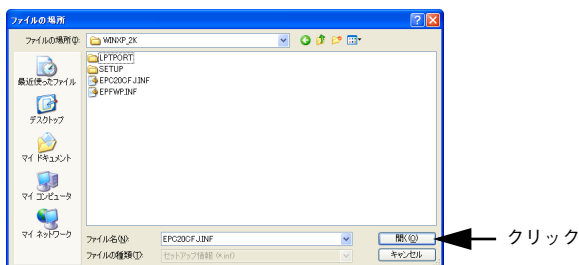
プリンタドライバのインストール

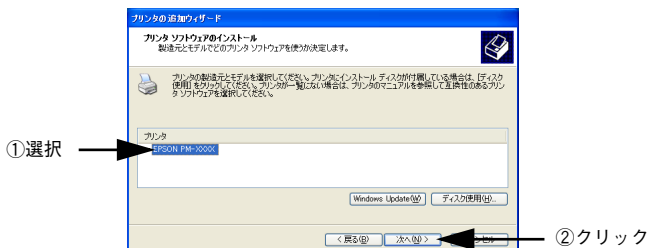
1. コンピュータに、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
   セットする CD-ROM は、本製品に接続しているデバイスのタイプに合わせて、インクジェット版／レーザー版のどちらかを選んでください。

2. 画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. ［プリンタの追加ウィザード］画面で［ディスク使用］ボタンをクリックします。

4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5. CD-ROM ドライブの［MODEL］フォルダ内より、該当するデバイス名フォルダ内の［WINXP_2K］フォルダをダブルクリックし、［開く］ボタンをクリックます。

6. ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7. プリンタの一覧からお使いの機種名を選択し、［次へ］または［OK］ボタンをクリックします。

8 **この後は、画面の指示に従って設定してください。**

［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示されたときは、［はい］ボタンをクリックしてください。

参考	プリンタをネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。 クライアントがプリンタを利用するときに必要です。

これでインストールは終了です。なおインクジェットプリンタ／複合機の場合は、以下の操作をして CD-ROM 内のファイルをインストールしてください。

- ［APPS］フォルダ - ［Updater］フォルダ - ［WINXP_2K］フォルダをクリックし、［UPDATE］アイコンをダブルクリック。
- ［APPS］フォルダ - ［AddNet］フォルダをクリックし、［setup］アイコンをダブルクリック。

注意	• 上記操作を実行しないと、プリンタドライバのユーティリティ機能の一部が正常に動作しない場合があります。 • レーザープリンタの場合は、上記の操作を実行する必要はありません。

Windows 2000/XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。

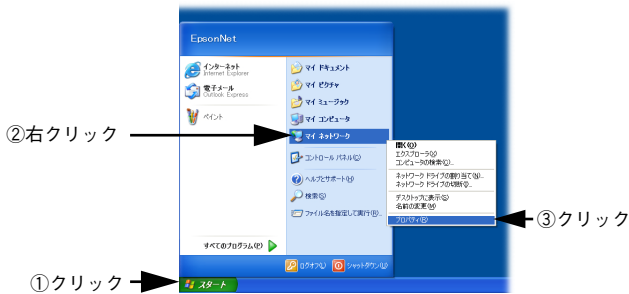
☞ 217 ページ「NET USE コマンドの実行（サービスの確認とコマンドの実行）」

複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）またはネットワークストレージを使う場合は以下のページへ進んでください。

☞ 110 ページ「6. EPSON Scan の インストールと設定」
☞ 120 ページ「7. ネットワークストレージの設定」

NET USE コマンドの実行（サービスの確認とコマンドの実行）

Windows 2000/XP/Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

1. **［スタート］ボタンをクリックして、［マイネットワーク］を右クリックし［プロパティ］をクリックします。**
   Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン - ［コントロールパネル］- ［ネットワーク接続］の順にクリックします。
   Windows 2000 の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

2. **［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

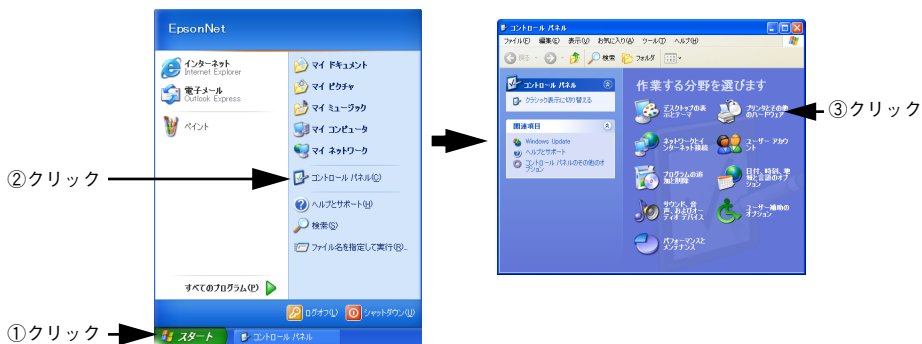
3. **表示された画面で、［Microsoftネットワーク用クライアント］があることを確認します。**
   ［Microsoft ネットワーク用クライアント］がない場合は、［インストール］ボタンをクリックして追加してください。

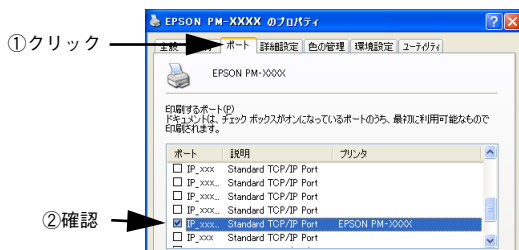
4. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**
   書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ 本製品のプリントサーバ名
   　　　　¥ 本製品の共有名（_ は半角スペース）
   例）　　LPT1 に設定する場合
   　　　　C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は以下のページに進んでください。
☞ 218 ページ「ポートの確認（MS Network）」

ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows 2000/XP/Server 2003 でお使いの場合にのみ、行ってください。

1 **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］の順にクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタとFAX］をクリックします。**
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

3 **［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを確認します。**
ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。
☞ 217 ページ「NET USE コマンドの実行（サービスの確認とコマンドの実行）」

以下で設定は終了です。

複合機のスキャナ機能（EPSON Scan）またはネットワークストレージを使う場合は以下のページへ進んでください。
☞ 110 ページ「6．EPSON Scan の インストールと設定」
☞ 120 ページ「7．ネットワークストレージの設定」

ネットワークステータスシート

ネットワークステータスシートを印刷すると、本製品の設定の状況を確認することができます。ネットワークステータスシートには無線に関する設定情報や MAC アドレス、IP アドレスなどの情報が記載されています。

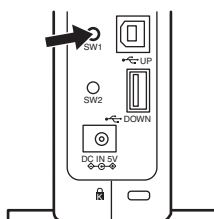
ネットワークステータスシートの印刷

本製品が印刷するネットワークステータスシートには簡易ステータスシート（1 枚）とフルステータスシート（3 枚）の二種類あります。ネットワークステータスシートは、本製品背面の［SW1］ボタンを押すと印刷することができます。

注 意	電源オン直後の本製品は、しばらくの間、初期化動作を行います（初期化動作中は USB ランプが緑点滅します）。初期化動作中にネットワークステータスシートの印刷を実行すると、本製品の設定内容を正しく印刷できないことがあります。初期動作以外であることを確認してから印刷を実行してください。

1. **本製品とデバイスが USB ケーブルで接続され、どちらも電源がオンになっていることを確認します。**

2. **デバイスに用紙がセットされ、印刷が可能であることを確認します。**

3. **本製品の［SW1］ボタンを押します。**

簡易ステータスシートを印刷する場合

［SW1］ボタンを 1 回押すと、ネットワークステータスシート（簡易ステータスシート）が 1 枚印刷されます。

フルステータスシートを印刷する場合

［SW1］ボタンを素早く 2 回押すと、ネットワークステータスシート（フルステータスシート）が 3 枚印刷されます。

ネットワークステータスシートの詳しい内容につては、以下のページをご覧ください。

☞ 220 ページ「ネットワークステータスシートの印刷例」

ネットワークステータスシートの印刷例

参考　ネットワークステータスシートは、簡易ステータスシート（1 枚）とフルステータスシート（3 枚）の二種類があります。

簡易ステータスシート（初期値）

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (1/1) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                       EPSON Wireless 802.11b/g Print Server
Serial Number                   000048XXXXXX
MAC Address                     00:00:48:XX:XX:XX
Hardware                        XX.XX
Software                        XX.XX
IEEE802.11b/g                   H/W:X.X.X, S/W:X.X.X, Domain:41H
Printer Model                   PM-XXXX

<Wireless>
Communication Mode              Infrastructure (Standby)
Operation Mode                  IEEE 802.11b/g
SSID                            EpsonNetAP
Channel                         8
Transmission Rate               (NONE)
Security Level                  NONE
WEP Authentication Method       Auto (Open System)
Link Status                     Disconnect
Access Point (MAC Address)      (NONE)

<TCP/IP>
Get IP Address                  Auto
IP Address                      XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask                     XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway                 XXX.XXX.XXX.XXX

<MS Network(R)>                 Enable
Host Name                       (NONE)
Workgroup Name                  WORKGROUP
Printer Share Name              PRINTER
File Share Name                 (NONE)

<AppleTalk(R)>                  Enable
Printer Name                    (NONE)
Zone Name                       *
Network Number Set              Auto
Network Number                  65534
Node ID                         132

<Netware(R)>                    Enable
Network Address                 (NONE)
Primary Frame Type              (NONE)
Mode                            Standby
Print Server Name               (NONE)
NDS Tree                        (NONE)
NDS Context                     (NONE)
Primary File Server Name        (NONE)
Primary Print Server Name       (NONE)
Printer Port Number             (NONE)

<IPP>
IPP URL                         (NONE)
Printer Name                    EPSON_IPP_Printer

<Scanner>                       Enable

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EEPW2 HH
```

フルステータスシート（初期値）

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (1/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                       Epson Wireless 802.11b/g Print Server
Serial Number                   XXXXXXXXXXXX
MAC Address                     XX:XX:XX:XX:XX:XX
Hardware                        XX.XX
Software                        XX.XX
IEEE802.11b/g Hardware          XXXXXXXX
IEEE802.11b/g Software          XXXXXXXX
Regulatory Domain               XXH
Printer Model                   XXXXXXXX
Time                            XXXX-XX-XX XX:XX:XX GMT+/:XX:XX

<Wireless>
Communication Mode              Infrastructure(Standby)
Operation Mode                  IEEE 802.11b/g
SSID                            EpsonNetAP
Channel                         8
Transmission Rate               (NONE)
Security Level                  NONE
WEP Authentication Method       Auto (Open System)
Active WEP Key ID               (NONE)
RTS/CTS Handshake control       (NONE)
RTS/CTS Threshold Value         (NONE)
RTS/CTS Threshold               XXXX
Roaming Function                (NONE)
AP Density                      (NONE)
Fragment Threshold              (NONE)
Fragment Threshold Value        (NONE)

Link Status                     (NONE)
Access Point(MAC Address)       (NONE)
Signal Level                    (NONE)
Noise Level                     (NONE)
SSID List                       (MAC Address),(Channel),(E:ESSID or I:IBSSID),SSID,ON/OFF
                                (MAC Address),(Channel),(E:ESSID or I:IBSSID),SSID,ON/OFF
                                (MAC Address),(Channel),(E:ESSID or I:IBSSID),SSID,ON/OFF
                                    .
                                    .
                                    .

STA List                        (MAC Address),(Rate),(Signal),(Noise)
                                (MAC Address),(Rate),(Signal),(Noise)
                                (MAC Address),(Rate),(Signal),(Noise)
                                    .
                                    .
                                    .
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EEPW2 HH
```

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (2/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<TCP/IP>
Get IP Address                Auto
IP Address                    XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask                   XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway               XXX.XXX.XXX.XXX
APIPA                         Disable
Set using PING                Enable
Acquisition way of DNS ADDR   Disable
DNS Server Address            XXX.XXX.XXX.XXX
                              XXX.XXX.XXX.XXX
                              XXX.XXX.XXX.XXX
Acquire Host/Domain Name      Disable
Host Name                     XXXXXXXX
Domain Name                   XXXXXXXX
Register the NW I/F to DNS    Disable
  Register directly to DNS    Disable
Universal Plug and Play       Disable
  Device Name                 XXXXXXXX
Rendezvous                    Disable
  Rendezvous Name             XXXXXXXX
  Rendezvous Printer Name     XXXXXXXX
  Rendezvous Service          XXXXXXXX

<SNMP>
Read Community                public
IP Trap 1                     Disable
IP Trap Address 1             XXX.XXX.XXX.XXX
IP Trap Community 1           XXXXXXXX
IP Trap Port 1                XXX
IP Trap 2                     Disable
IP Trap Address 2             XXX.XXX.XXX.XXX
IP Trap Community 2           XXXXXXXX
IP Trap Port 2                XXX
IP Trap 3                     Disable
IP Trap Address 3             XXX.XXX.XXX.XXX
IP Trap Community 3           XXXXXXXX
IP Trap Port 3                XXX
IP Trap 4                     Disable
IP Trap Address 4             XXX.XXX.XXX.XXX
IP Trap Community 4           XXXXXXXX
IP Trap Port 4                XXX
IPX Trap 1                    Disable
IPX Trap Address 1            XXXXXXXX:XXXXXXXXXXXX
IPX Trap Community 1          XXXXXXXX
IPX Trap Socket 1             XXXX
IPX Trap 2                    Disable
IPX Trap Address 2            XXXXXXXX:XXXXXXXXXXXX
IPX Trap Community 2          XXXXXXXX
IPX Trap Socket 2             XXXX
IPX Trap 3                    Disable
IPX Trap Address 3            XXXXXXXX:XXXXXXXXXXXX
IPX Trap Community 3          XXXXXXXX
IPX Trap Socket 3             XXXX
IPX Trap 4                    Disable
IPX Trap Address 4            XXXXXXXX:XXXXXXXXXXXX
IPX Trap Community 4          XXXXXXXX
IPX Trap Socket 4             XXXX
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EEPW2 HH
```

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (3/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<MS Network(R)>              Enable
Host Name                    XXXXXXXX
Workgroup Name               WORKGROUP
Printer Share Name           PRINTER
File Share Name              (NONE)

<AppleTalk(R)>               Enable
Printer Name                 XXXXXXXX
Zone Name                    *
Network Number Set           Auto
Network Number               65534
Node ID                      132
Entity Type #1               EPSONLQ2J

<NetWare(R)>                 Enable
Network Address              XXXXXXXX
Primary Frame Type           XXXXXXXX
Mode                         Standby
Print Server Name            XXXXXXXX
Polling Interval             XXX
NDS Tree                     XXXXXXXX
NDS Context                  XXXXXXXX
Primary File Server Name     XXXXXXXX
Primary Print Server Name    XXXXXXXX
Printer Port Number          XXX

<IPP>
IPP URL                      XXXXXXXX
Printer Name                 EPSON_IPP_Printer
Location                     XXXXXXXX

<Time>
Time Server                  Disable
Time Server Address          XXX.XXX.XXX.XXX/FQDN
Synchronize Interval         XXXXXXXX
Time Difference(GMT+/-HH:MM) GMT+/-HH:MM
Time Server Status           Invalid

<Scanner>                    Enable

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EEPW2 HH
```

本製品の工場出荷時への戻し方

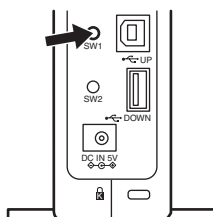
次の場合は、本製品を工場出荷時の状態に戻してください。

- 本製品に誤った設定をしたとき
- 本製品が誤動作して、本製品が設定ユーティリティに表示されなくなったとき

参考
本製品を工場出荷時の状態に戻すと、有線／無線を問わず、すべての同一ネットワーク上のコンピュータが接続できなくなります。接続する際には再度、USB ケーブルで直接接続するか、SSID を EpsonNet AP に設定して簡易 AP モードで接続して、無線に関する設定を行う必要があります。

1 本製品から AC アダプタを抜きます。

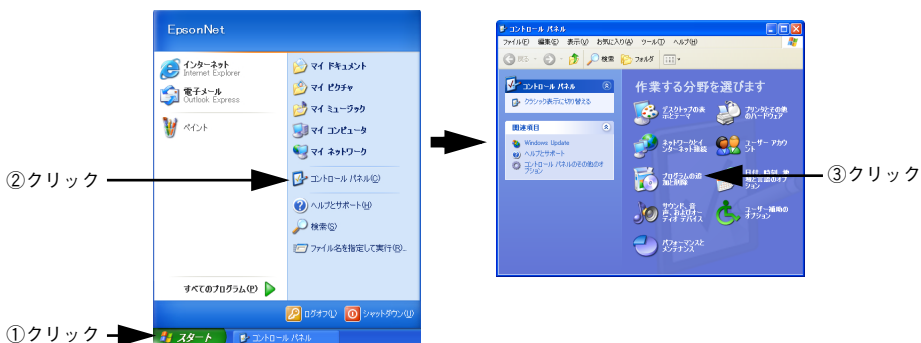
2 背面の［SW1］ボタンを押しながら、AC アダプタを差し込みます。

AC アダプタを差し込んでから約 20 秒間、［SW1］ボタンを押し続けてください。

ユーティリティの削除方法

ユーティリティの削除方法を説明します。

Windows 用ユーティリティ

1 **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックして、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 98SE/Me/2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 **削除したいユーティリティを選択して、［変更と削除］ボタンをクリックします。**

Windows 98SE/Me の場合は、［追加と削除］ボタンをクリックします。
この後は、画面の指示に従ってください。

Macintosh 用ユーティリティ

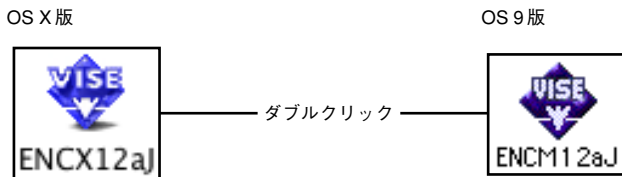
参 考	Mac OS X の場合、EpsonNet Config（Mac OS X）を削除するには管理者権限をもつユーザーでログインする必要があります。

EpsonNet Config（Mac OS 9 および Mac OS X）の削除方法を説明します。

1. **Macintosh に、本製品付属の「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM」をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**
   セットする CD-ROM はインクジェット版／レーザー版のどちらでも構いません。また、Mac OS 9 の場合は、Macintosh に CD-ROM をセットして次へ進みます。

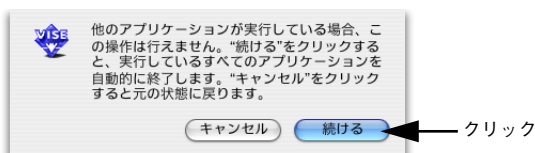
2. **［Mac OS X 用ソフトウェア］フォルダをダブルクリックして開き、［EpsonNet ソフトウェア］フォルダをダブルクリックして、［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。**
   Mac OS 9 の場合は、［EpsonNet ソフトウェア］フォルダをダブルクリックします。

<< インストーラ >>
お使いのOS用のｱｲｺﾝを
ﾀﾞﾌﾞﾙｸﾘｯｸしてください

3 ［ENCX12aj］アイコンをダブルクリックします。［認証］画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
Mac OS 9 の場合は、［ENCM12aj］アイコンをダブルクリックします。

4 表示された画面で［続ける...］ボタンをクリックします。

5 ［ライセンス］画面の使用許諾内容を確認し、［同意］ボタンをクリックします。

6 画面上部のリストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］ボタンをクリックします。

7 ［続ける］ボタンをクリックします。

8 この後は、画面の指示に従ってアンインストールします。

9 ［終了］ボタンをクリックします。

PING コマンドによる通信確認方法

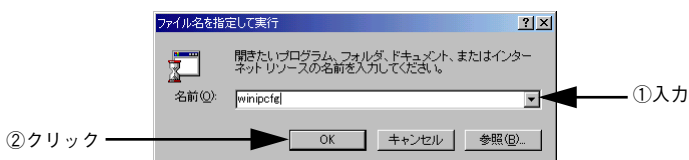
TCP/IP ネットワーク環境で、コンピュータに設定された IP アドレスと本製品に設定した IP アドレスを確認してから、コンピュータと本製品の通信ができているか確認します。

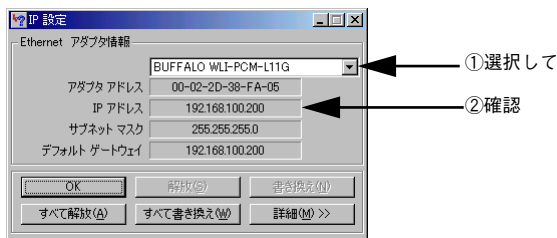
☞ 228 ページ「Windows 98SE/Me の場合」
☞ 230 ページ「Windows 2000/XP の場合」
☞ 232 ページ「Mac OS X の場合」

Windows 98SE/Me の場合

Windows 98SE の画面を例に説明します。

1 **［スタート］ボタン－［ファイル名を指定して実行］の順にクリックします。**

2 **［名前］欄に［winipcfg］と入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

3 **IP アドレス欄を確認します。**

コンピュータにネットワークインターフェイスカードが複数ある場合は、ご使用の無線 LAN カードを選択してください。

4 **IP アドレスの確認ができたら、［OK］ボタンをクリックします。**

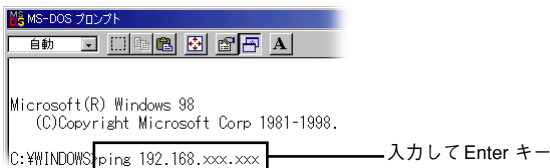
5 **本製品の IP アドレスを確認します。**

IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。

☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

6 **［スタート］ボタン－［プログラム］－［MS-DOS プロンプト］の順にクリックします。**

Windows Me では、［スタート］ボタン－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOS プロンプト］の順にクリックします。

7. キーボードから［ping］スペース［本製品のIP アドレス］を入力して、［Enter］キーで実行します。

8. 通信が取れている場合は、図 1 のように［Reply form 本製品の IP アドレス］が表示されます。通信が取れていない場合は画面に［Destination host unreachable］や、図 2 のように［Request timed out］が表示されます。通信が取れていない場合は、各機器のネットワーク設定を確認してください。

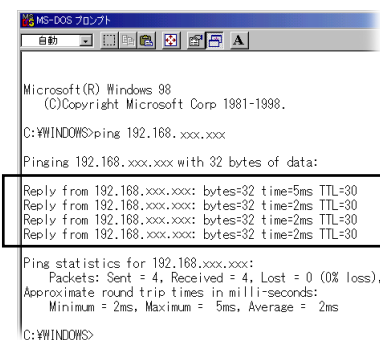
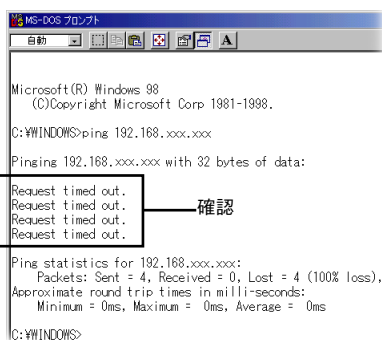
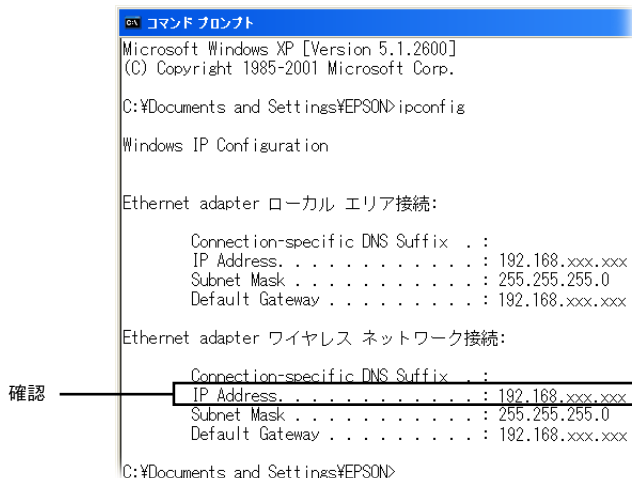



図 1　図 2

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Windows 2000/XP の場合

1. **［スタート］ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］の順にクリックします。**
   Windows 2000 の場合は、［スタート］ボタン－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

2. **キーボードから［ipconfig］と入力して、［Enter］キーで実行します。**

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥EPSON>ipconfig
```

入力して Enter キー

3. **IP アドレスを確認します。**
   以下の場合は、「Ethernet adapter　ワイヤレス ネットワーク接続」の「IP Address」を確認します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥EPSON>ipconfig

Windows IP Configuration


Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.xxx.xxx
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.xxx.xxx

Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.xxx.xxx
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.xxx.xxx

C:¥Documents and Settings¥EPSON>
```

確認

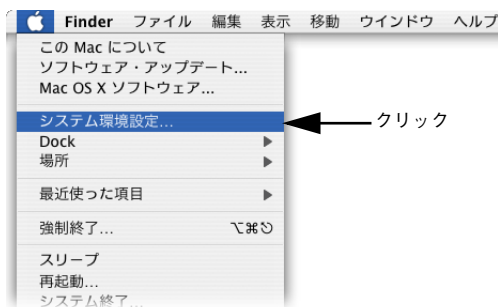
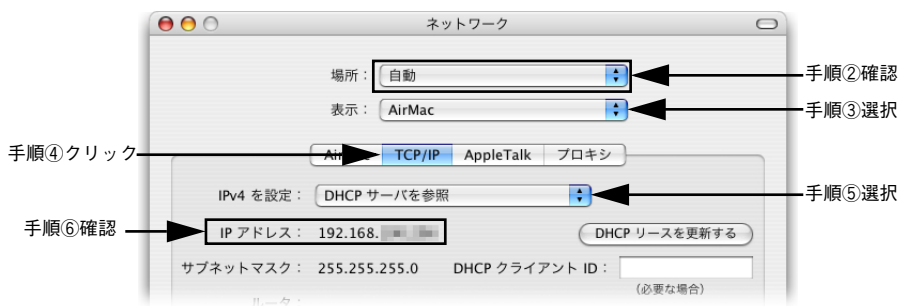
4. **本製品の IP アドレスを確認します。**
   IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
   ☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

5 キーボードから［ping］スペース［本製品のIP アドレス］を入力して、［Enter］キーで実行します。

6 通信が取れている場合は、図 1 のように［Reply form 本製品の IP アドレス］が表示されます。通信が取れていない場合は画面に［Destination host unreachable］や、図 2 のように［Request timed out］が表示されます。通信が取れていない場合は、各機器のネットワーク設定を確認してください。

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

Mac OS X の場合

1. ［アップル］メニュー－［システム環境設定］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをクリックして、［場所］リストで［自動］が選択されていることを確認します。

3. ［表示］リストから、［Air Mac］または［内蔵 Ethernet］を選択します。

4. ［TCP/IP］タブをクリックします。

5. ［IP v 4 を設定］リストから、ネットワーク環境に合わせ項目を選択します。
   DHCP サーバを使用している場合は［DHCP サーバを参照］を選択、IP アドレスを固定で使用している場合は［手入力］を選択します。

6. ［IP アドレス］を確認します。

7. ［Macintosh　HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［ネットワークユーティリティ］の順にダブルクリックします。

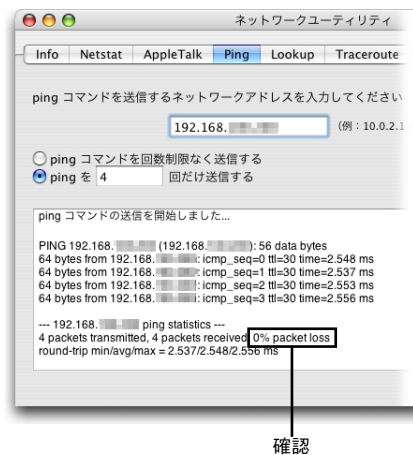
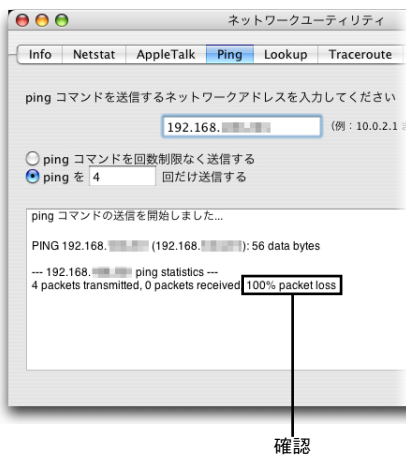
8 ［Ping］タブをクリックします。

9 ネットワークアドレス入力欄に本製品の IP アドレスを入力します。

本製品の IP アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。

☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

10 ［Ping］ボタンをクリックします。

11 通信が取れている場合は、送信した信号がすべて返信されるため、図1 のように［0% packet loss］が表示されます。通信が取れていない場合は、送信した信号がすべて返信されないため、図 2 のように［100% packet loss］が表示されます。通信が取れていない場合は、各機器のネットワーク設定を確認してください。

以上で PING コマンドによる通信確認方法は終了です。

ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定

ARP/PING コマンドから、本製品の IP アドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PING コマンドは、次の条件の両方を満たしたときに使えます。

- 設定に使うコンピュータが、本製品と同じセグメントにあるとき
- Windows に TCP/IP が正常に組み込まれ、設定されている場合

本製品の IP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合を例に説明します。

ゲートウェイアドレスの設定

設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

1 ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、そのサーバやルータのアドレスを設定します。

ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータの IP アドレスをゲートウェイアドレスに設定します。

☞ 28 ページ「3．コンピュータの ネットワーク設定」

2 ネットワークに接続した本製品の電源を入れて、［コマンドプロンプト］を起動してください。

Windows 98SE/Me の場合は、［MS-DOS プロンプト］を起動してください。

3 同一セグメント内の動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあれば、それらに対して PING コマンドを実行します。設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、PING コマンドを実行してください。

書式）　ping_ 最寄りのコンピュータなどの IP アドレス（_ は半角スペース）
例）　　IP アドレス 192.168.100.101 のコンピュータがある場合
　　　　C:¥>ping_192.168.100.101

PING コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。

④ arp コマンドを実行して、本製品に設定したい IP アドレスを、本製品の MAC アドレスと関連付けます。

> **参考**
> - IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。
> - MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
>
> ☞219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

書式）　arp_-s_ 本製品に設定したい IP アドレス _ 本製品の MAC アドレス（_ は半角スペース）

例）　C:¥>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

⑤ ping コマンドを実行して、本製品の IP アドレスを設定します。

書式）　ping_ 手順 ④ で本製品に設定した IP アドレス
（_ は半角スペース）

例）　C:¥>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。

> **参考**
> - ここで「time out」などのメッセージが表示された場合、IP アドレスは正しく登録されていません。手順 ③ から、再度設定をしてください。
> - ping コマンドで IP アドレスを設定した場合、サブネットマスクは IP アドレスのクラスによって自動的に変更されます。ネットワーク環境に合わせてサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを変更する場合は、EpsonNet Config（Windows）から設定してください。設定方法については、EpsonNet Config（Windows）のヘルプをご覧ください。

⑥ ネットワークステータスシートを印刷します。

ネットワークステータスシートに、本製品に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

☞ 219 ページ「付録・ネットワークステータスシート」

ダイヤルアップルータおよびルータ機能付きアクセスポイント使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップルータおよびルータ機能付きアクセスポイントを使用・設定する場合の注意点を説明します。

DHCP 機能使用時の注意

DHCP 機能をお使いの場合、DHCP 機能で本製品に IP アドレスを設定すると、本製品の電源を入れるたびに、プリンタ（デバイス）ポートの設定を変更しなければなりません。
そこで、本製品をオフィスなどの大きな LAN で使用するときには、次のいずれかの方法で固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

方法 1：

本製品に、スコープ（クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲）の範囲外である IP アドレスを手動で設定する。
IP アドレスの設定は、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS 9 および Mac OS X）と EpsonNet Config（Web）で行えます。
53 ページ「4-4．EpsonNet Config のインストールと起動」
159 ページ「9．EpsonNet Config（Web）の使い方」

方法 2：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能のバインドを使用して、本製品を特定する。

方法 3：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能の除外アドレスを設定する。

参考

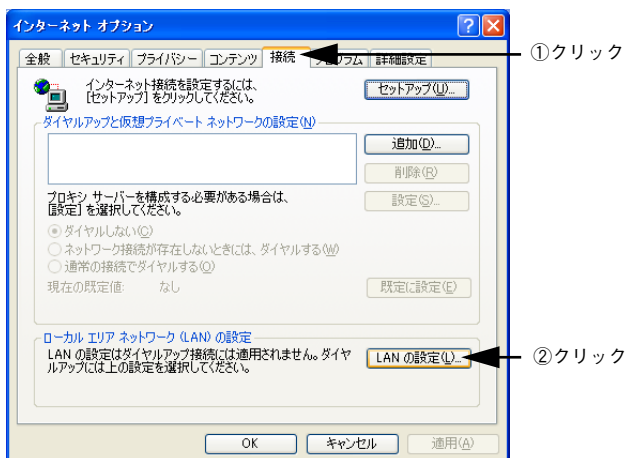
- Microsoft ネットワーク共有印刷の場合は、上記のような設定が不要のため、簡単な設定でプリンタを使用できます。
- DHCP 機能のスコープ範囲、バインド、除外アドレス設定方法などはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。
- ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、本製品には必ずそのセグメントの設定にあった IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

Web ブラウザの設定に関する注意

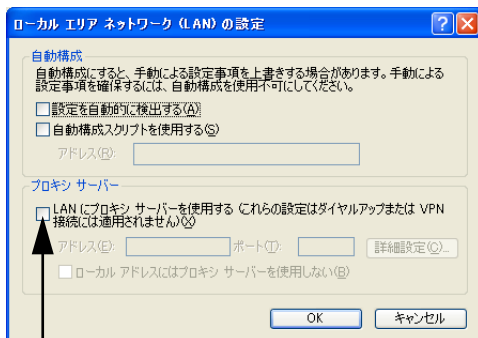
Web ブラウザでプロキシサーバーを使用する設定にしていると、EpsonNet Config（Web）を使用できません。EpsonNet Config（Web）を使う場合は、以下の手順に従ってプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
ここでは Windows XP 版の Internet Explorer 6.0 を例に説明します。

1. **Internet Explorer を起動します。**

2. **［ツール］メニューの［インターネットオプション］をクリックします。**
   Internet Explorer 4.0 の場合は、［表示］メニューの［インターネットオプション］をクリックします。

3. **［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］ボタンをクリックします。**
   Internet Explorer 4.0 の場合は、［接続］タブをクリックしたら手順 4 へ進みます。

4 [LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックボックスのチェックが付いている場合はチェックを外します。

Internet Explorer 5.x の場合は、[プロキシサーバーを使用する]のチェックボックスのチェックが付いている場合はチェックを外します。

Internet Explorer 4.0 の場合は、[プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス]のチェックボックスのチェックが付いている場合はチェックを外します。

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

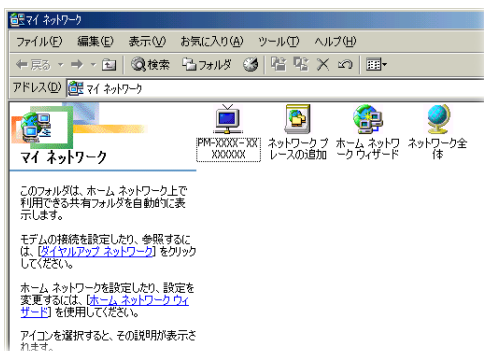
Windows Me 以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows から本製品に接続したデバイスを使う場合、次のような便利な機能が利用できます。
Windows Me でこれらの機能を使用する場合は、以下のページをご覧になり、[ユニバーサル プラグ アンド プレイ] をインストールしてください。
☞ 241 ページ「ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール」

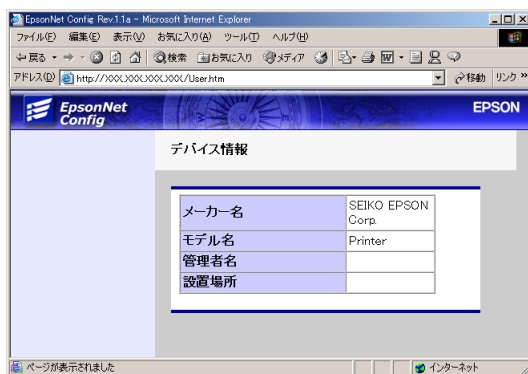
> **参考**
> ユニバーサルプラグアンドプレイ機能は、初期設定では off になっています。使用するには、EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）から設定してください。
> ☞ 166 ページ「本製品の TCP/IP 設定」

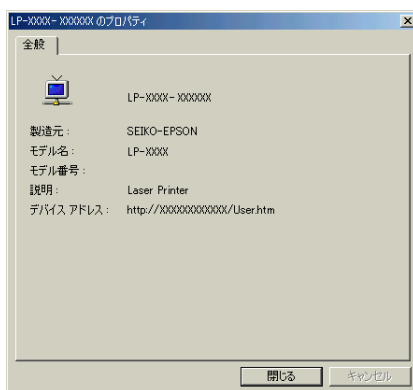
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

Windows Me で利用できる機能を例に説明します。

デバイスアイコンの自動表示

本製品をネットワークに接続するだけで、[マイネットワーク] にデバイスアイコンが表示されます。

デバイス情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンをダブルクリックすると、デバイスの簡易情報が表示されます。
デバイスの簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、Windows に標準で組み込まれているものをお使いいただけます。
☞ 160 ページ「9-1．EpsonNet Config（Web）の概要」

本製品情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、本製品の簡易情報（IP アドレスなど）を確認できます。

IP アドレスの自動設定

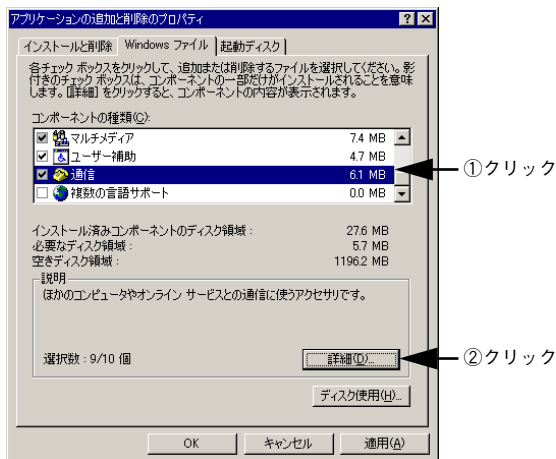
セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、本製品の IP アドレスが自動的に設定される）ため、本製品の IP アドレス設定が不要です。
ただし、TCP/IP 印刷をする場合は、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。
☞ 64 ページ「TCP/IP の設定」

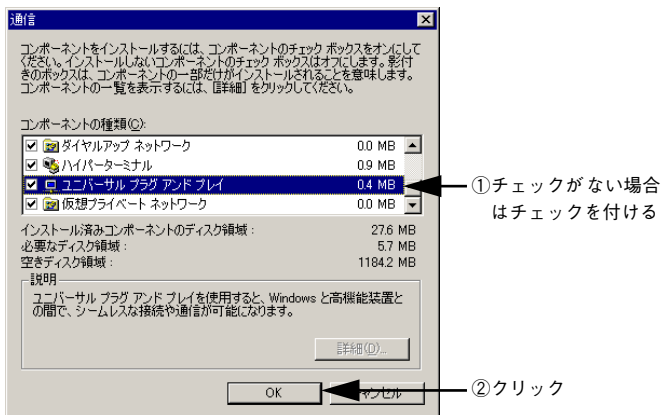
ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール

Windows Me をお使いの場合は、次の手順でインストールします。

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2. ［Windows ファイル］タブをクリックします。

3. ［コンポーネントの種類］一覧の［通信］をクリックし、［詳細］ボタンをクリックします。

4. ［ユニバーサル プラグ アンド プレイ］チェックボックスがチェックされていない場合は、チェックして、［OK］ボタンをクリックします。

チェックされている場合はインストール済みですので、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

5 ［コンポーネントの種類］一覧で、［OK］ボタンをクリックします。インストールが始まります。

6 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

参 考	WindowsをCD-ROMからセットアップした場合は、そのCD-ROMをコンピュータに挿入するように求めるメッセージが表示されます。

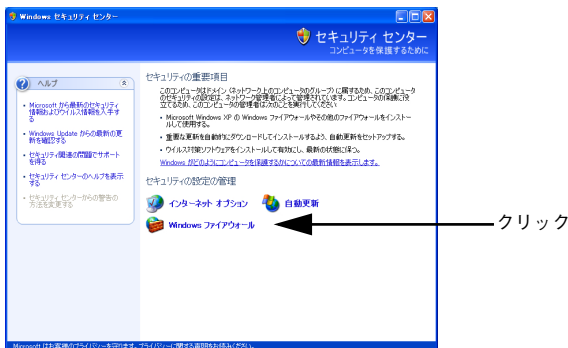
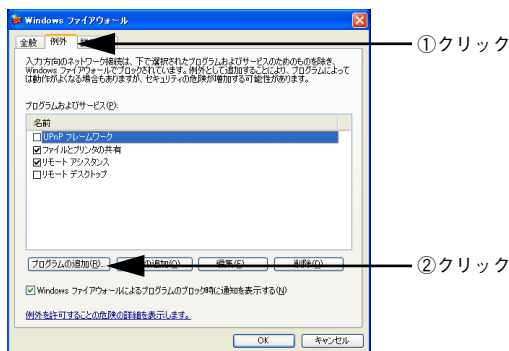
Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法

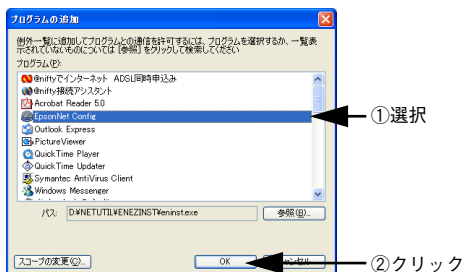
EpsonNet Config（Windows）およびEpsonNet EasyInstall（Windows）で設定中に［ブロックする］ボタンを選択した場合は、各設定ツールの画面上に本製品が表示されないため、設定を続けることができません。
以下の説明に従って、「Windows ファイアウォールの例外アプリケーション」として設定ツールを登録してください。

注意　Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

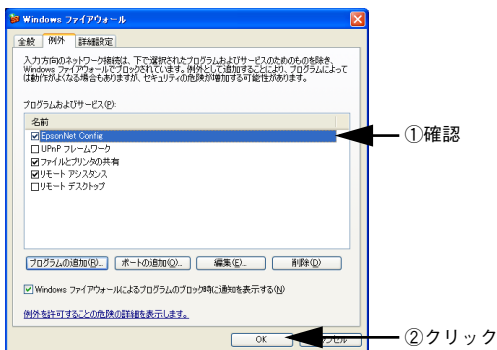
1. ［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックします。

2. ［セキュリティセンター］をクリックします。

3 ［Windows ファイアウォール］をクリックします。

4 ［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。

5 ［EpsonNet Config］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

参 考	EpsonNet EasyInstall （Windows）を登録する場合は、「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM（インクジェット版／レーザー版のいずれか）」内の［EpsonNetEasyInstall.exe］を選択する必要があります。「EPSON PA-W11G ソフトウェア CD-ROM（インクジェット版／レーザー版のいずれか）」をコンピュータにセットして［参照］ボタンをクリックしてください。

6 ［EpsonNet Config］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックボックスにチェックが付いていることを確認したら、［OK］ボタンをクリックします。

参考

EpsonNet EasyInstall（Windows）の場合は、［EpsonNet EasyInstall.exe］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックボックスにチェックが付いていることを確認したら、［OK］ボタンをクリックします。

以上で登録作業は終了です。

参考

Windows 共有プリンタ接続でお使いの場合
「Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境において、本製品を Windows で共有接続して使用している場合、EPSON プリンタウィンドウ！3（プリンタ監視ユーティリティ）から利用できる機能に制限が発生することがあります。
制限事項と回避方法の詳細に関しては、エプソンのホームページをご覧ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/

EPSON プリンタウィンドウの制限

本製品にプリンタ／複合機を接続して無線LAN 環境で使用する場合と、プリンタ／複合機とコンピュータを直接接続して使用する場合とで、「EPSONプリンタウィンドウ」の動作が以下のように異なります。

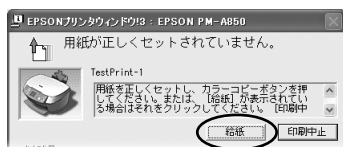
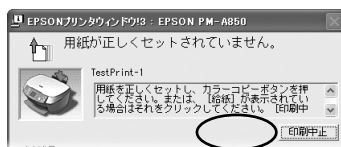
インクジェットプリンタ／複合機の場合

ここでは、Windows XP と PM-A850 の画面を例に説明します。なお、その他のWindows および Mac OS でも、画面の表示内容は同様です。

注 意　インクジェットプリンタ／複合機とコンピュータを直接接続していてもプリンタを共有設定している場合は、本製品に直接接続したとき（無線 LAN 接続）と同様の動作制限があります。

紙なし／紙詰まり時のエラー解除

紙なし／紙詰まりが発生したとき、直接接続しているときは画面上に［給紙］または［排紙］ボタンが表示されますが、無線 LAN 接続しているときは、これらのボタンが表示されません。画面の指示に従ってエラーに対処してください。

直接接続しているとき（ローカル接続時）

本製品を介しているとき（無線 LAN 接続時）

カートリッジ情報

本製品を介して（無線 LAN 接続）使用しているときは、「EPSON プリンタウィンドウ」に表示される［カートリッジ情報］ボタンをクリックしても、すべての情報が「不明」と表示され、各種情報が表示されません。

印刷可能枚数

［インク残量］が半分に満たないインクがある場合、直接接続しているときは「EPSONプリンタウィンドウ」に残りの印刷可能枚数を表示しますが、本製品を介して（無線LAN 接続）使用しているときは、残りの印刷可能枚数が表示されません。

直接接続しているとき（ローカル接続時）

本製品を介しているとき（無線LAN 接続時）

インクカートリッジ交換ユーティリティ

いずれかのインクがなくなったとき、直接接続しているときは［インクカートリッジ交換ユーティリティ］画面の［OK］ボタンをクリックすることで、プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置まで自動で移動しますが、本製品を介して（無線LAN 接続）使用しているときは、インクジェットプリンタ／複合機の操作パネルを操作してプリントヘッドを交換位置まで移動させます。［インクカートリッジ交換ウィンドウ］画面に表示される指示に従って、インクカートリッジを交換してください。

直接接続しているとき（ローカル接続時）

本製品を介しているとき（無線 LAN 接続時）

プリンタエラー状態での印刷中止

プリンタエラーを伝える画面（前項目の「紙なし／紙詰まり時のエラー解除」の画面など）が表示されたときや直接接続しているときは、表示画面上の［印刷中止］ボタンをクリックすることで印刷を中止できますが、本製品を介して（無線LAN接続）使用しているときは、[印刷中止] ボタンをクリックしただけでは印刷を中止できません。詳しくは以下の手順 ❶ 〜 ❹ を参考にして印刷を中止してください（Mac OS の場合は手順 ❹ のみ、行ってください）。

❶ **「EPSON プリンタウィンドウ」に表示される内容に従って、エラー状態を解除してください。**

❷ **［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックして、印刷を中止したいプリンタアイコンをダブルクリックします。**

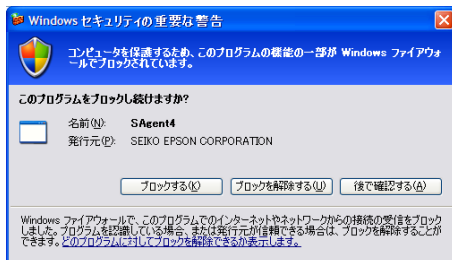
Windows 98SE/Me/2000 の場合は、［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックして、プリンタアイコンをダブルクリックします。

❸ **印刷データをクリックして、［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。**

Windows 98SE/Me の場合は、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］をクリックします。

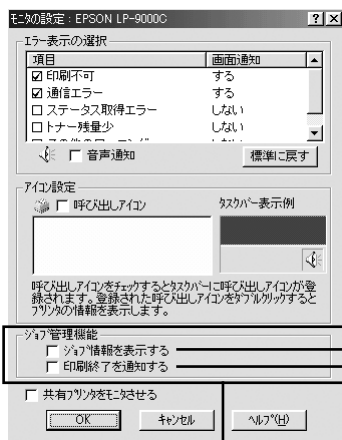
❹ **インクジェットプリンタ／複合機の電源をオフにし、しばらく経ってから電源をオンにします。**

Windows セキュリティの重要な警告

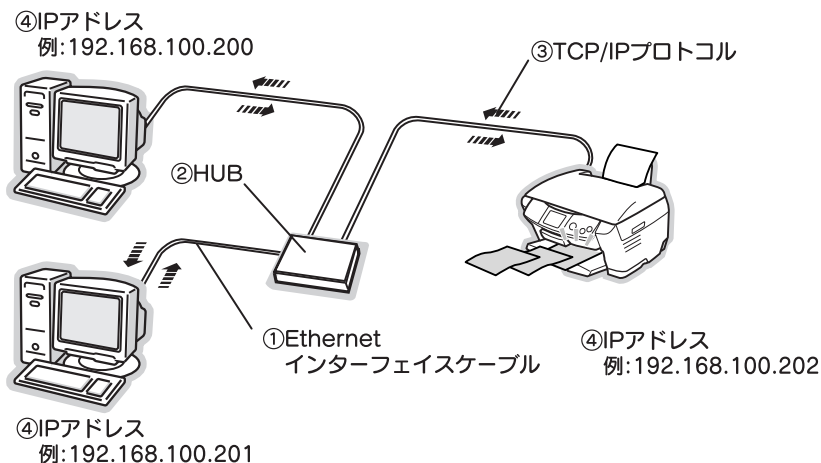
お使いの Windows によっては以下の警告が出る場合があります。その場合は［ブロックを解除する］ボタンをクリックしてください。

レーザープリンタの場合

> **参 考**　LP-7000C/9800C などの 2004 年以降に発売されたレーザープリンタおよび有線 LAN 接続時には、これらの制限はありません。

ジョブ管理機能が使用できない

本製品を介して使用（無線 LAN 接続）しているときは、「EPSON プリンタウィンドウ」の［モニタの設定］画面で［ジョブ管理機能］項目が表示されないため、［ジョブ情報］タブ、［印刷終了通知］画面が表示されません。

この項目が表示されないため、右のタブおよび画面が表示されません。

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

プリンタのネットワーク共有に必要なネットワーク環境について説明します。

① Ethernet（イーサネット）インターフェイスケーブル

市販のEthernet インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。Ethernet とはネットワークの規格のことで、ケーブルの接続の規格には 10Base と 100Base があります。

② HUB（ハブ）

Ethernet インターフェイスケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピュータやプリンタはHUB を介して接続します。

③ TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の一つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。Windows 環境で OS 標準 LPR または IPP 印刷および EpsonNet Print 、Mac OS X 環境で EPSON TCP/IP 印刷を選択した場合は、ネットワーク上のすべてのコンピュータに組み込む必要があります。

④ IP アドレス（アイピーアドレス）

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピュータをネットワーク上で使用するには、コンピュータ 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上のすべてのコンピュータやプリンタにIP アドレスを割り振る必要があります。
次ページでIP アドレスについて詳しく説明しています。

IP アドレスは何番に設定する？

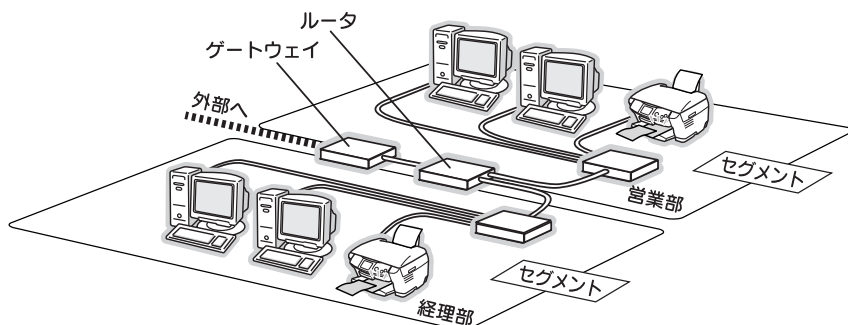
複数のコンピュータで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）を行う場合には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダ（通称 ISP）が代行します）。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、次の範囲のプライベートアドレスを使用できます。

プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

参考 本製品の工場出荷時の IP アドレスは［自動］に設定されています。

IP アドレスの割り振り方

IP アドレスをネットワーク上のコンピュータに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。
電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルータと呼ばれる中継器で分けます。

参考 ゲートウェイ・ルータとは
同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルータ、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルータによって分けられるエリアをセグメントと呼びます。

エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例：255.255.255.0）で表されます。

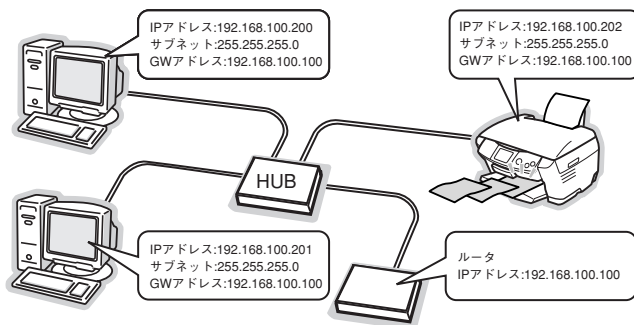
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスと言います）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。

＜例＞IP アドレスが「192.168.100.200」の場合

IP アドレス	192.168.100.	200
サブネットマスク	255.255.255.	0
	192.168.100 がエリアのアドレス	200 がエリア内のアドレス

プリンタを利用するコンピュータは、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスなどを設定する必要があります。以下を参考に設定してください。

IP アドレス	あるコンピュータは　192.168.100.200、他のコンピュータには 192.168.100.201、本製品には 192.168.100.202 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば、問題ありません。プリンタを利用するすべてのコンピュータで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバやルータのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

＜例＞

製品仕様

PA-W11G 仕様

無線仕様

準拠規格：　IEEE802.11b/IEEE802.11g
無線規格：　ARIB STD-T66、RCR STD-33
周波数範囲：　2.400GHz ～ 2.497GHz
チャンネル：　IEEE802.11b ：1 ～ 14ch
IEEE802.11g ：1 ～ 13ch
伝送方式：　DS-SS、OFDM
通信速度：　1、2、5.5、11Mbps モード（IEEE802.11b）
6、9、12、18、24、36、48、54Mbps モード（IEEE802.11g）
通信モード：　インフラストラクチャ / アドホック
伝送距離：　IEEE802.11b（11Mbps 時、見通し）　屋内：60m　屋外：180m
IEEE802.11g（54Mbps 時、見通し）　屋内：20m　屋外：50m
（周囲条件による）
アンテナ：　ダイバーシティ方式（内蔵）
セキュリティ：WEP（64/128bit）、WPA-Personal（TKIP）

注 意　通信速度は、規格上の通信速度表記であり、理論上の最大通信速度や実際の通信可能速度を示すものではありません。実際の通信速度は、環境により異なります。

USB インターフェイス仕様

準拠規格：　USB1.1
通信速度：　フルスピードモード（12Mbps）のみ
コネクタ形状：ダウンストリームポート /A コネクタ（DOWN：プリンタ接続用）
アップストリームポート /B コネクタ（UP：コンピュータ接続用）

対応 OS

Windows：　98SE/Me/2000/XP/Server 2003
Mac OS：　バージョン 9.1 以降 /Mac OS X10.2 以降

電源仕様

入力電圧：　DC 5V ± 5%
定格電流：　2.0A

EMC 規格

VCCI Class B
家電汎用品高調波対策ガイドライン

環境条件

動作温度範囲：0℃～50℃
動作湿度範囲：10%～85%RH
保存温度範囲：－30℃～60℃
保存湿度範囲：0%～85%RH

外形寸法（幅 / 奥行き / 高さ）

90mm/129mm/145mm（回転式スタンド使用時）
45mm/129mm/145mm（回転式スタンド未使用時）

重量

約0.5kg（本体のみ）

AC アダプタ仕様

基本仕様

入力電圧：　AC 100V～240V
入力周波数：　50Hz/60Hz
定格入力電流：　310mA
出力電圧：　DC 5V ±5%
出力電流：　2.0A
動作消費電力：　3.5Wh 以下

安全規格

電気用品安全法

EMC 規格

家電汎用品高調波対策ガイドライン

用語集

0 ～ 9

16 進数

0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベット。

A

APIPA

Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信することができる。

AppleTalk

すべての Macintosh に標準で付属する、LAN システムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Macintosh の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP

Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

AOSS

AirStation One-Touch Secure System。株式会社バッファロー製の AOSS モードを持つアクセスポイントに接続する際、本製品の AOSS ボタンを押すだけで暗号化キーの入力などの煩雑な無線 LAN 設定を自動で行うシステム。

D

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS

Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

EtherTalk

Macintosh 用の LAN を実現するためのシステムの 1 つ。Ethernet のケーブルを使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。Ethernet インターフェイスを接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

H

HUB

ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

I

IPP

Internet Printing Protocol。IPP を使うことにより、インターネットを経由しての印刷が可能となる。

IPX

Internetwork Packet Exchange。Novell 社の NetWare のプロトコル。

IP アドレス

IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（アドレス）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB

Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

N

NDPS

Novell Distributed Print Services。米 Novell 社の NetWare が提供する分散プリント機能。NDPS によりプリンタ管理に要するコストの削減や、ネットワークを利用するユーザーや管理者の生産性を引き上げることを目的としている。

NDS

Novell Directory Services。米 Novell 社の NetWare4.0 以降に搭載されているディレクトリ・サービス機能。ユーザーやサーバ、プリンタなどの共有資源を一元管理できる。各資源はツリー状のネットワーク構造で論理的に配置することができる。
一度 NetWare にログインすれば、それ以降はそれぞれの NetWare サーバにログインすることなく、ネットワーク全体のサーバやプリンタなどが使えるようになる。

NetBEUI

通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

NetBIOS

パソコン・ネットワーク用の通信プロトコルと API の規約。

NetWare

米 Novell 社が開発したパソコン LAN 用ネットワーク OS。IPX/SPX という独自プロトコルを使用する。

NWADMIN

NetWare 4.x のファイルシステム管理ツール。ネットワーク管理者はツリー内のすべてのオブジェクトを管理できる。オブジェクトの作成、オブジェクトのプロパティの変更、コンテキスト上から別の場所へのコンテキストの移動が行える。また、ファイルシステム、ディレクトリサービスのトラスティ、ツリーにあるすべてのオブジェクトの有効な権利を確認できる。

P

PCONSOLE

NetWare3.x のプリントサービス設定、管理ツール。

PING

TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行し、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

R

Rendezvous

Mac OS X 10.2.4 から採用された LAN 内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっ

ている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Rendezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

S

SNMP

Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

SSID

Service Set Identifier。IEEE 802.11 シリーズの無線 LAN におけるネットワークの識別子の一つ。混信を避けるために付けられるネットワーク名のようなもの。最大 32 文字までの英数字を任意に設定できる。

T

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP

Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識することができる。

W

WEP

Wired Equivalent Privacy。無線通信における暗号化技術。無線通信は傍受が極めて容易であるため、送信されるパケットを暗号化して傍受者に内容を知られないようにすることで、有線通信と同様の安全性を持たせようとしている。
本製品では以下の WEP キーをサポートしています。

	ASCII	16 進数
WEP-64bit(40bit)	5 文字	10 桁
WEP-128bit(104bit)	13 文字	26 桁

ASCII 文字を選択した場合は半角英数字記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）、16 進数を選択した場合は 0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベットで入力します。

WPA

Wi-Fi Protected Access。無線LANの業界団体Wi-Fi Allianceが発表した、無線LANの暗号化方式の規格。従来採用されてきたWEPの弱点を補強し、セキュリティ強度を向上させたもの。
本製品ではWPA-Personal（TKIP）をサポートしており、パスワードで入力できる文字は、8～63文字の半角英数記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）となります。

ア

アクセスポイント

無線機器間の通信を中継する装置。また、有線ネットワークと無線ネットワークの橋渡しをする装置。

アドホック

アクセスポイントを介さずに機器同士が直接通信を行なうモード。

イ

インターネット印刷

Windows 2000 以降 の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタへ印刷することができる。

インフラストラクチャ

無線LANの通信方式の一つ。アクセスポイントを介して通信を行なうモード。

エ

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これにより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

オ

オープンシステム

無線通信で、SSIDのみを使用して通信を行う認証方法。通信開始時には、通信する無線LANのSSIDを指定する。SSIDとWEPキーを組み合わせて使用する認証方式は、共有キーという。

カ

隠れ端末処理

アクセスポイントを通じて通信している複数の無線機器同士では、互いの送信信号を直接受信できないため、これを隠れ端末と呼ぶ。インフラストラクチャモードで隠れ端末が存在すると、アクセスポイントで通信の衝突頻度が増加するため、一定時間内に伝送される情報量が低下します。隠れ端末処理は、これを防止する機能。

キ

共有キー

無線通信で、SSID と WEP キーを組み合わせて通信を行う認証方法。通信が暗号化されるのでセキュリティの強度が増す。通信開始時には、通信する無線 LAN の SSID と WEP キーを指定する。SSID のみを使用する認証方式は、オープンシステムという。

ケ

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内 LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

コ

コンテキスト

NetWare の NDS で、ディレクトリツリー内の各オブジェクトの配置を示すもの。会社名、組織名、部門名などの要素から構成される。

サ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用される。

シ

シールドツイストペアケーブル

電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。Ethernet や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型と呼ぶ。

ソ

ゾーン名

AppleTalkで設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

タ

ダイナミックDNS

IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS 。これにより、ホストのIP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

チ

チャンネル

近接したエリアに同じ規格の無線があるときに、互いの電波干渉を防ぐための機能。IEEE802.11bでは1～14の間で5チャンネル間隔で4チャンネルまでIEEE802.11gでは1～13チャンネルの間で同じく3チャンネルまで選択が可能。

ト

盗難防止用ロック

本製品に備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。

kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。

七陽商事株式会社　情報機器事業部

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル)

Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367

ネ

ネットワーククラス

IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDの区切り位置によって、A、B、Cの3つのクラスに分けられる。たとえば、クラスAは、IPアドレスの上位8ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などがIPアドレスを取得する際に決定する。

ハ

バインダリ

NetWare3.xで、ユーザー、グループ、ワークグループなどの構成要素を定義しているデータベース。NetWare4.x以降は、バインダリの代わりにNDSを使用。

フ

フラグメント処理

無線機器がパケットを送信する際に、パケットを分割する機能。無線機器が多く存在するときや通信状況が悪いときに機能を有効することで通信状況がよくなる場合がある。

フレームタイプ

ネットワーク上の通信（Workstation←packet→Client）で、パケットに定義されているもの。サーバがサポートするフレームタイプに合わせて設定する。

プロキシサーバ

インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ホ

ポート番号

TCP や UDP が備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ポーリング

NetWare の、プリンタ環境設定オプションの 1つ。ポートドライバ（NPRINTER）が定期的にデータポートを確認（ポーリング）し、データポートがプリンタにデータを転送する準備ができているかを調べる。

ユ

ユニバーサルプラグアンドプレイ

UPnP（Universal Plug and Play）。Microsoft の新技術で、ネットワーク上のデバイスを自動的に認識する機能。この機能は Windows Me 以降で提供されている。

ロ

ローミング処理

1 つのネットワークに複数のアクセスポイントがあるときに、通信距離に関わらず、通信強度がより強いアクセスポイントへ自動で接続先を切り替える機能。

索引

メモしておきましょう（PA-W11G）

トラブル、引っ越し、管理担当者の異動などに備えて、このページを印刷して、現在の設定をメモしておくことをお勧めします。

無線

基本設定

通信モード：　□インフラストラクチャ　□アドホック

無線モード：　□IEEE802.11b/g　□IEEE802.11b　□IEEE802.11g

SSID（1-32文字）：

チャンネル（1-14）：

セキュリティ設定

セキュリティレベル：　□WEP-64（40）bit　□WEP-128（104）bit　□WPA-Personal（TKIP）

WEPキーの入力方法：　□16進数　□ASCII文字

WEPキー1：

WEPキー2：

WEPキー3：

WEPキー4：

使用するWEPキーNo.（1-4）：　□1　□2　□3　□4

WPAパスワード（8-63文字）：

WEP共有モード：　□自動　□オープンシステム　□共有キー

詳細設定

隠れ端末処理：　□無効　□有効；しきい値（0-2374）：

ローミング設定（アクセスポイント密度）：　□Low　□Medium　□High

フラグメントしきい値処理：□無効　□有効；しきい値（256-2346）：

TCP/IP

IPアドレスの取得方法：　○自動　○DHCP　○BOOTP　○RARP　○手動

プライベートIP自動指定(APIPA)による設定 □　PINGによる設定 □

IPアドレス設定

IPアドレス：　. . .

サブネットマスク：　. . .

デフォルトゲートウェイ：　. . .

DNSサーバのアドレスを自動的に取得する □

DNSサーバアドレス（使用順）：

ホスト名とドメイン名を自動的に取得する □

ホスト名　　ドメイン名

ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する □

DNSサーバに直接登録する □

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定：　ユニバーサルプラグアンドプレイを有効にする □

デバイス名：

Rendezvous機能：　□無効　□有効

Rendezvous名：　.local

Rendezvousプリンタ名：

Netware

基本設定：　モード　フレームタイプ

NDS：　ツリー名

コンテキスト

プリントサーバまたはリモートプリンタ：

MS Network

ホスト名

ワークグループ名：

共有名：

Apple Talk

プリンタ名

ゾーン名：

エンティティタイプ：

ネットワーク番号の取得方法：　○自動　○手動

手動設定時のネットワーク番号：

IPP

IPP URL：

プリンタ名：

ロケーション：

SNMP

Read/Write

IPトラップ1　：　アドレス　. . .

：　コミュニティ

IPトラップ2　：　アドレス　. . .

：　コミュニティ

IPトラップ3　：　アドレス　. . .

：　コミュニティ

IPトラップ4　：　アドレス　. . .

：　コミュニティ

IPXトラップ1　：　アドレス　.

：　コミュニティ

IPXトラップ2　：　アドレス　.

：　コミュニティ

IPXトラップ3　：　アドレス　.

：　コミュニティ

IPXトラップ4　：　アドレス　.

：　コミュニティ

改訂履歴

Revision	改訂内容		日付
00	ALL	新規	2004/05/07
01	主な変更点 ・差し込みシート（OS9 用エンティティタイプ／EPSON プリンタウィンドウの制限）の廃止に伴い、取扱説明書側に追加記載 ・「AOSS」への正式対応 ・Windows XP SP2 への対応による影響の記載 ・ソフトウェア CD-ROM および収録ソフトウェアの仕様変更 　・「EpsonNet EasyInstall」の仕様変更 　　・インターフェースの変更（ステップ No.表示） 　　・CD 起動のみ行い、インストールは不可 　・EpsonNet Print」のバージョンアップ 　・「EPSON Scan の設定」のインターフェース変更（スキャナ名表示） ・PA-W11G のファームウェア Ver.UP 対応（DHCP/Rendezvous の有効：初期値） ・「2-4.印刷方法の決定」削除 ・PA-W11G の DHCP 対応および EpsonNet Print のアドレス自動追従機能搭載により、IPP/LPR 印刷を EpsonNet Print 主体に変更 ・初版に対する問題点の改善（言い回しや手順追加等） ・マニュアル構成の見直し（章の入れ替え等）		2004/10/22
	P2	「AOSS」への対応による記載追加	
	P4	「取扱説明書の種類と使い方」に AOSS 手順書追加	
	P13	「本製品の対応デバイス」の記載変更	
	P14-15	「各部の名称と働き」に AOSS の機能追加	
	P17-18	「EpsonNet ソフトウェアのご案内」の記載変更	
	P22-24	「本製品導入作業の流れ」の記載変更	
	P26	「無線・ネットワーク環境の確認」の記載追加	
	P33-43	「コンピュータのネットワーク設定」の記載変更	
	P51-58	「付属ユーティリティでの設定方法」の記載変更	
	P63-69	「無線・ネットワークの設定」の記載変更	
	P97-109	「プリンタドライバのインストール」改め「EpsonNet Print の使い方」を盛り込んだ「設定ルーツとプリンタドライバのインストール」に記載変更	
	P112-119	「EPSON Scan のインストールと設定」の記載変更	
	P160-162、166-169	「EpsonNet Config（Web）の使い方」の記載変更	
	P171-174、177	「困ったときは」の記載変更	
	P189-197	「付録・設定済み本製品のある環境にて新規にコンピュータを追加する、またはデバイスを変更する」の記載変更	
	P198-218	OS 標準 IPP/LPR 印刷を「付録・EpsonNet InternetPrint および標準 IPP/LPR を使ったプリンタのセットアップ方法」として移動掲載	
	P219-220	「ネットワークステータスシート」の記載変更	
	P224	「本製品の工場出荷時への戻し方」の記載変更	
	P225-227	「ユーティリティの削除方法」の記載変更	
	P228-233	「PING コマンドによる通信確認方法」の記載追加	
	P237-238	「Web ブラウザの設定に関する注意」の記載変更	

	P243-245	「Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法」の記載追加	
	P246-249	「EPSON プリンタウィンドウの制限」の記載追加	
	P252	「IP アドレスの割り振り方」の記載変更	
	P253	「製品仕様」の記載訂正	